

知多の自然観察

2020(令2)年 1月～12月

年 報



光に集まる虫さんたち ナイトハイク&灯火採集

知多自然観察会

－愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部－

【編集について】

知多自然観察会HPのURL

<http://chitakan.com/> または

<http://prosv7.tok2.com/~chitakan/>

この「2020年 年報」は2020年1月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

即ち、掲載の活動例などは、ホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、自然観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと文字や掲載写真の多いページは2, 3ページになるものもあります。そのような場合は、ここでは、すべて、縮小印刷するなどして1ページに程よく収まる分だけを印刷し掲載しています。

そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことがあります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

以下は知多自然観察会HPのトップページです。

2001.7.26 開設

2 4 7 5 4 1

Google 検索

○ WWW を検索 ○ 知多自然観察会内 を検索



※2021.1.7 現在のトップページ

目 次

	頁
1 目 次 -----	1
2 編集について	2
3 知多自然観察会について	
・概 要	3
・会 則	4
4 総 会 議 事 錄 -----	6
5 2020年の事業計画（会員用） -----	10
6 支部担当の事業 -----	16
・持ち寄り会-会員宿泊研修-県委託観察会-等はコロナ禍で中止	
7 ブロック担当の観察会	
(1) 阿久比ブロック -----	17
(2) 大 府 //	24
(3) 武 豊 //	26
(4) 知 多 //	35
(5) 東 海 //	43
(6) 常 滑 //	49
(7) 半 田 //	53
(8) 東 浦 //	61
(9) 美浜・南知多 //	67
8 臨時の観察会 -----	72
・加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」No2 ・「同左」No. 3	
9 発表の場（会員の投稿記事） -----	75
(各テーマの掲載ページは P. 75 に記載)	
・ハイガイ & バクヤギク ・クロヒラタアブが羽化した ・アカハネナガウンカ	
・アカヤスデ ・阿久比川河口のウミニナ類の棲み分け ・シラカバ(白樺)の目玉	
・シラカバの目玉探し ・冬眠間近のウシガエル ・スナジクズタケ ・雪 虫	
・里芋の種芋-親芋-子芋 ・藤井辰子画伯の木版画 ・生物多様性活動のお手伝い	
10 役員一覧表 -----	108
11 会員専用ページ（ホームページ）の内容 -----	109
12 編集後記 -----	110

知多自然観察会 会則

- (名 称) 第1条 本会は知多自然観察会と称する。
- (目 的) 第2条 自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
- (事 業) 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
- (会 員) 第4条 自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
- (会 費) 第5条 会員は毎年5月末日までに会費を納入しなければならない。
- (退 会) 第6条 退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
2. 会費未納の者は会員の資格を失う。
- (役 員) 第7条 本会には次の役員をおく。
顧 問 若干名
代 表 1名
副 代 表 若干名
世 話 役 市、町からの代表
庶 務 1名
会 計 1名
会計監査 2名
- (役員の任期) 第8条 任期は一年とするが再任を妨げない。
- (役員の選出) 第9条 代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
- (役員の補充) 第10条 役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
- (総 会) 第11条 本会は毎年1回、原則2月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。
- (役 員 会) 第12条 総会に代わる決議機関とする
- (会計年度) 第13条 会計年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
- (役員の補充) 第14条 会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
- (内 規) 第15条 本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
- (附 則) 1 この会則は平成26年2月9日より実施する。
2 本会の事務局は当分の間、庶務室とする。
* 附則の1の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。
- (覚え) 1 この会則の最初の制定日は平成18年2月19日である
(当日の総会で承認された)
なお、知多自然観察会は昭和57年(1982年)5月16日に「知多地方自然観察研究会」として発足し、愛知県自然観察指導員連絡協議会の支部としてスタートした。

本会の概要

1. 名称等

- ・会の名称 知多自然観察会 (愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部)
- ・設立年月 1982年5月
知多地方自然観察研究会の名称で発足 (会員8名で発足)
- ・周年記念 1992.6 発足 10周年記念大会開催 (半田市勤労会館)
2002.5 20周年 (知多市地域文化センター)
2012.11 30周年 ("")
- ・会則制定 2006.2.19 総会で承認
- ・総会 原則、毎年2月に開催
- ・事業年度 4月から翌年3月。ただし、会計年度は1月から12月
- ・会員 69名 (2020年12月末現在)
- ・役員 15名 (顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役)
- ・ブロック 9ブロック
(阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜・南知多)
- ・年会費 1,000円

2. 自然観察会の実施状況 (2020年1月～12月)

- ・支部担当事業 役員会、会員研修、県委託事業、総会等で……19回
(上記の19回の内、コロナ禍で中止…7回)
- ・自然観察会 本会主催観察会 (ブロック主催の観察会) ……18回
(上記の18回の内、コロナ禍で中止…1回)
市町等主催観察会 (前年度に予約済) ……65回
(上記の65回の内、コロナ禍で中止…25回)
- ・観察会の場所 公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
- ・一般参加者数 少ないとき…0～1家族(2,3名) 多いとき…数十名
当日指導員…2～10数名 (特別な場合は20数名)
- ・雨天の場合 雨天は原則中止。ただし、担当指導員およびほかの指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3. 観察会の日時 原則、土曜または日曜 9:30～11:30

- ・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
- ・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝(小川)があればタモを入れたりする
- ・海岸… " から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
- ・川… " から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏期はテントも必要
- ・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
- ・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
- ・夜…日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

知多自然観察会 2020 総会 議事録（案）

【日時】2020年(令和2年)2月16日(日曜)9時30分～11時30分

【場所】阿久比町勤労福祉センター[エスペランス丸山] 集会室3

【受付】(森田琢)(山田公)(桑村)

1. 開会のことば……(榊原正)

総会の開会の言葉とともに、日本でも流行しかかっている「COVID-19」について会員に高齢者が多いことからの注意喚起の挨拶。

2. 代表あいさつ……(榊原靖)

代表として3年目を迎えたこと、今年度には美浜少年自然の家でNACS-Jによる「第554回自然観察指導員講習会」が開催されるという大きな行事があったこと、知多支部から3名が参加されるなど、多数の参加があり、終了後多くの方が県協議会に加入されたこと、併せて、エコレポ冊子が配布され、従前の日本語だけと違い英語による紹介も入ったことからページ数が増えていることなどの報告があったほか、2020年度も頑張りましょうとのエールがあった。

3. 出席者自己紹介…(全員)——各自15秒以内で——

* 総会出席者が37名であることを報告(吉川勉)

4. 議長、書記の選出

吉川勉が出席者に諮ったところ、自選・他薦がなかったことから、吉川勉から議長(吉房)、書記(村瀬)を推薦し、出席者全員の賛同を得た。

この後、吉房が席を移動し、議長席に着席。以下吉房議長が議事進行。

5. 議事=2019年度事業報告

(1) 主な事業の報告——報告1件あたり各1分30秒以内で——

1) 支部行事に関する報告…(吉川勉)

年報15p記載の支部担当の事業について説明。

2) 各ブロックの活動(受託観察会を含む)に関する報告

各ブロック代表等から、年報に記載のブロックで取り組んだ観察会の状況(出席者・評判など)が下記()の方から報告があった。

阿久比(22p~26p)…(牧野) 大府(27p~31p)…(村瀬) 武豊(32p~39P)…(畠)

知多(40p~47P)…(南川) 東海(48p~51p)…(浅井一) 常滑(52p~56p)…(森田琢)

半田(57p~63p)…(山田和) 東浦(64p~71p)…(竹内秀) 美南(72p~80p)…(永田孝)

3) 受託観察会に関する報告…(吉川勉)

各ブロックからの報告のうち、一覧表の種別欄で「受託」「受募」となっているものが、知多自然観察会としての受託分の観察会であることを説明。

4) 研修旅行に関する報告…(降幡)

年報の19p~21pにより、知多支部としての春・秋の研修会の実施状況について、春は工事により行先の変更があったこと、秋には一般参加者の参加があったことなどの報告。

5) 持寄り会に関する報告…(榊原正)

年報16p~18pにより、報告。

また、2020年3月7日に阿久比町中央公民館で開催予定の「持ち寄り会」は“貢”が一応のテーマであること、もちろん何を持ち寄って説明してもらってOKであることの説明。

6) ホームページに関する報告…(榊原正)

観察会の報告があったものしかHPに掲載できること、また、参加指導員名がもれなく記載されていないと後の参加費の支払いができないことから、少なくとも観察会の状況について写真はなくとも報告書は提出して欲しいとの説明。併せて、資料-10の「観察会報告書」と「観察用品購入補助金請求」

- 2 平成19年2月19日の総会で7条を次のように変更した。
 - ・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
 - ・会計監査「1名」を上記条文の2名に変更
- 3 平成23年2月13日の総会で7条を次のように変更した。
 - ・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更
- 4 令和2年(2020年)2月16日の総会で(覚え)1の「なお、」以下を追記した。
- 5 令和2年(2020年)9月12日の役員会で「年会費規定 内規」が承認された。
「年会費規定の内規」→ ここ

※ 下記の内規は、

令和2年9月12日(土) 於、阿久比町勤労福祉センター会議室
で開催された役員会で承認された。

——記——

年会費規定 内規

第1条 目的

この規定は、会則第15条に基づき年会費とその有効期間を定めるものである。

第2条 年会費

年会費は一人年額1,000円とする。複数年に亘る年会費は受理しない。

第3条 会員資格有効期間

会員資格は会計年度(1月1日～12月31日)毎に更新し、年会費入金を以って取得または継続する。翌会計年度においては5月末日までを入金猶予期間とし、前年度からの会員資格を継続保持する。

第4条 途中入会

途中入会の入会者についてもこの内規を適用する。

第5条 途中退会

退会申し出を受理した日または逝去した日に会員資格は失効する。

途中退会の場合年会費を返却しない。なお、会員資格失効後においても、在籍期間中に生じた債権、債務が残っている場合は速やかに精算されるものとする。

第6条 内規の変更

本則に準じ、内規の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。



出席者から協議する時間を持ってほしいとの意見が出され、議長が若干の協議時間を認めた。

その後、各ブロック参加者から、以下のとおり推薦があり、出席者全員の賛同を得た。

阿久比・(平松裕)(牧野) 大府…(村瀬)(吉川洋) 武豊…(畠)(畠中) 知多…(南川)(吉川勉)
東海…(浅井一)(岩崎) 常滑…(森田琢)(中井三) 半田…(山田和)(石川由) 東浦…(竹内秀)(水野恭)
美南…(中村英)(永田孝)

(4) 各種担当の選出

議長が自薦も含め参加者に諮り、以下のとおり出席者全員の賛同を得た。

年報(榎原正)、ホームページ(榎原正)、調査活動(平松裕)、研修旅行(牧野)、
持寄り会(榎原正)、年間計画(吉川)

なお、調査活動の平松裕が欠席のため、榎原正からカエルの調査が予定されていること、観察会など各種調査でカエルを見かけたら、是非鮮明な写真を、特に腹部あるいは背中の写真を撮影して提供して欲しいとした。

(5) 県協議会関係への推薦役員

現行の以下の支部からの推薦理事について永田理事から代わりたいが他になければとし、出席者全員の賛同を得た。

なお、榎原靖から県協議会からはもう1人理事を出してほしいとの要請があり、これについては個別に当たるとした。

- ・理事/支部代表…(榎原靖)
- ・理事/HP担当…(永田孝)

(6) 主な事業計画

1) 支部全体の主な事業計画(吉川勉)

吉川勉から以下の支部全体の主な2020年度の事業計画について説明。

- ①役員会 : 5/16(土)、7/11(土)、9/12(土)、11/14(土)、12/5(土)、12/19(土)、
R3/1/23(土)
- ②みどりの少年団 : 10月17日土曜日 於: 阿久比町(本番)
- ③研修旅行 : 5月30日(土)~31日(日)及び10月24日(土)~25日(日)
- ④調査活動 : 平松裕によるカエルの調査が予定されている。
- ⑤持ち寄り会 : R3年3月13日(土)
- ⑥総会 : R3年2月21日(日)

2) 2020(R2)年度会員用年間予定-日付順-について<資料-4>(榎原正)

資料-4の2020年度事業計画により、大府ブロックの計画が正確に反映されていないことなどの説明、会場で東浦町の1観察会の日時や電話番号の訂正などの意見が出されたことから、今回提出の事業計画の訂正等については、2月20日までに榎原正まで提出して欲しいこと、2月29日に2020年度事業計画を含む総会議案書等の印刷が予定されているのでしっかり確認して欲しいとした。

3) 県協議会事業について(榎原靖)

榎原靖から以下の県協議会関係事業について説明があった。

- ①あいの自然観察会 : 2020事業計画で8月20日(日)常滑市蒲池海岸で予定されている「海辺のヤドカリたち」が充てられているとの説明。
- ②フォローアップ研修会 : 県協議会で継続実施するかどうかの協議が行われており、現在のところ、日時・内容は未定とした。
- ③通常総会・講演会 : R2年度はR3年3月20日(土・祝)
場所: 未定
講演会: テーマ「未定」
講師: 未定

なお、榎原靖から、今年度の県協議会総会が3月20日(金・祝)に開催され、モグラがテーマで予定されているので積極的な参加をとの呼びかけがあった。

(7) 2020年度 自然観察会活動に係る事業予算<資料-5>…(会計)

の留意事項について』も説明があった。

7) 年報作成に関する報告…(榊原正)

各ブロック観察会の冒頭ページに掲載の一覧表における観察会ごとの仕切り線を明確に出すことについたため、掲載の写真が過度に黒くなってしまったことのお詫びとともに、来年度においては写真がクリヤーに出ることに配慮することと、年報の空白欄に掲載する写真の提供の呼びかけがあった。

併せて、昨年度から年報作成費 3 万円、同消耗品代 1 万円とアップして支給することとしているので、是非希望する人は名乗り出てほしいとのお願いもあった。

(2) 一般会計報告<資料-1>…(森田琢)

資料—1の一般会計決算と資料—1(裏面)の預貯金出納帳について報告。

(3) 一般会計監査報告<資料-1>・(牧野)

会計監査人の牧野・山田公を代表して牧野から資料—1により、昨年 12 月 25 日に実施した会計監査の結果について報告。

ここで、議長が出席者に決算について諮り、出席者全員の賛同を得た。

(4) 委託金管理報告<資料-2>…(榊原靖)

資料—2の委託金管理通帳収支報告と資料—2(裏面)の受託金納入状況について報告。

資料—2の「知多メディアス」関係の 2 件分 86,800 円については東海市の発注分であり現在調査の方に配分について協議してもらっていること及び利息 1 円の合計が受託金納入状況の 289,078 円との差額になっていることの報告。

ここで、議長が出席者に委託金管理について諮り、出席者全員の賛同を得た。

(5) 特別会計報告<資料-3>…(榊原正)

資料—3の1の特別会計収支報告書及び資料—3の2の観察用具購入補助金利用状況について報告。

来年度から観察用具購入補助金の請求は、年末に金融機関へ何度も通うことは避けたいとして、11月末を請求期限としたい、併せて、特別会計の残高 87 万円強は、2022 年度に知多自然観察会の 40 周年を迎えるので当該記念事業等に充てたいとした。

ここで、議長が出席者に特別会計収支報告について諮り、出席者全員の賛同を得た。

6. 議事=2020 年度事業計画

(1) 役員の選出

議長が出席者に代表候補について自薦・他薦について諮り、吉川勉から引き続き再任をお願いしたいとの意見が出された。

ここで、議長が出席者に代表を榊原靖とすることについて諮り、出席者全員の賛同を得た。

1) 代表(榊原靖)

また、議長が出席者に会計監査候補について自薦・他薦について諮り、吉川勉から引き続き再任をお願いしたいとの意見が出された。

ここで、議長が出席者に会計監査を再任することについて諮り、出席者全員の賛同を得た。

2) 会計監査(牧野)・(山田公)

新代表及び会計監査が選任されてことから、榊原靖新代表から挨拶があった。

◆代表あいさつ

(2) 役員の委嘱

榊原新代表の就任挨拶の後に、顧問・副代表・庶務・会計は会則第 9 条により代表が委嘱して総会で承認を得ることとされていることから、榊原新代表は全員の再任をお願いしたいとし、議長が出席者に全員を再任することについて諮り、出席者全員の賛同を得た。

1) 顧問 (降幡)

2) 副代表(南川)・(榊原正)

3) 庶務 (吉川勉)

4) 会計 (森田琢)

(3) 世話役(ブロック代表)・副世話役(ブロック副代表)の選出

2020(令和2)年 (1月～12月) 事業計画

◎ 備考

・種らん… 募 = 知多自然観察会主催

受募 = 市町等が主催、当日受付でも参加可

受託 = 市町等が主催、当日受付での参加は不可(事前申し込みが必要)

・保険らん… 協 = 県協議会へ保険金を納入

・担当らん… 阿久 = 阿久比 美南 = 美浜・南知多

・テーマらんの主催者……セレトナ = ニッ池セレトナ

東海-施管協 = 東海市施設管理協会

・集合場所らん……健康の森事務所 = あいち健康の森公園管理事務所

みどり公園事務所 = 大府みどり公園管理事務所

東浦学習の森 = 東浦自然環境学習の森

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者 ☆…参加費100円	集合場所と時刻 P:駐車場	担当指導員 (問合せ先)
1	20	1	12	日	受託		大府	「セレトナ森研⑧冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 今西
2	20	1	18	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078) 細川
3	20	1	18	土	受募		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多 みさき支店P 9:30	田中達(090-1626-3231)河原
4	20	1	18	土			支部	1月役員会 ※ 年間予定完成、総会役割分担、総会資料	未定 13:30	庶務
5	20	1	19	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078) 伊藤伸
6	20	1	25	土	受募		知多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
7	20	1	25	土	受託		東海	「公園の野鳥を観察」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964) 岩崎
8	20	2	2	日	受託		大府	「セレトナ森研⑨朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井
9	20	2	8	土	受託		知多	「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	古川(0569-73-6078) 吉房
10	20	2	8	土	受託		半田	「冬越しをする虫たちの生活」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榎原正(0569-21-7000)牧野
11	20	2	8	土			支部	総会資料の印刷	青海公民会 13:30	庶務
12	20	2	15	土	受託		東海	「朽ち木の虫観察」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760) 降幡
13	20	2	15	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952) 山田公
14	20	2	16	日			支部	総会	未定 9:30	庶務

資料—5により、2020年度一般会計予算(案)について説明。

この後、議長が出席者に諮り、出席者全員の賛同を得た。

(8)知多自然観察会会則の改正について<資料—6>…(榎原靖)

資料—6により、知多自然観察会会則の改正について取り敢えずの措置として、(覚え)の第一項になお書きとして「なお、知多自然観察会は、「知多地方自然観察研究会」として、昭和57年(1982年)5月16日に発足し愛知県自然観察指導員連絡協議会の支部としてスタートした。」と付記改正したいとの提案がなされた。

また、知多自然観察会会則の改正についてはここ数年協議を継続しているが、未だまとまっておらず、再来年には40周年を迎えることからそれを明確にするための取り敢えずの措置とした。

(9)その他/報告等

1)知多自然観察会会員名簿について…<資料—7>(吉川勉)

資料—7の名簿について、字が小さくて読みづらいとの意見が出されたことから、NACS-Jの会員欄の訂正も含め、A-4裏表かA-3で再印刷送付するとの説明。

2)自然観察会の保険と安全について<資料—8>…(榎原靖)

資料—8により、NACS-Jの損害賠償責任保険は、知多自然観察会は受託観察会が多いことから、適用されない恐れがあることなどの説明。

なお、出席者から2020年4月から保険料が現行の40円から42円になること、これは熱中症対策が加味されたこと、また、その対象となる観察会計画を3月15日までに県協議会に提出する必要があることの説明があった。

3)自然観察会の運営について<資料—9>…(吉川勉)

資料—9により下見の重要性などの説明。

4)「観察会報告書」と「観察用品購入補助金請求」の留意事項—原則—<資料—10>…(榎原正)

5. 議事=2019年度事業報告の(5)特別会計報告で併せて説明済みであるが、観察会報告では参加指導員の記載名簿をアイウエオ順として欲しいこと、来年度から観察用具購入補助金の請求は、年末に金融機関へ何度も通うことは避けたいとして、11月末を請求期限としたいとした。

5)その他

議長が出席者に諮ったが、発言・意見はなかった。

7. 議長、書記の解任

以上で予定された総会議事等がすべて終了したことから、議長は、総会が無事滞りなく終わったことの感謝を告げるとともに、吉房議長・村瀬書記は自席に戻った。

8. 閉会のことば…(副代表)

南川副代表が、総会の終了を宣言した。

資料—1 2019年度一般会計決算報告(現預金出納帳を含む)及び監査報告

資料—2 2019年度委託金管理通帳収支報告(受託金納入状況を含む)

資料—3の1 2019年度特別会計収支報告書

資料—3の2 2019年 観察用具購入補助金の利用状況

資料—4 2020年度年間行事予定表

資料—5 2020年度自然観察会活動に係る事業予算(案)

資料—6 知多自然観察会会則新旧対照表(案)

資料—7 知多自然観察会会員名簿(2020年2月7日現在)

資料—8 自然観察会の保険と安全について

資料—9 自然観察会の運営について

資料—10 「観察会報告書」と「観察用品購入補助金請求」の留意事項—原則—

36	20	5	17	日	受 託		大 府	中止「セレトナ森研②昆 虫おもしろ探検隊」●セ レトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381- 4426)福岡
37	20	5	17	日	募 協	武 豊		「初夏の野草や花、虫た ちに会おう」	壹町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73- 5059)畠
38	20	5	23	土	受 託		知 多	中止「企業緑地の生きも の」●知多市環境政策 課	東邦ガス 9:30	吉川勉(0569-43- 1501)藤井辰
39	20	5	23	土	受 募		美 南	中止「ウミウシを見つけ よう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験 場P 9:30	田中達(090-1626- 3231)中村
40	20	5	23	土	受 募	協	美 南	中止「山で発見 ヒメボタ ル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P 21:30	永田寛(0569-82- 3151)永田孝
41	20	5	24	日	受 託		大 府	「虫・花・樹をさがそう・ 春」●あいち健康の森公 園	健康の森公園管理事 務所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
42	20	5	30	土			支 部	中止 宿泊研修 1日目	未定	(牧野)
43	20	5	31	日			支 部	中止 宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
44	20	5	未 定	平 日			支 部	中止 みどり…交歓会- 事前打合せ会	県事務所	(平松裕)
45	20	6	6	土	受 募		東 浦	中止「明徳寺川の生き 物に会おう」●東浦町環 境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34- 6040)水野恭
46	20	6	6	土	受 募		美 南	中止「山海川生き物観 察」●南知多町環境課	山海ふれあい会館 (旧山海小)P 9:30	田中達(090-1626- 3231)中村
47	20	6	6	土	受 託		知 多	中止「今年はホタルに会 えるかな…?」●こども 未来館	水の生活館P 19:00	吉房(0562-55-9025) 南川
48	20	6	7	日	受 募	協	美 南	中止「干潟の生き物と漂 着物」●美浜町環境課	美浜町奥田農協P 9: 30	永田孝(0569-82- 3151)中村
49	20	6	13	土	募 協	武 豊		「自然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畠 中
50	20	6	20	土	受 託		知 多	中止「海辺の生きもの観 察」●こども未来館 干潮 11:25	新舞子海岸 郷戸広 場P 9:30	吉川勉(0569-43- 1501)榎原正
51	20	6	20	土	募		美 南	中止「クサフグの集団産 卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 15:00	大矢晃(052-841- 6048)大矢美
52	20	6	21	日	受 託		大 府	「セレトナ森研③きのこ 探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
53	20	6	21	日	受 託		半 田	「亀崎海岸の生き物」干 潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22- 4660)加藤
54	20	6	21	日	受 募	協	美 南	「海辺の生き物」●美浜 町環境課	美浜町富具崎港P 9: 30	永田孝(0569-82-3151) 永田寛
55	20	6	27	土	募 協	阿 久		「福山川の生き物は今 年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071- 3954)浅井一

15	20	2	29	土			支部	総会議事録等の印刷	青海公民会 13:30	庶務
16	20	3	1	日	受託		大府	「セレトナ森研⑩春に出来 る鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
17	20	3	7	土			支部	延期→4/26 持ち寄り会	未定 9:30~15:30	(榊原正)
18	20	3	15	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシた ち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	森田(0569-42-1708) 平松俊
19	20	3	20	祝			支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
20	20	4	4	土	募	協	東浦	「里山の春を見つけよ う」	東浦自然環境学習の 森P 9:30	岩本(0569-58-0952) 山田公
21	20	4	5	日	募	協	武豊	「春の息吹に触れよう」	別曾池公園P 9:30	畠中(080-1631-0413) 古川
22	20	4	12	日	受託		大府	中止「セレトナ森研①植 物おもしろ探検隊」●セ レトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381- 4426)村瀬
23	20	4	12	日	受募		東浦	中止「春の里山の恵み を探そう」●東浦町環境 課	東浦自然環境学習の 森P 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)桑原
24	20	4	19	日	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草 の観察」	任坊山公園P 9:30	榊原靖(0569-21- 3497)安達
25	20	4	25	土	受託		知多	中止「春の野草と虫さ ん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025) 吉川勉
26	20	4	25	土	募	協	阿久	「シュレーゲルアオガエ ルの観察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071- 3954)榊原正
27	20	4	26	日			支部	無期限延期 持ち寄り会 ※感染症対策のため 3/7を延期したモノ	未定 9:30~15:30	(榊原正)
28	20	5	9	土	受募		知多	中止「信濃川の生きもの を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122) 田中央
29	20	5	10	日	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9: 30	平松裕(090-8071- 3954)榊原正
30	20	5	10	日	募	協	常滑	中止「砂浜に咲く草花と 虫たち」●常滑市生涯学 習スポーツ課	蒲池漁港P 9:30	中井(0569-42-2021) 森田
31	20	5	10	日	受託		大府	「春のいきものをさがそ う」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 今西
32	20	5	16	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
33	20	5	16	土	受託		知多	中止「企業緑地の生きも の」●知多市環境政策 課	出光興産 9:30	南川(056-942-5382) 吉房
34	20	5	16	土	受募		東浦	中止「ヒメボタルに会お う」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34- 6040)岩本
35	20	5	16	土	受託		東海	中止「ヒメボタルに会お う」☆ ●東海市施管協	上野台公園P 21:30	吉川洋(052-381- 4426)浅井一

75	20	9	6	日	募	協	武豊	「秋の気配を感じよう」	別曾池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠中
76	20	9	12	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
77	20	9	12	土	受託		大府	「セレトナ森研⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
78	20	9	13	日	受託		大府	中止「川のいきものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川 飛び石付近 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
79	20	9	19	土	受託		知多	中止「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501)浅井一
80	20	9	19	土	受託		東海	「秋の虫を探そう」☆ ● 東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	平松俊(052-601-1491)森田
81	20	9	19	土	受託	協	半田	「神戸川の生きもの」● 半田市環境課	青山公園P 9:30	榎原靖(0569-21-3497)石川由
82	20	9	20	日	受託		大府	中止「延命寺川の生き物調べ」●大府市環境課	大府市立大東小学校前 8:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
83	20	9	26	土	募	協	東浦	「身边にあるきのこを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952) 降幡
84	20	9	27	日	受託		大府	中止「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園薬草園 9:30	村瀬(0562-46-1974) 福岡
85	20	10	3	土	受募		知多	「キノコに会いに行こう」●梅の館	●梅の館 9:30	南川(0562-55-9025) 降幡
86	20	10	3	土	募	協	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101)牧野
87	20	10	3	土			支部	中止 みどり…交歓会-下見	阿久比町内 14:00	(平松裕)
88	20	10	4	日	受募		常滑	「雑木林のキノコたち」● 大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060) 中井
89	20	10	4	日	受託		大府	「セレトナ森研⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
90	20	10	10	土	受託		知多	中止「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	吉房(0562-55-9025) 降幡
91	20	10	11	日	受託		東海	「アサギマダラに会おう」☆ ●東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
92	20	10	17	土			支部	中止 みどり…交歓会-本番	阿久比町内 9:00	(平松裕)
93	20	10	18	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう③」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 今西
94	20	10	18	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(080-3648-4467)岩本
95	20	10	18	日	受託		東海	「公園のキノコを観察」☆ ●東海市施管協	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060) 吉房
96	20	10	18	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畠中(080-1631-0413) 伊藤伸

56	20	7	5	日	受 託		大 府	「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
57	20	7	5	日	募 協	武 豊		「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	市原農村広場の東P 9:30	畠(0569-73-3518)榎原正
58	20	7	10	金	受 託		大 府	「セレトナ森研④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
59	20	7	11	土	受 託		東 海	「昆虫とオオケマイマイ」 ☆ ●東海市施管協	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
60	20	7	11	土	受 募		東 浦	「初夏の里山で生き物を探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
61	20	7	11	土			支 部	7月役員会	未定 13:30	庶務
62	20	7	12	日	募 協	阿 久		「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
63	20	7	12	日	募 協	常 滑		「休耕田の虫たち」井間池・高砂山 ●常滑市生涯学習スポーツ課	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060)森田
64	20	7	未 定	平 日			支 部	中止 みどり…交歓会 事前打合せ会	阿久比町内 13:30	(平松裕)
65	20	7	17	金	募 協		東 浦	「森の中で虫探し & 灯火に集まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(080-3648-4467)水野利
66	20	7	19	日	受 託		大 府	中止「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園薬草園 9:30	村瀬(0562-46-1974) 今西
67	20	7	25	土	受 募		知 多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382) 藤井辰
68	20	8	1	土	受 託		知 多	中止「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JATGエネルギー(株) 9:30	野村(0562-55-4122) 南川
69	20	8	1	土	受 募		東 浦	中止「須賀川の生き物に会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
70	20	8	2	日	募 協		常 滑	「海辺のヤドカリたち」 干潮 11:19 ●常滑市生涯学習スポーツ課	蒲池漁港P 10:00	森田(0569-42-1708) 中井
71	20	8	2	日	受 託		半 田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第4P 19:00	榎原正(0569-21-7000)山田和
72	20	8	8	土	募		美 南	中止「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
73	20	8	29	土	募 協	阿 久		「灯火採集 & クロマドホタルはまだいるのかな?」	「ふれあいの森」正門から東へ約450mの農道 19:30	平松裕(090-8071-3954)榎原正
74	20	9	5	土	受 募	協	美 南	「布土川の生き物観察」 ●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	齊藤(090-4213-2898) 榎原靖

No.	年	月	日	課題	課題担当	「手一式」 ●印…主催者	事合場所記	担当指揮員	(開合合意先)
1	20	1	18	土		1月役員会 ※ 年間予定完成、総会資料の印刷	会役割分担、総会資料	未定 13:30	庶務
2	20	2	8	土		総会資料の印刷	青海公民会	13:30	庶務
3	20	2	16	日		総会	未定 9:30	庶務	
4	20	2	29	土		総会議事録等の印刷	青海公民会	13:30	庶務
5	20	3	7	土		延期→4/26 持ち書き会	未定 9:30~	(脚原正)	
6	20	3	20	祝		県協議会総会	未定	(脚原晴)	
7	20	4	26	日		延期限延期持ち書き会※懇親会	未定 9:30~	(脚原正)	
8	20	5	16	土		5月役員会	未定 13:30	庶務	
9	20	5	30	土		中止 候泊研修 1日目	未定	(牧野)	
10	20	5	31	日		中止 候泊研修 2日目	未定	(牧野)	
11	20	5	未定	平		中止 カルト…交歓会-事前打ち合	県事務所	(平松裕)	
12	20	7	11	土		7月役員会	未定 13:30	庶務	
13	20	7	未定	平		中止 カルト…交歓会-事前打ち合	阿久比町内	(平松裕)	
14	20	9	12	土		9月役員会	未定 13:30	庶務	
15	20	10	3	土		中止 カルト…交歓会-下見	阿久比町内	(平松裕)	
16	20	10	17	土		中止 カルト…交歓会-本番	阿久比町内	14:00	(平松裕)
17	20	10	24	土		中止 候泊研修 1日目 (県協議会)	未定	(牧野)	
18	20	10	25	日		中止 候泊研修 2日目	未定	(牧野)	
19	20	10	31	土	受付	開除 カルト…交歓会-予備日	阿久比町内	9:00 (平松裕)	
20	20	11	14	土		11月役員会 ※ 年間予定(支部)	未定 13:30	庶務	
21	20	12	5	土		12月①役員会 ※ 支部・巧口ひり	未定 13:30	庶務	
22	20	12	19	土		12月②役員会 ※ 年間予定の調査	未定 13:30	庶務	

2020年2月の総会時日予定 ※ 以降の各カ月に引き継ぎ

支部主催の事業 2020(令2)年 1月～12月

97	20	10	24	土	支 部	中止 宿泊研修 1日目 (県協議会の研修会)	未定	(牧野)
98	20	10	25	日	支 部	中止 宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
99	20	10	31	土	受 託	支部 削除 みどり…交歓会- 予備日	- 阿久比町内 9:00	(平松裕)
100	20	11	14	土	募 協	豊 「にぎやかな秋の鳥たち を見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078) 清水
101	20	11	14	土	支 部	11月役委員会 ※ 年間 予定(支部行事)、総会資 料名一覧	未定 13:30	庶務
102	20	11	15	日	受 託	大 府 「セレトナフェスタ2020- セレトナ森研⑦」●セレト ナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
103	20	11	21	土	受 託	東 浦 「秋の宝物で工作をしよ う」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)山田公
104	20	11	29	日	募 協	阿 久 「リース作りや竹の工作 あそぼう」	洋菓子サリュー東 9: 30	平松裕(090-8071- 3954)牧野
105	20	12	5	土	支 部	12月①役員会 ※ 支 部・プロック行事調整、 年報、補助金	未定 13:30	庶務
106	20	12	6	日	受 託	大 府 「セレトナ森研⑧小枝で 作ろう リース」●セレト ナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
107	20	12	6	日	募 協	半 田 「康衛池の力モと阿久比 川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22- 0908)榎原正
108	20	12	12	土	募 協	知 多 「日長神社の紅葉を愛で よう」●あいちの観察会	産業道路日長イン ター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670) 吉川勉
109	20	12	19	土	受 募	知 多 「佐布里池に集まる野鳥 を観察しよう」●梅の 館	梅の館 9:30	細川(0569-43-3670) 古川
110	20	12	19	土	支 部	12月②役員会 ※ 年間 予定の調整、会計関 係、総会次第	未定 13:30	庶務



【行事名】 「シュレーゲルアオガエルの観察」

【日 時】 2019年4月25日（土） 18：30～19：40
【場 所】 [季の野の台所]（美浜町）近くの水田
【天 気】 晴れ
【担 当】 平松裕、榎原正
【参加者】 一般 2名 大人 2名, 子ども 2名
(指導員：榎原正、平松裕、古川)

【内 容】

参加者のマスクは”コロナ”の非常事態宣言中を物語っている。さて、数年前、同じ場所でのシュレーゲルアオガエルの観察会（最下段にリンク先有り）に行ったときは、一匹ずつであったが目的のかエルのオス、メスをしっかりと見ることが出来た。

当然、それを期待して行ったが、結果から言えば、鳴き声は盛んではあったが、緑鮮やかなシュレーゲルアオガエル本体を見ることが出来なかった。残念であるが、これが”自然の現実”で期待通りにはいかない。

参加された一家族は確かに知立市からとのこと。全く申し訳ないが次回に期待していただきたい。

なお、当夜は 風もなく、思ったより寒くなく、三日月と”宵の明星”がキレイに見えて、星空観察にはもってこいの場所でした。個人的には北極星を久しぶりに見て、若いときに戻ったような気がした次第。
(記：榎原正)

【観察会の様子】



【左】担当者の始めの挨拶とお話



【右】カエル探しに”あぜ道”を進む



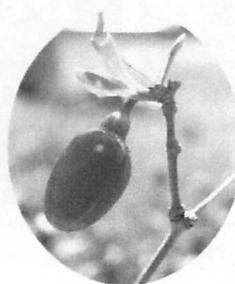
【左】みんなが見てる先でシュレーゲルアオガエルが鳴いているのだが姿が見えない
【右】写真クリック→アマガエルの鳴く動画（ユーチューブ動画へ） ※写りは悪い



【観察会の様子-追加】

阿久比ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	4	25	土	募	協	阿 久	「シュレーゲルアオガエルの観 察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071- 3954)榎原正
2	20	5	10	日	募	協	阿 久	「竹林であそぼう」	洋菓子サ リュー東 9:30	平松裕(090-8071- 3954)榎原正
3	20	6	27	土	募	協	阿 久	「福山川の生き物は今年も元気 かな？」	阿久比板山公 民館P 9:30	平松裕(090-8071- 3954)浅井一
4	20	7	12	日	募	協	阿 久	「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071- 3954)田中央
5	20	8	29	土	募	協	阿 久	「灯火採集 & クロマドホタルは まだいるのかな？」	「ふれあいの 森」正門から東 へ 約450mの 農道 19:30	平松裕(090-8071- 3954)榎原正
6	20	11	29	日	募	協	阿 久	「リース作りや竹の工作であそ ぼう」	洋菓子サ リュー東 9:30	平松裕(090-8071- 3954)牧野



【行事名】 「福山川の生き物は今年も元気かな？」

【日 時】 2020年6月27日(土) 9:30～11:20
【場 所】 阿久比板山公民館～福山川
【天 気】 曇り
【担 当】 平松裕、浅井一
【参加者】 一般 大人 3 名、 子ども 3 名
(指導員：浅井一、門脇重、田中央、平松裕、古川、森田琢)

【内 容】

梅雨の中休みで、蒸し暑かったが開催できてよかったです。3密を避けることと、川での注意事項を説明して川に入る。降り口から二手に分かれて採集した。約1時間採集して、分ち合いをしました。赤いヌマエビが何匹も捕まつた。近年、エビ類とモクズガニが増えているように感じる。カマツカも3匹捕まつて、安定した水質である気がする。道路を4歳の子どもが一人で渡つてしまい、もっと注意をしなければいけないと感じた。

【観察した生き物】

イシガメ、アカミミガメ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ヌマエビ、スジエビ
オイカワ、タモロコ、カマツカ、マドジョウ、ヨシノボリ、ギンブナ、メダカ
トノサマガエル、ダルマガエル、ヌマガエル、コオイムシ、マツモムシ、ガムシ、アメンボ、カワニナ、シジミ

【観察会の様子】



【左】採取風景



【右】赤い（赤っぽい）ヌマエビ



【左】イシガメ（左）とミシシッピアカミミガメ（右）



【右】ミニ水族館

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「竹林で遊ぼう」

【日 時】 2019年5月10日（日） 9：30～11：10
【場 所】 洋菓子サリュー東
【天 気】 雨模様の曇り（霧雨）、ほぼ無風
【担 当】 平松裕、榎原正
【参加者】 一般 2名 大人 1名、 子ども 1名
(指導員：榎原正、平松裕、古川)

【内 容】

“コロナ”的緊急事態宣言継続中（延期）であり、天気状況からしても指導員や一般参加は零（ゼロ）を予測していた。予測通りなら、中止にしようと担当の平松氏と、ほぼ、決めていた。

そしたら、9:15過ぎに親子が、9:20過ぎに指導員が一人来た。

普段ならば、来た人からエサやり体験など“ヤギさんと遊ぶ”時間なのだが、それも出来ない。

そこで、林内で草木で濡れたり根っこなのでスペッて転んでも自己責任と言うことで林内に移動。

さすがに、ハンモック、ブランコ、シーソー、竹渡り、フジづる登りなどでは遊べなかつたが、探検コースは注意しながら小回りコース、大回りコースを実施。そのコース上で“タケノコ”を掘つたりした。

子どもは男の子だったこともあり、ゴム銃（パチンコ）遊びが相当気に入ったようで、弾（タマ）をたくさん作つて持つて帰つた。

時間早めに終わつたが、参加者（親子で二人だけだけど…）は楽しかつた、また、来たいと言つことでした。
(記：榎原正)

【観察会の様子】



【左】道路に目印の旗。風は無いが雨模様



【右】探検コースへ出発



【左】タケノコ、ゲット。男の右手に“ゴム銃”



【右】終わりのあいさつ

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「灯火採集 & クロマドホタルはまだいるのかな?」

【日 時】 2020年8月29日(土) 19:30~21:00

【場 所】 阿久比ふれあいの森東約450m農道

【天 気】 晴

【担 当】 平松裕、榎原正

【参加者】 一般 大人 7 名, 子ども 6 名

(指導員: 浅井一、榎原正、平松裕、牧野、森田琢)

【内 容】

5年ぶりにこの場所で灯火採集とナイトハイク復活しました。クロマドホタルがまだ棲息しているのか確認を兼ねてのことでしたが、思いのほかたくさんの方が参加してくれました。

光っているのはいくつか確認できましたが、幼虫の姿は見つからなかと諦めかけた時に、正躬先生が意地で?見つけてくれました。

そこそこ灯火にも虫が集まってくれて楽しい観察会でした。開始時間を30分早くするべきでした。

【観察した生き物】

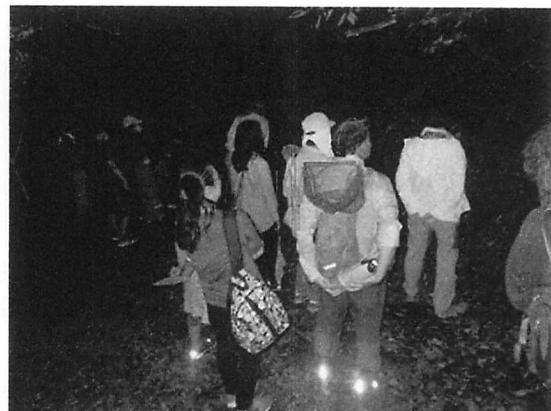
コカマキリ、アケビコノハ、ハラビロカマキリ、オオカマキリ、ツヅレサセコオロギ、アオドウカネ、ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、シロヘリカメムシ、ハネカクシの仲間、ガムシの仲間、クサキリ、セスジツユムシ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、コメツキムシ、シロヒトリ、モンキシロノメイガ、ギンツバメ、クロマドホタル他、カナヘビ、クモいろいろ

※ 当日参加の指導員からの写真 → [ここ](#)

【観察会の様子】



【左】 灯火採集場所で始めのあいさつ。この後、ナイトハイク 【右】 真っ暗の中で
クロマドホタルの光を観察



【左】 ナイトハイクから戻って、灯火に集まった虫を観察 【右】 クロマドホタルを
撮る大人たち



【観察会の様子-追加】

【行事名】 「草木川の生き物観察」

【日 時】 2020年7月12日9：30～11：30
【場 所】 正聖院～草木川
【天 気】 晴
【担 当】 平松裕、田中央
【参加者】 一般 大人 7 名、 子ども 9 名
(指導員: 浅井一、安達、門脇重、榎原靖、田中央、平松裕)

【内 容】

梅雨の中休みにちょうど当たり、川の観察会には絶好の日となりました。水量が多く深みが多い川なので、川の下流から入りましたが、人数も多く、一般参加者も川の常連さんがほとんどで、それなりに種類も数も捕れました。分ち合いでは、だんだん接近する子ども達を注意しながら説明を聴いていました。

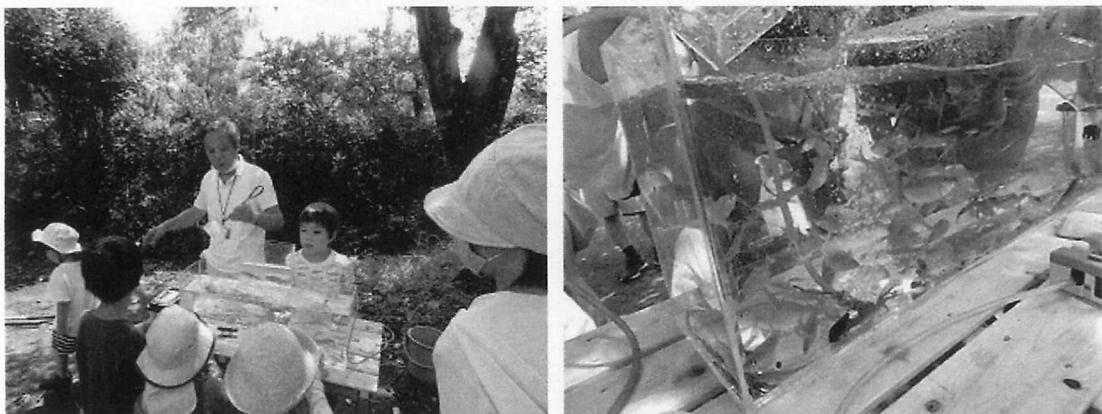
【観察した生き物】

昆虫: コオイムシ、ギンヤンマヤゴ
魚類: オイカワ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、メダカ、カダヤシ、フナ、ブラックバス、ヨシノボリ、ヌマチチブ、ナマズ
その他: アメリカザリガニ、スジエビ、ミナミヌマエビ、モクズガニ

【観察会の様子】



【左・右】 ここから川へ降りて、上流に向かって進む。70mぐらい上流が終点（登り口）



【左】 指導員手製の水槽と展示台 **【右】** 家から持参の透明な真水を水槽に入れて“ミニ水族館”

※ 上2枚の写真は…写真クリック→ビッグサイズです

大府ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種 保 険	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	1	12	日	受 託	大 府	「セレトナ森研⑧冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	20	2	2	日	受 託	大 府	「セレトナ森研⑨朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井
3	20	3	1	日	受 託	大 府	「セレトナ森研⑩春に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
4	20	4	12	日	受 託	大 府	中止「セレトナ森研①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
5	20	5	10	日	受 託	大 府	「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
6	20	5	17	日	受 託	大 府	中止「セレトナ森研②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
7	20	5	24	日	受 託	大 府	「虫・花・樹をさがそう・春」●あいち健康の森公園	健康の森公園 管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
8	20	6	21	日	受 託	大 府	「セレトナ森研③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
9	20	7	5	日	受 託	大 府	「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園 管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
10	20	7	10	金	受 託	大 府	「セレトナ森研④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
11	20	7	19	日	受 託	大 府	中止「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園 薬草園 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
12	20	9	12	土	受 託	大 府	「セレトナ森研⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
13	20	9	13	日	受 託	大 府	中止「川のいきものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川 飛 び石付近 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
14	20	9	20	日	受 託	大 府	中止「延命寺川の生き物調べ」●大府市環境課	大府市立大東 小学校前 8:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
15	20	9	27	日	受 託	大 府	中止「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園 薬草園 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
16	20	10	4	日	受 託	大 府	「セレトナ森研⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
17	20	10	18	日	受 託	大 府	「虫・花・樹をさがそう③」●あいち健康の森公園	健康の森公園 管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
18	20	11	15	日	受 託	大 府	「セレトナフェスタ2020-セレトナ森研⑦」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
19	20	12	6	日	受 託	大 府	「セレトナ森研⑧小枝で作ろうリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋

【行事名】 「リース作りや竹の工作で遊ぼう」

【日 時】 2020年11月29日（土） 9:30 ~ 12:00

【場 所】 洋菓子サリュー東

【天 気】 晴れ

【担 当】 平松裕・牧野

【参加者】 一般 大人3名、子ども 6名

(指導員：桑原、榎原正、鈴木、田中央、平松裕、牧野)

【内 容】

風もなく、さほど寒さを感じない絶好の観察会日和。活動しやすい日でした。

子供たちは、まずヤギを見学。そして竹林の中へ出発。竹で作ったシーソーやブランコなどの遊具を楽しみ、短い竹林トレイルを一周しました。恒例のパチンコや蕪登りにも挑戦。

その後、竹林を出てリース作り。初めホットボンドの温度がなかなか上がらない、できたリースをヤギの柵にかけておいたら一部食べられるなどのトラブルがありましたが、皆さん、ひとまずリースは完成しました。

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶。この後、竹林内の遊具アリアへ 【右】さっそく、横ゆれ大型ブランコ



【左】遊具遊びや探検を終えてリース作り 【右】完成したリース（バックの毛布がないとヤギのエサとなる）

【観察会の様子-追加】

武豊ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	1	19	日	募	協	武 豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の 海岸 9:30	古川(0569-73- 6078)伊藤伸
2	20	4	5	日	募	協	武 豊	「春の息吹に触れよう」	別曾池公園P 9:30	畠中(080-1631- 0413)古川
3	20	5	17	日	募	協	武 豊	「初夏の野草や花、虫たちに会 おう」	壹町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73- 5059)畠
4	20	6	13	土	募	協	武 豊	「自然のホタルに会おう」	市原農村広場 P 19:00	畠(0569-73-3518) 畠中
5	20	7	5	日	募	協	武 豊	「ジャブジャブと新川の生きもの すくい」	市原農村広場 の東P 9:30	畠(0569-73-3518) 榎原正
6	20	9	6	日	募	協	武 豊	「秋の気配を感じよう」	別曾池公園駐 車場 9:30	伊藤伸(0569-73- 5059)畠中
7	20	10	18	日	募	協	武 豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作し よう」	武豊自然公園 P 9:30	畠中(080-1631- 0413)伊藤伸
8	20	11	14	土	募	協	武 豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よ う」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73- 6078)清水



【行事名】 虫・花・樹をさがそう・夏 主催 あいち健康の森公園

【日 時】 2020年7月5日(日) 09:30~11:30

【場 所】 集合:健康の森公園管理事務所

【天 気】 曇り

【担 当】 村瀬、門脇重

【参加者】 一般12名(大5名、子供7名)

(指導員4名:今西、村瀬、森田、吉川洋)

【内 容】

愛知県内のコロナウイルス感染症流行は一時治まり観察会活動も各地域で開催されるようになりました。集合会場の入り口や会議室には消毒アルコールが配備され全員がマスク姿で集いました。観察コースは昨年同様でしたが、行き交う人はマスク姿が目立ちました。昨日の降雨で草地や樹木は湿りがちでしたが虫・花・樹は沢山観察できました。池の周りを一回りする中で子ども達の関心はバッタ、トンボ、チョウ、カミキリムシ、ダンゴムシに集まります。予定の時刻には会議室に戻り観察できた生きものを再確認して分かち合いを終えました。図鑑持参の子どもが目立つ観察会でした。(以上、記・森田)

雨上がりの湿気の多い中、何とか降らずに観察会ができました。今年はカブトムシやクワガタムシが全く見られなくて残念でしたが、たくさんのショウジョウバッタや、イナゴ、クサキリなどが見つけられ、オオシオカラトンボや、ベニシジミ、ゴマダラカミキリなどもとれて、虫は触らない。

けど、飼いたいという子たちなど生き物に关心を持ってくれてよかったです。クマゼミの出てきた穴や抜け殻にも気がつくことができました。キノコもいくつも見て触り心地や香りを確かめることができました。(以上、記・吉川洋)

【観察した生き物】(以下、編集・森田)

◎虫

ゴマダラカミキリ、ショウジョウバッタ(若齢)、エンマコオロギ、クサキリ、マダラバッタ、イナゴの仲間、キリギリス(鳴き声)、オオシオカラトンボ、モンシロチョウ、ベニシジミ、モンキアゲハ、オオスズメバチ(死骸)、クマゼミ(死骸)、オカダンゴムシ、ゴミグモ

◎花

ヘクソカズラ(別名:サオトメカズラ、ヤイトバナ)

◎樹

モミジバフウ(結実)、ハゼノキ、タブノキ(結実)、ネムノキ(開花)、ツバキ(結実)、ナンキンハゼ(開花)、ムクロジ(結実)、カツラ(結実)、ハルニレ(虫こぶ)、ケショウヤナギ

◎茸

ニセシロハツ、シバフタケ、ニオイコベニタケ、ニオイワチチタケ、ヒイロタケ

◎その他

カタツムリ(イセノマイマイ)、藻類 フクロイワノリ、ウシガエル(鳴き声)、キジバト

【観察会の様子】



【左】諸注意



【右】野鳥観察室 付近

【行事名】春の息吹に触れよう（草・花・虫）

【日 時】 武豊別曾池公園周辺
【場 所】 武豊別曾池公園周辺
【天 気】 晴れ（風強し）
【担 当】 畑中、古川
【参加者】 一般 7名（大人3、小4）

指導員：浅井一、伊藤伸、榎原正、鈴木汎、畠、畠中、古川、森下保、森下栄（畠中記）

【内 容】

今年度も初の観察会を別曾池周辺で行いました。去年までは里山の雰囲気のある中の観察会でしたが、今年は風景が一変、ソーラー発電のための整地が広がり、雑木林や川沿いの木々が無残に切られた姿を見ながらの観察会でした。

そんな中、スタートしてすぐ、シュレーゲルアマガエルの鳴き声やウグイスの澄み切った声を聞くことができ、水路でドジョウとワカサギが捕れ、皆さんビックリ。

この季おなじみのアケビの花とショウジョウバカマに会い、子供たちには竹筒の笛、ウラジロの跳ね馬が土産となり、お母さん達は少々のセリ、ワラビを手にしました。

終わりがけに珍しいタンザワウマノスズクサにあいました。

【観察できたもの（文中以外）】

アリアケスマリ、アメリカフウロ、ナズナ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、コオニタビラコ、ゼンマイ、トウカイコモウセンゴケ、サンキライ、ガガイモ、キランツウ、ベニシジミ、キチョウ、ミノムシ、コゲラ

【観察会の様子】



【左】担当指導員の始めの挨拶とお話



【右】アリアケスマリ。あぜ道に群生



【左】コモウセンゴケの解説。花はまだ先



【右】タンザワウマノスズクサの解説。花はまだ先

【観察会の様子-追加】

【行事名】冬の風物海辺の鳥を見よう

【日 時】 2020 (R 2) 年 1月19日 (日) 9:40~11:30
【場 所】 河和口駅前海岸
【天 気】 晴れ
【担 当】 古川 伊藤伸
【参加者】 一般 8人 (大5 小3)
指導員：伊藤伸、榎原正、清水佐、島、畠中、古川、 (伊藤 記)

【内 容】

晴れたものの冬独特の冷たい西風が少々。この風なら手前の岸辺に寄っているはずのカモたちが全くいない。沖に十数羽がいるだけ。昨年同様今年も種類、数とも少ない。さみしい限りだ。

それでもミサゴが悠々と飛び、沖でカンムリカツブリが潜ったり出たり、のんびりした光景が見られた。

終わりごろイソヒヨドリが現れ一同感激。 以上

【観測できた鳥】

スズガモ、ヒドリガモ、カワウ、オカヨシガモ、ハジロカツブリ、カンムリカツブリ、セグロカモメ、コサギ、ミサゴ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、メジロ、トビ、ムクドリ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ハシボソカラス、キジバト、ツグミ ほか

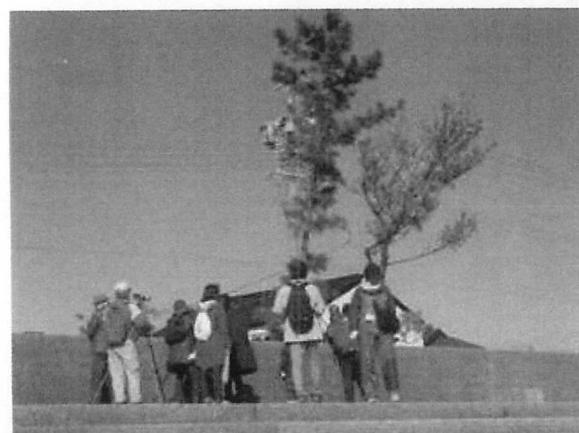
【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話



【右】この子、小さいけど双眼鏡が操作でき、使える



【左】堤防の内側（陸側）も観察対象 【右】遠くにいるカンムリカツブリを鳥スコープで観る



【行事名】自然のホタルに会おう

【日 時】 2020 (R 2) 年 6月13日(土) 19:00~20:30
【場 所】 市原農村広場近傍
【天 気】 雨時々くもり
【担 当】 畠、畠中
【参加者】

指導員：伊藤伸、畠、畠中、榎原正 (畠 記)

【内 容】

朝から断続的に雨。何件かの開催可否の問い合わせに「小雨決行」の回答。

夕方になっても降ったり止んだり。ところが開始直前にピッタリ止んで、終了まで雨無し、ラッキーでした。「ホタルミニ知識」を配り、注意事項を伝えて出発。10分ほど歩いて観察場所へ。道中子供たちは草原でかえるやバッタの子どもを捕らえてご満悦。あつという間に観察場所に到着。

光り出すまでにはまだ少し時間があり、そこでペテラン指導員さん、やおらタモ網を出してかえるとザリガニを掬って生き物解説。子供たちを飽きさせません。

19時50分ころに光り始めました。草むらに、木の葉の陰に。そこにもここにもと一斉に光りだしました。20時になると今度は飛び始めました。大人も子供も大はしゃぎ。大人には郷愁、子供にはロマン呼ぶ、ホタルはいいなあ。このホタルたち、来年も命がつながっていますように。

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話

【右】ホタル生息地への途中。ここで次回観察会を実施との説明



【左・右】つかまえたホタルをお互いに見せ合う。親子ともにホタルは好きみたい...

【行事名】初夏の野草や花・虫たちに会おう

【日 時】 2020 (R 2) 年 5月 17 日(日) 9:30~11:30

【場 所】 壱町田湿地周辺

【天 气】 晴れ

【担 当】 伊藤伸、畠

【参加者】 一般 9名 (大人5、小4)

指導員：伊藤伸、榎原正、清水佐、畠、畠中、古川 (伊藤伸記)

【内 容】

良く晴れた心地よい風の中、ハルゼミの声が聞こえていました。

私たちが最初に見つけたものは、腹の真っ白なヌマガエルでした。続いてクマバチ、クロアゲハが飛び、少し上空にアオスジアゲハも確認できました。オレンジ色のナガミヒナゲシや赤紫系のニワゼキショウが可憐に咲いていました。

そして指導員の一人が建物の外壁水切り部分にへばりついているコクワガタを捕獲すると、子供たちはそれを嬉々として見入っていました。

新型コロナの影響で我慢していたことがあったと思いますが、網を手にチョウや虫を思いっきり追いかける元気な姿を見て、少しほのリラックスできたのではないかと思いました。

【観察できたもの（文中以外）】

ハルゼミ（声）コクワガタ、クマバチ、台灣竹クマバチ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、コアオハナムグリ、マツバウンラン、ニワゼキショウ、ツボミオオバコ、オオバコ、コメツブツメクサ、マツヨイグサ、ヒルザキツキミソウ、アメリカフウロ、ブタナ、コバンソウ、ヒメコバンソウ、ナガミヒナゲシ、ホトケノザ、スイカズラ、ヌマガエル 他

【観察会の様子】



【左】担当指導員の始めの挨拶とお話

【右】ゴボウ。地上部がこんなふうとは知らなかつた



【左】昆虫やヘビが出てこないので、草花の説明

所。以前の様子を解説



【右】数年前と様変わりした場

【行事名】秋の気配を感じよう

【日 時】 2020 (R 2) 年 9月 6日(日) 9:30~11:30

【場 所】 別曾池公園周辺

【天 気】 くもり

【担 当】 伊藤伸、畠中

【参加者】 一般 11名 (大人7、小人4)

指導員：伊藤伸、清水佐、畠中、畠中、古川、牧野 (伊藤伸 記)

【内 容】

大型台風10号が奄美地方に向かっている中、こちらは晴れで観察会ができました。

別曾池周辺はソーラー発電の開発が進み、至る所木は切られ、山肌は剥がされ、農地は稻の代わりに背丈ほどの草が生い茂っていて、建設のその時を待っているかのようです。

しかし、様変わりしても生き物たちはここで生きています。脱皮したてのバッタを見たり、カタツムリやツチイナゴを子供たちが捕まえたり、いつもの光景がここにはありました。変化する環境の中で生き物たちがどう生き抜いていくのか今後も観察していきたいと思います。

【観察できた生き物】

クズ、ガガイモ、ヘクソカズラ、アメリカセンダングサ、ママコノシリヌグイ、アレチヌスピトハギ、ヨウシュヤマゴボウ、ミツバアケビ、イヌホウズキ、ナンバンギセル、センニンソウ、ゴンズイウラギンシジミ、ベニシジミ、ツチイナゴ ほか

【観察の様子】



【左】出発。トンネルの上は名鉄内海線
人草の説明



【右】南知多道路のフェンスに咲く仙人草の説明



【左】ナンバンギセルの群生



【右】キイロスズメ（蛾）の幼虫

【行事名】ジャブジャブ新川の生き物すくい

【日 時】 2020 (R 2) 年 7月 5日(日) 9:30~11:30
【場 所】 新川中流部 (市原農村広場の東)
【天 気】 くもりのち晴れ
【担 当】 畠、榎原正
【参加者】 一般 42名 (大人19、小23)
指導員：浅井一、安達、伊藤伸、鈴木汎、田中央、畠、古川、牧野、森下栄、森下保 (畠 記)

【内 容】

この時期やはり天気が一番気がかり。くもりながら雨の降りだしあなさそうで一安心。会場近くの広い駐車場をお借りでき、指導員の応援を得て車をそちらに誘導し、さらに役場環境課の方が草刈りと川藻の除去をして下さり、お互い安心しての観察会となつた。

挨拶と注意事項のあと脚立を伝って入川。今どき直に川に入ることはほとんどないことからか、大人も子どもも大興奮。早速タモ網を水中へ。ワイワイ、キャーキャー、ジャバジャバ。しばらく川の中がにぎやかに。

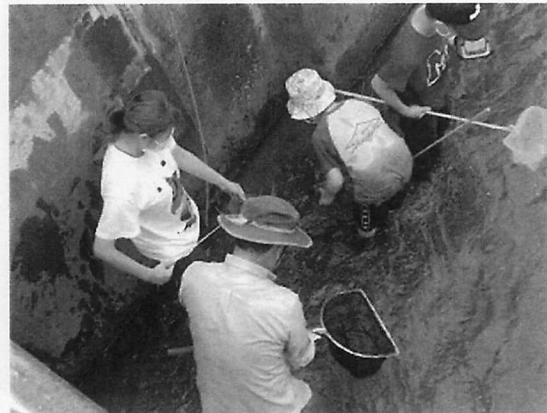
およそ40分経過したところで川から上がる合図。捕れた生物を大きな水槽に入れ展示。中から1種類1匹を透明な小型容器に入れてその生き物について説明し全員に回覧。大人も子どもも新川の生き物の豊富さに驚かれた。

川に入ったこと、生き物を掬ったことがとても楽しかった と子供たちの感想であつた。

【観察できた生き物】

カダヤシ、スミウキゴリ、クチボソモツゴ、ヌマムツ、ドジョウ、ヤリタナゴ、モクズガニ、ヌマエビ、テナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、マツカサガイ、シジミ、コオイムシ、タイコウチ、ハグロトンボヤゴ、ヤンマのヤゴ、ウシガエルほか

【観察の様子】



【左・右】はしごを使って川へ降り、さっそく、お魚ゲットにチャレンジ



【左】採集後、ミニ水族館を作って、お魚の説明会 【右】終了後の記念撮影

【行事名】にぎやかな秋の鳥たちを見よう

【日 時】 2020 (R 2) 年 11月 14 日(土) 9:30~11:50

【場 所】 武豊町中山保育園周辺

【天 気】 快晴

【担 当】 古川、 清水佐

【参加者】 一般 11名 (大人6、小人5)

指導員：榎原正、清水佐、鈴木汎、 畠、 古川 (清水 記)

【内 容】

爽やかに晴れ渡り、観察会日和の日となりました。南知多道路のインターチェンジ新設工事が佳境を迎える、重機が行き交い騒音が響く中であったが、中山新池では多くのカモ達が羽根を休めていました。観察道中にはヌルデやハゼの葉が紅葉し、カラスウリやヤマブドウ、ツルウメモドキ等の実が色づき、秋の景色に彩りを添えていました。

子供たちはガガイモの冠毛を風に飛ばして遊んだり、ハラビロカマキリを捕まえて肩にのせて楽しんだりしていました。林の中ではメジロが賑やかにさえずり、空にはミサゴやヒバリが飛び、田ではエサを探すアオサギが観察できました。

以前は田畠が広く見渡せた場所が、工事で景色が一変してしまったが、多くの生き物や自然に出会う事ができ、実りある会となりました。

【観察できた鳥】

ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、オオバン、ハシビロガモ、マガモ、コガモ、カルガモ、カツブリ、ホシハジロ、シジュウガラ、カワラヒワ、ジョウビタキ、アオジ、ウグイス、メジロ、モズ、ヒヨドリ、キジ、キジバト、ヒバリ、アオサギ、チョウゲンボウ、ミサゴ、ハシブトカラス、ほか

【観察会の様子】



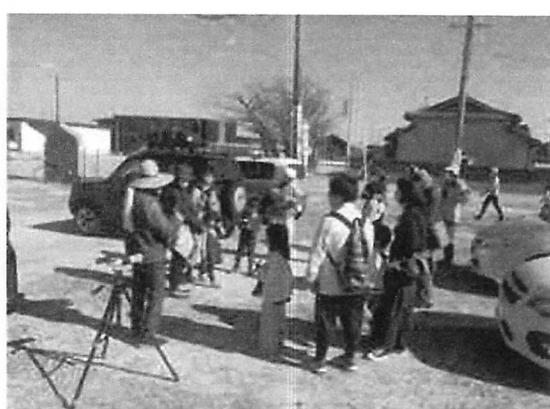
【左】始めの挨拶とお話-日程-コース



【右】集合場所の近くの池



【左】ジョウビタキ(♀)の観察



【右】終わりのお話 & "鳥合わせ"

【観察会の様子-追加】

【行事名】ツルや枝・ドングリ等で工作しよう

【日 時】 2020 (R 2) 年 10月 18 日(日) 9:30 ~ 11:30
【場 所】 武豊町自然公園駐車場
【天 気】 晴れ
【担 当】 畑中、伊藤伸
【参加者】 一般 8名 (大人4、小人4)
指導員：伊藤伸、榎原正、鈴木汎、 畠、 畑中、 (畠中 記)

【内 容】

前日は終日雨が降り続いたので、地面の状況が心配でしたが、工作を始める頃にはアスファルト部分はすっかり渴き、楽しく工作ができました。

まず工作の材料を探し集めるために公園内に入りましたが、ぬれた落ち葉で足元が滑りやすかったり、折角のドングリが湿っていました。

さて工作が始まりますと皆さんホットボンドを上手に使ってどんどん作品を仕上げていきました。

今年の参加者はダンボールを使っての「写真立て」が多かったように思いました。爽やかな空気の中、ケーブルテレビの取材もありで、秋の一日を楽しんでいただけたのではないかと思います。本年は季節の進みが遅れているようで、黄紅葉が少なかったことは残念でした。

【観察できた生き物】

でんでんむし (イセノナミマイマイ、オオケマイマイ)、オニグルミの実、ヤマノイモのむかご、シユロの葉、ヤツデの葉、キンモクセイの香り、…など

【観察会の様子】



【左】担当指導員の始めの挨拶とお話を
枝、葉っぱ



【右】工作の材料集め。木の実、



【左】カタツムリが大好きな女の子がオオケマイマイを見つけた
作中。地元のケーブルテレビが撮影中



【右】工

【行事名】 「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」 ● 梅の館主催

【日 時】 令和2年1月18日（土） 午前9時30分から11時30分まで
【場 所】 知多市梅の館から佐布里池周辺
【天 気】 晴れ
【担 当】 古川、細川
【参加者】 一般：2名

指導員：鈴木、古川、細川、吉川（勉）、吉房

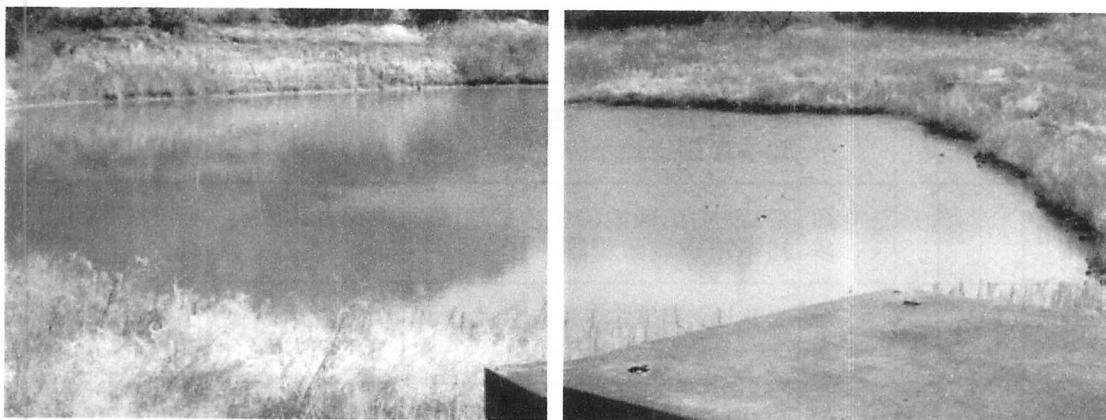
【内 容】

佐布里池周辺の野鳥の観察を行いました。佐布里池は耐震工事中で水が抜かれており、水は限られた場所しかありませんでしたが、水鳥も観察できました。

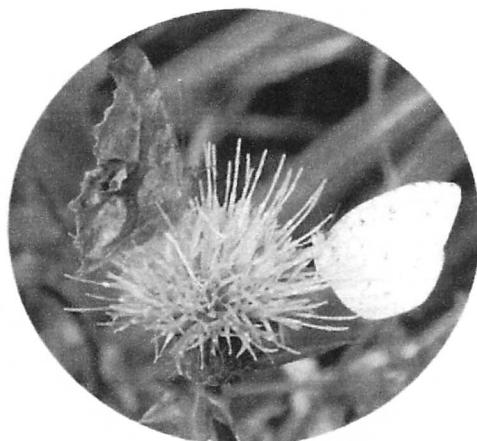
<観察できた生き物>

ミサゴ、オオタカ、ノスリ、ジョウビタキ、ホオジロ、カシラダカ、シジュウカラ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、キジバト、シロハラ、ヤマガラ、コゲラ、ハクセキレイ、ムクドリ、カワラヒワ、メジロ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワウ、ミコアイサ、カルガモ、マガモ、コガモ、カイツブリ

【観察会の様子】



【左・右】佐布里池の鳥たち



トップページへ

知多ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種 保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	1	18	土	受 募	知 多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)細川
2	20	1	25	土	受 募	知 多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
3	20	2	8	土	受 託	知 多	「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	古川(0569-73-6078)吉房
4	20	4	25	土	受 託	知 多	中止「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
5	20	5	9	土	受 募	知 多	中止「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122)田中央
6	20	5	16	土	受 託	知 多	中止「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	出光興産 9:30	南川(056-942-5382)吉房
7	20	5	23	土	受 託	知 多	中止「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	東邦ガス 9:30	吉川勉(0569-43-1501)藤井辰
8	20	6	6	土	受 託	知 多	中止「今年はホタルに会えるかな…？」●こども未来館	水の生活館P 19:00	吉房(0562-55-9025)南川
9	20	6	20	土	受 託	知 多	中止「海辺の生きものの観察」●こども未来館 干潮 11:25	新舞子海岸 郷戸広場 P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榎原正
10	20	7	25	土	受 募	知 多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
11	20	8	1	土	受 託	知 多	中止「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JATGエネルギー(株) 9:30	野村(0562-55-4122)南川
12	20	9	19	土	受 託	知 多	中止「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501)浅井一
13	20	10	3	土	受 募	知 多	「キノコに会いに行こう」●梅の館	●梅の館 9:30	南川(0562-55-9025)降幡
14	20	10	10	土	受 託	知 多	中止「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	吉房(0562-55-9025)降幡
15	20	12	12	土	募 協	知 多	「日長神社の紅葉を愛でよう」●あいちの観察会	産業道路日長インター東広場 P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉
16	20	12	19	土	受 募	知 多	「佐布里池に集まる野鳥を観察賞しよう」●梅の館	梅の館 9:30	細川(0569-43-3670)古川

【行事名】 「冬に長旅してきた身近な野鳥を観察しよう」 ●こども
未来館主催

【日時】 2020年2月08日(土) 9:30 ~ 11:30
【場所】 こども未来館周り
【天気】 晴
【担当】 古川、吉房
【参加者】 一般 大人17名、子ども19名 こども未来館 2名
指導員：田中央、古川、吉川勉、吉房

【内容】

温暖化で暖かな日が続いているせいか、鳥が何種類も空を飛んでいる。馬池の工事が続いているので池の水は無かったが、ヌートリアの家族が橋の近くまで出て日向ぼっこをしていた。私たちの声を聞いてヨシの中へ隠れてしまい残念！！

田んぼではケリやドバトが、上空にはハシボソガラスやキジバトが飛んでいた。電柱の上に留まっているチョウゲンボウを、古川さんが鳥の目で見つけ望遠鏡でとらえて下さり皆が見終わる頃に、肉眼では点でしか見えないチョウゲンボウが、「よく見てちょうだい」とでも言うように、頭の上に飛んできたので、皆おもわず歓声を上げてしまった。

その後背の池に集まっているカモを古川さんのセットした望遠鏡で覗いたりして、大人も小さな子まで楽しく観察することができた。（記：吉房）

【観察した生きもの】

鳥 … キジバト、ドバト、ムクドリ、モズ、ツグミ、スズメ、コゲラ、カワウ、ケリ、トビ、アオジ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、トビ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワセミ、ホシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、チョウゲンボウ

【観察会の様子】



[トップページへ](#)

【行事名】 「朽木の中の生き物を観察しよう」 ● 知多市梅の館 主催

【日 時】 2020年1月25日（土） 9：30～11：30

【場 所】 知多市 梅の館

【天 気】 曇り

【担 当】 藤井（辰）、南川

【参加者】 一般：13名（大人7名・こども6名） 梅の館支：職員1名（江尻氏）

指導員：藤井（辰）、牧野、南川、森田、吉房、吉川 勉、山田

（和） 7名

【内 容】

今年は暖冬、アオジク梅、甲州小梅、寒紅梅が咲き始めている梅林中で観察会を迎えた。子供たちは梅の花には興味をもたないが、大人たちはカメラを咲き始めた梅花にむけている。

観察会の目的である朽木や朽ちた立木の根元をドライバーや小型スコップで探りながら観察をしたがなかなか見つからない。始めのクヌギの朽木にヒゲジロハサミムシのメスが居て、男の子がオスがほしいと言われたのにはびっくり！・昆虫に対する興味深い子が居た。

クスノキの大木の多い林では越冬した、大アゴの朱色のクビキリギスを見つけた。またこのお周辺の腐葉土が深い枯葉を掘り返したら、カブトの幼虫の糞が見つかり、周辺からカブト大きな幼虫とカナブン幼虫がゴロゴロと出てきて、あちこちで歓声が上がり、持参された虫かごに落ち葉や腐葉土を入れて捉えたカブト虫の幼虫を入れられた。捕らえたカブトムシ幼虫を大切に育てられるよう飼育の仕方を説明する。参加された方々は虫かごを慎重に大事そうに持ち帰られた。カブトの幼虫たちが、無事元気な成虫に育つことを祈る。（記：藤井）

<観察できた生き物>

カブトムシの幼虫、カナブンの幼虫、クビキリギス、ヒゲジロハサミムシ、オガダンゴムシ。

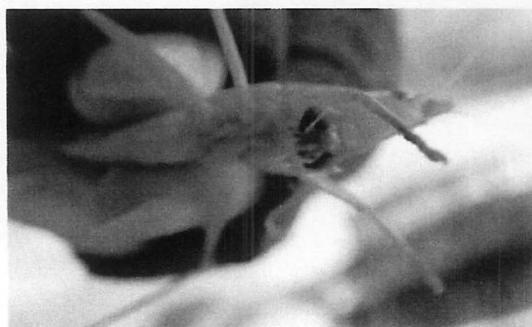
【観察会の様子】



【左】初めの挨拶と観察会の説明



【右】ゴロゴロ出てきたカブトの幼虫



【左】越冬したクビキリギス



【右】咲き始めた紅梅

【行事名】 キノコを観察しよう ●主催 梅の館

【日 時】 2020 年10月 3 日(土) 9:30 ~ 11:30

【場 所】 梅の館

曇り~晴れ

【天 気】 南川陸夫 降幡光宏

【参 加 者】 一般 11名 (大人5人・子供6人)、梅の館 1名、
(指導員:田中(央)、永田(孝)、藤井(辰)、降幡、南川、)

【内 容】

梅の館の安田氏から、はじめの挨拶があり、その後、降幡さんより「きのこ」についての図解説明をされた。キノコを理解して、興味わかせて観察に岡かける。

初めに観察されたのは、大きな、枯木に群がって生えていた、カワラタケの仲間があり子供たちが珍しそうに手にして触れて、感触を体験していた。

梅の館の森は梅の木を主体にされた林であり、林床はいつも手入れされてキノコが生える条件には乏しいと思われたが、イグチの仲間、ベニタケ仲間、大きなコフキサルノコシカケ等、13種類のキノコが観察された。

夏を謳歌したカブト虫、クマゼミ等亡骸、冬眠を迎えるアマガエルや蛹で春を待つセスジズズメの幼虫が見られ、季節の移り変わりを体験できた観察会であった。
(記:南川)

【観察した生きもの】

<キノコ>アラゲカワラタケ、イグチの仲間、ウズラタケ、カワリハツ、カバイロツルタケ、カワラタケ、コウジタケ、コフキサルノコシカケ、ツチカブリ、ヘビキノコモドキ、ベニタケの仲間、ヒイロタケ、ナラタケモドキ、

<昆虫>セスジズズメ、キチョウ、ベニシジミ

<その他>ヒヨドリ、モズ、カラス、アマガエル

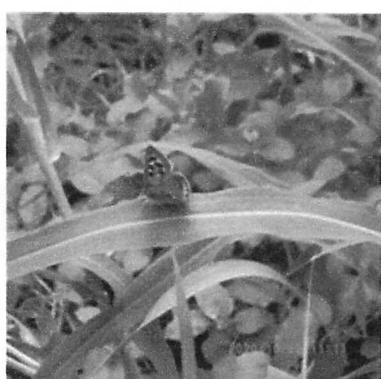
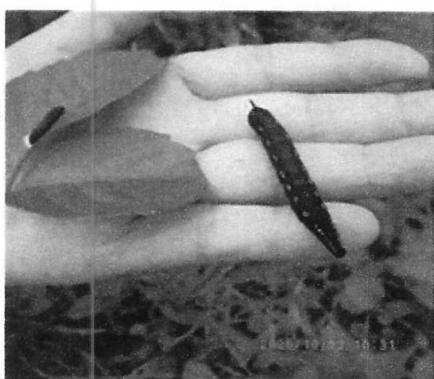
【観察会の様子】



【左】キノコについての説明

【中】アラゲカワラタケを観察
たキノコを展示して説明

【右】採れ



【左】セスジズズメの幼虫

(今年は蛹で春を待つのかな?)

【中】休憩中のベニシジミ

【右】冬眠準備?のアマガエル

【行事名】 企業緑地の生きもの ●主催 知多市環境政策課

【日 時】 2020年8月1日(土) 9:30 ~ 11:30
【場 所】 ENEOS(株) 知多製造所
【天 气】 晴れ
【担 当】 野村静二、南川陸夫
【参加者】 一般 11名(大人5人・子供6人)、ENEOS(株) 2名、市環境政策課2名、
(指導員:野村、南川、)

【内 容】

今年は新型コロナウイルス感染症汚染防止の為、参加者の制限等厳重な体制下と長い梅雨明け初日の観察会と成了た。

主催者からと ENEO(株)の方からの工場の成り立ちと自然環境に対する取り組みの挨拶があり、観察地に向かう。

工場内にあるビオトープへ行くとガマとヨシが茂る所にはチョウトンボ、ショウジョウトンボ、ギンヤンマ等のトンボたちと水辺にクロメダカが泳いでいたし、子供たちは大喜びである。タモを振り回さないので静かにしていると、トンボや蝶たちはジイとしてくれて身近で観察が出来ました。

一方のグリーンベルトの林の中はクスノキ等の並木で涼しく、セミのしぐれの中で樹木と虫たちを観察していると、クヌギの木が見られなかつたのでカブトムシは居ないのかなと思われましたが、なんとクスノキの高さ、3mの所にいる立派なオスのカブトムシを、男の子が、見つけて大人も子供も見上げて感動した後、虫ダモにてゲットして、大喜びをしていました。

(記:南川)

【観察した生きもの】

<植物>ガマ、ヨシ、アオキ、アケビ、イヌビワ、イチョウ、カクレミノ、キリ、グミ、クスノキキヌダ、サンゴジュ、シナノサワグルミ、シユロ、シラカシ、シャリンバイ、ティカズラ、ハゼノキ、チジミガサ、ヤブガラシ、ヤブイチゴ、ナンキンハゼ、メタセコイヤ

<昆虫>アオモンイトトンボ、キイトトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ヒメアカネ、アシナガバチ、ショウリョウバッタ、カブトムシ、ヤマトタマムシ、クマゼミ、アブラゼミ、ウスバカミキリ

<その他>メダカ、トノサマガエル、ヌマガエル、ヒヨドリ

【観察会の様子】



【左】はじめの挨拶



【中】ショウジョウトンボ
ゲットしたよ・・



【右】カブトムシを

トップページへ

【行事名】 佐布里池に集まる野鳥を観察しよう

【日 時】 令和2年12月19日（土）午前9時30分～11時15分

【場 所】 佐布里池周辺

【天 気】 曇り

【担 当】 細川、古川

【参加者】 一般：大人3名

(指導員：浅井一、榎原正、鈴木、田中央、野村、藤井辰、古川、細川、南川)

【内 容】

佐布里池周辺は自然が豊かでこの季節、多くの野鳥が観察できる。佐布里池は堤の耐震工事のため水が抜かれていたが、復水が始まったようで水鳥の姿も見られるようになった。ミサゴが獲物を狙う場面に遭遇でき、観察会は大いに盛り上がった。

【確認できた鳥】 ※鳴き声、飛ぶ姿のみも含む

ヒヨドリ、ツグミ、ムクドリ、メジロ、ハクセキレイ、セグロセキレイハシブトガラス、アオサギ、ダイサギ、キジバト、ジョウビタキ、シロハラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、コゲラ、カワラヒワ、ミサゴ、オオタカ、コガモ、カルガモ、マガモ、ミコアイサ

【観察会の様子】



【左】担当指導員の始めの挨拶



【右】池底に水がたまり始めた佐布里池を観察



【左】ここに ミコアイサ が一羽いた



【右】上空のミサゴのホバリングを見る



【左】遠くの高い木のてっぺん枝に十羽のツグミ



【右】終わりの挨拶と鳥の確認

[トップページへ](#)

【行事名】 日長神社の紅葉を愛でよう (兼: あいの自然観察会)

【日 時】 2020年12月12日(土) 09:30~11:30

【場 所】 集合:産業道路日長インター東広場P

【天 気】 晴れ

【担 当】 細川、吉川勉

【参加者】 一般0名

(指導員7名: 浅井一、榎原正、藤井辰、古川、細川、南川、森田)

【内 容】

日長神社の「紅葉谷（もみじだに）」は紅葉の盛り。過日、新聞にこの紅葉が取り上げられたこともあり、紅葉狩りを楽しむ人が多く訪れていた。メディアの影響力の大きさを感じた。

天気に恵まれ、トウカエデやイロハモミジなどの美しい紅葉はもちろん、ウラギンシジミやコメツキなどの昆虫も現れ、楽しい観察会となつた。

(記・細川)

【観察した生き物】

◎植物

トウカエデ、ノムラモミジ、イロハモミジ、オオモミジ、
トベラ、イヌビワ、トウネズミモチ、ナンキンハゼノキ、クス、エノキ、シキザクラ、シイ、フジ、アオツヅラフジ、アオキ、センリョウ、マンリョウ

◎動物

昆虫: ウラギンシジミ、クダマキモドキ、シロテンハナムグリ、コクワガタ(幼虫)、カブトムシ(幼虫)、オオフタモンウバタマコメツキ

巻貝: キセルガイの仲間

鳥類: シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリ

◎その他

菌類: サルノコシカケ

【観察会の様子】



【左】正面階段坂を登って紅葉谷に到着
た紅葉、最盛期



【右】昨日の中日新聞知多版に掲載された
紅葉谷、最盛期



【左】朽ち木の下のカブトムシ幼虫 5匹程



【右】紅葉谷観光客と共に歓声

【観察会続き】

【行事名】 「公園の野鳥を観察」 ● 東海市施設管理協会
【日 時】 2020年1月25日（土）9：30～11：30
【場 所】 東海市大池公園
【天 気】 曇りのち晴れ
【担 当】 神野、岩崎
【参加者】 一般8名、施設管理協会2名
指導員：浅井一、岩崎、神野、平松俊、古川

【内容】
曇って寒い日になりました。定刻になり施設管理協会課長さんのあいさつの後、神野さんがコース等を説明して観察に出かけました。
まず、動植物資料館に入り、剥製を使って神野さんが野鳥の説明をして屋外に出ました。
太田大池を外回りに1周しながら野鳥を探し、濁った声のハシボソガラス、キツツキの仲間のコゲラ、いろいろな声でなくヒヨドリなどについて指導員の説明を聞きました。
池は改修工事のため水を抜かれており、水鳥はほとんど見られませんでした。ラクウショウの林で見たビンズイはここではやや珍しいそうです。
最後に多目的室でまとめを行い会を終了しました。

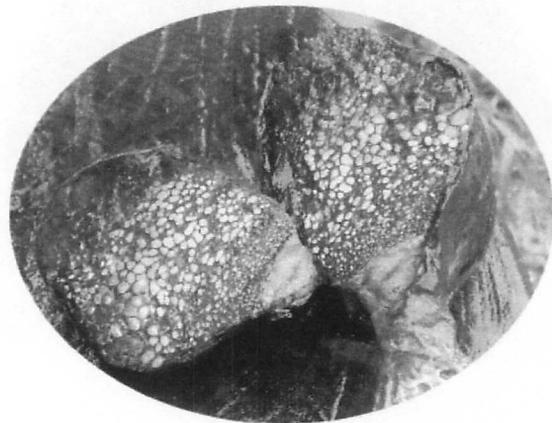
【観察結果（野鳥）】
コゲラ、カワラヒワ、コガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ツグミ、スズメ、メジロ、ヤマガラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ドバト、アイガモ、ジョウビタキ、ビンズイ（16種神野氏記録）（記 平松俊）



[トップページへ](#)

東海ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	1	25	土	受 託		東 海	「公園の野鳥 を観察」参加費 100円 ●東海市施管協	大池公園動植 物資料館 9:30	神野(080-5169- 3964)岩崎
2	20	2	15	土	受 託		東 海	「朽ち木の虫観察」参加費100 円 ●東海市施管協	大池公園テニ スコート前 9:30	吉村(0562-32- 3760)降幡
3	20	5	16	土	受 託		東 海	中止「ヒメボタルに会おう」☆ ● 東海市施管協	上野台公園P 21:30	吉川洋(052-381- 4426)浅井一
4	20	7	11	土	受 託		東 海	「昆虫とオオケマイマイ」☆ ● 東海市施管協	しあわせ村玄 関前 9:30	吉川洋(052-381- 4426)平松俊
5	20	9	19	土	受 託		東 海	「秋の虫を探そう」☆ ●東海市 施管協	大池公園テニ スコート前 9:30	平松俊(052-601- 1491)森田
6	20	10	11	日	受 託		東 海	「アサギマダラに会おう」☆ ● 東海市施管協	加木屋緑地第 三駐車場 9:30	吉川洋(052-381- 4426)平松俊
7	20	10	18	日	受 託		東 海	「公園のキノコ を観察」☆ ●東 海市施管協	大池公園多目 的室 9:30	降幡(0569-43- 8060)吉房



【行事名】 秋の虫を探そう 主催 東海市施設管理協会

【日 時】 2020年09月19日(土) 09:30~11:30
【場 所】 集合:大池公園テニスコート前P

【天 気】 晴れ

【担 当】 平松俊、森田

【参加者】 一般28名(大人14名、子供14名)、主催者(2名)、取材(1)
(指導員3名:浅井一、平松俊、森田)

【内 容】

過去2年間は雨天中止でしたが、今日は秋雨前線が南に移動し好天に恵まれました。コロナ禍で公園での行事は殆ど中止になりましたが久しぶりの行事開催となりました。(管理者言)

秋の虫探しはバラ園脇の草地、中継地点トイレ横の草地、菖蒲園の3ヶ所で実施しました。草地ではエンマコオロギが最も多く、ミツカド、オカメも採取されました。バッタ類ではショウリョウバッタが多く、マダラバッタ等も散見されました。

キリギリス類はササキリ等が散見されました。中継地点トイレ脇草地ではウスバキトンボが沢山飛翔し子どもたちを夢中にさせました。また、小さなメイガも大量に飛び交っていました。菖蒲池ではオタマジャクシから成熟した若いウシガエルが数匹いました。

最後に東屋で当日の纏めをして観察会を終えました。当日のアンケートでは「子ども達にとって秋の虫採りや名前を知る事は楽しいが、秋の虫の話題を幾つか掘り下げて聞きたかった」と言う要望がありました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物

ヤマハギ(開花)、アレチヌスピトハギ、マテバシイ(落果)

◎動物

エンマコオロギ、ミツカドコオロギ、オカメコオロギ、アオマツムシ(鳴き声)

ショウリョウバッタ、マダラバッタ、クルマバッタモドキ、オンブバッタ、イボバッタ

クサキリ、ホシササキリ、ツユムシ、クビキリギス(幼虫)

モンキチョウ、モンシロチョウ、チャバネセセリ、ナミアゲハ、メイガの仲間、シャクガの仲間(幼虫)

ウスバキトンボ、シオカラトンボ、アジアイトンボ、

ナナホシテントウムシ、クロコガネ、カミキリムシ(幼虫)

ツクツクボウシ(鳴き声)

ダンゴムシ

ウシガエル

◎その他

オオシロカラカサタケ、コフキサルノコシカケ

【観察会の様子】



【左】秋の虫採集



【右】秋の虫採集



【左】いっぱい捕れました



【右】菖蒲池のウシガエル

【行事名】 「朽ち木の虫観察」 ● 東海市施設管理協会

【日 時】 2020年2月15日(土) 9:30~1100

【場 所】 東海市大池公園

【天 気】 くもり

【担 当】 吉村、降幡

【参加者】 一般 大人12名、子ども8名

指導員：浅井一、平松俊、降幡、吉村

【内容】

毎年同じ時期に同じ場所で実施している。

参加者の何人かは楽しみにしていて顔見せてくれる。その人たちが要領が分かっているので皆さんのが見本になり楽しいかんさつかいができる。

少し早めに切り上げたら少し心残りがあったみたいで公園事務所のアンケートから来年も参加したい雰囲気が感じられた。

【観察した生き物】 昆虫：コクワガタ（成、幼）、カブトムシ（幼）、カミキリ類（幼）、ウバタマムシ（幼）、コメツキ類（幼）、ヨツコブゴミムシダマシ（成）、エグリゴミムシダマシ（成）、キマワリ（幼）、コガタスズメバチ（成）、クロスズメバチ（成）、オオアリ類（成）、アオモンツノカメムシ（成）、ヒゲジロハサミムシ（成）、正体不明の幼虫、アオズムカデ、イシムカデ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ミミズなど

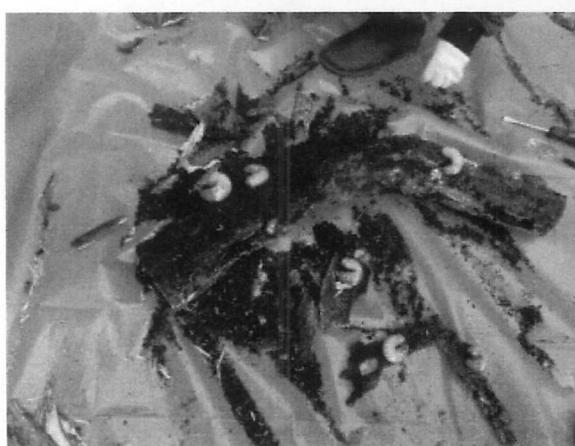
【観察会の様子】



【左】材料集め



【右】虫探しと確認



【左】カブトムシの幼虫



【右】クロスズメバチ

[トップページへ](#)

【行事名】 東海市 大池公園のキノコ観察会 ●東海市施設管理協会

【日 時】 2020年 10月 18日(日) 9:30 ~ 11:50
【場 所】 東海市 大池公園
【天 気】 晴
【担 当】 降幡、吉房
【参加者】 一般 大人6名、子供2名 協会 2名
(指導員: 浅井一、降幡、吉房、)

【内 容】

コロナのため参加者はマスクをかけ、手の消毒をしてソーシャルディスタンスをとっての着席である。

はじめに管理協会の方から公園の諸注意、次に観察会担当からヤマカガシやスズメバチへの対応についての注意があり、続いて本日の本題であるキノコについてつくりや採集の仕方についての説明があった。キノコについての知識が豊富で、キノコを拡大した図を利用して説明するので、分かりやすく参加者が興味をもって熱心に聞き入った。

入り口のケヤキの木に昨年まで立派なコフキサルノコシカケが生えていたが、今年は取り扱われてしまい大変残念だった。コロナのため今年の募集人数が少ないので、キノコを見つける度の説明が全員によく分かった。昨年は見つからなかったホコリタケが見つかり、埃のように吹き出す様子に皆さん感心していた。

子供さんを連れたお母さんがキノコを見つける度に「触ってごらん」と促している姿に感心した。名前にこだわらず感触から学ぶのは観察会で最も大切なことである。こうして育った子供さんは「図鑑で見たから知っている」と言う子にはならないことでしょ

昨年まで立派なコウヤクタケ(幅10cm長さ25cm)が付いていたサクラの木に、今年は見つからず残念だった。(記:吉房)

【観察した生き物-キノコ】

クジラタケ、ヒイロタケ、アラゲカララタケ、カワラタケ、ツヤウチワタケ、ツルタケ、チチアワタケ、アシグロタケ、クロハツ?、アラゲキクラゲ、アカハツ、オオチリメンタケ、ニセシロハツ、オオワライタケ、コフキサルノコシカケ、ホウロクタケ、チャカイガラタケ?、ホコリタケ、スエヒロタケ、ムジナタケ、カイガラタケ、ヌメリイグチ、オチバタケの仲間、チャヒラタケ、イヌセンボンタケ、ウラベニガサ

【観察会の様子】



【左】サルノコシカケ発見しました。



【右】ヒイロタケ



【左】ツルタケ



【右】チチアワタケ

[これまでの観察会へ](#)

[トップページへ](#)

【行事名】 「アサギマダラに会おう」 ●東海市施管協

【日 時】 2020年10月11日(日) 9:30~11:30
【場 所】 加木屋緑地
【天 気】 晴れ
【担 当】 吉川洋、平松俊
【参加者】 一般 大人15名、子ども20名
(指導員: 浅井一、門脇重、榎原正、田中央、平松俊、福岡、古川、吉川洋)

【内 容】

2, 3日前の台風の予報では開催が危ぶまれたが、進路がそれで秋晴れとなった。
南駐車場の最寄りの“あずまや”で開会式。ここにはアサギマダラに来てもらうためたくさん
のフジバカマが栽培されている。花は一分咲き(?)。ここには観察池もありこの周辺でアサギ
マダラの飛来を期待しながら色々な生き物を観察。

時間が来たので上のフジバカマ栽培地(展望台付近)へ移動。ここでもアサギマダラの姿は
見られず、元の“あずまや”へ戻り閉会式。

参加者の親御さんがアンケートを書き終え提出し、幾つかの家族が帰ったころに一匹のアサギ
マダラがやって来た。近くのフジバカマの花まで近づいたが反転して飛び去ってしまい、し
ばらく待ったが来なかった。もう少し早めに飛来があれば、みんなが見ることができたのに…
と思つたものでした。

ところで、終了後、野草好きな指導員が草刈り機で刈られたヌスピトハギを持ってきた。こ
の草を栽培することはないので野生種。ここには、まだ、昔の里山が残っている証拠でした。

また、展望台での景色は素晴らしかったが、結構な登り坂であり日頃運動不足の老体には久
しぶりの刺激となつた。
(記: 榎原正)

【観察した生き物(昆虫)】

ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、キチョウ、オスジアゲハ、ヒメアカタテハ、アサギマダ
ラ(1)、チャバネセセリ、シロオビノメイガ、オオシオカラトンボ、ナツアカネ、オンブ
バッタ、クルマバッタモドキ、コバネイナゴ、ホソヘリカメムシ、マツモムシ、コアオハナム
グリ、ナナホシテントウ、コスナゴミムシダマシ、キイロホソガガンボ、オオハナアブ、キゴ
シハナアブ、ホソヒラタアブ、ナガヒメヒラタアブ、ハラビロカマキリ、チョウセンカマキ
リ、など

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話を広がって並ぶ 【右】フジバカマ。このような株(?)がアチコチに
ある



【左】フジバカマの説明 【右】孫が触れないでジージがつかんで、それをママが撮る

【観察会の様子-追加】

【行事名】 休耕田の虫たち 主催 常滑市生涯学習スポーツ課（まなとこ）

【日 時】 2020年7月12日(日) 09:30~11:00

【場 所】 集合:南陵市民センターP

【天 気】 晴れ

【担 当】 降幡、森田

【参加者】 一般10名（大人4名、子供6名）

(指導員5名：中井三、降幡、古川、牧野、森田)

【内 容】

朝から久しぶりの好天に恵まれワクワクする自然観察会になりました。全参加者20名、知多半島ケーブルネットワーク(CCNC)取材班も同行しました。

オニヤンマ、カトリトンボ、チョウトンボ、コクワガタ等々20主余り、大人も子どもたちも夢中になって追っかけました。時節柄短時間で観察会を締め、分かち合いをした後虫たちをリリースして再会を誓いました。（記・森田）

【観察した生き物】

◎植物

セイタカアワダチソウ、クズ、ガマ、ショウブ、ワラビ、エノキ、ニワウルシ

◎動物(昆虫)

オニヤンマ、カトリヤンマ(若?)、チョウトンボ、シオカラトンボ

モンキアゲハ、シャクトリムシ(シャクカガの幼虫)

ヤブキリ、ショウリヨウバッタ(幼)、ツマグロバッタ、ヒナバッタ、ヒメギス、ツユムシ、コオロギの仲間、トノサマバッタ(?)、カマキリ(若齢)

マメコガネ、コクワガタ、ウズラカメムシ、ニイニイゼミ

◎その他

ヌマガエル、ウグイス(鳴き声多数)

【観察会の様子】



【左】休耕田 草地



【右】オニヤンマ捕獲



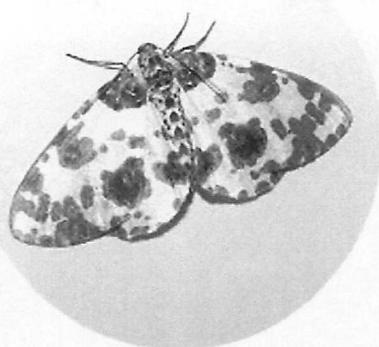
【左】カトリヤンマ(若?)



【右】コクワガタ

常滑ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	3	15	日	受 募		常 滑	「朽ち木のダンゴムシたち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	森田(0569-42-1708)平松俊
2	20	5	10	日	募 協		常 滑	中止「砂浜に咲く草花と虫たち」 ●常滑市生涯学習スポーツ課	蒲池漁港P 9:30	中井(0569-42-2021)森田
3	20	7	12	日	募 協		常 滑	「休耕田の虫たち」井間池・高砂山 ●常滑市生涯学習スポーツ課	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060)森田
4	20	8	2	日	募 協		常 滑	「海辺のヤドカリたち」干潮 11:19 ●常滑市生涯学習スポーツ課	蒲池漁港P 10:00	森田(0569-42-1708)中井
5	20	10	4	日	受 募		常 滑	「雑木林のキノコたち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井



【行事名】 雜木林のキノコたち 主催 大曾公園

【日 時】 2020年10月04日(日) 09:30~11:30

【場 所】 集合:大曾公園P

【天 気】 晴れ

【担 当】 降幡、中井三

【参加者】 一般7名(大人4名、子供3名)

(指導員7名: 中井三、永田、降幡、古川、牧野、森下栄、森田)

【内 容】

下見した9月30日は老菌が目立ち本番を心配しましたが、今日は早朝に小雨、キノコ日和になりました。定例の開会はキノコのお話、危険な生きものと対処法、新型コロナウイルス感染症対策のためのソーシャルディスタンスをお願いして雑木林に向かいました。雑木林の中はコナラ、アラカシ、クリ等の落葉と朽ち木、林床のササで覆われています。林に入るや否や、キノコが次々に見つかり早速歓声があちこちで上がりました。キノコは幼菌・成菌・老菌、群生・散生・孤生の様々な様相で生えており、種数も30余種に及びました。ホタルガ、スズメバチ、オオケマイマイ(蝸牛)、バッタ類にも少なからず出会え、誰もが満足できる観察会になりました。11時に東屋へ戻り、採集したキノコを紙皿に分類・整理し、種名解説して閉会しました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎菌類

キニガイグチ、キクバナイグチ、アカジコウ、マンネンダケ、ニガグリタケ、クロコブタケ、ノウタケ、ホコリタケ、ウスヒラタケ、ベニタケの仲間、カワリハツ、シロハツ、クロハツ、クサハツの仲間、テングタケの仲間(5)、カレバハツ?、不明種あり
ツヤウチワタケ、クジラタケ
ムラサキホコリ(粘菌)=キノコでは無い

◎植物

ヒガンバナ、ヒヨドリバナ、アレチヌスピトハギ、ヤマノイモ
クリ、コナラ、アラカシ、ハゼノキ、カラスザンショウ、ヤナギ、ニセアカシア

◎蜘蛛類・昆蟲類・陸貝

クサグモ、ジョロウグモ、ユウマダラエダシャク、ホタルガ、クロコノマチョウ、オオスズメバチ、ヒカゲチョウ(ナミヒカゲ)、イセノナミマイマイ、オオケマイマイ

◎その他(鳥類)

コサメビタキ、メジロ、ヒヨドリ

【観察会の様子】



【左】林縁で自然ガイダンス



【右】林床はキノコがニョキニョキ



【左】本日の最大種 キニガイグチ



【右】同定が難しいキノコも幾つかある大宴会

【行事名】 海辺のヤドカリたち 主催 生きがい工房まなとこ（常滑市生涯学習スポーツ課委託事業）

【日 時】 2020年08月02日（日） 10:00～11:30
【場 所】 集合：蒲池漁港P
【天 気】 晴れ
【担 当】 森田、中井三
【参加者】 一般40名（大人15名、子供25名）
(指導員10名：浅井一、榎原正、榎原靖、中井、降幡、牧野、森下栄、森下保、森田、吉川勉）、主催者(4名)

【内 容】 昨日東海地方は梅雨明けしました。観察会は事前予定15名を超えて12家族40名を受け付け、我々を含め総勢54名の集いになりました。新型コロナ感染対策と熱中症にも配慮した観察会とすべく、対面での大声会話禁止と定期的飲料をお願いし、マイクで随時警告しながら90分で完結しました。子どもたちの腕前でも、ヤドカリ（ユビナガホンヤドカリ）と磯ガニの仲間は容易にたくさん獲れ、解説にも熱が入りました。下見7月21日、ラミネート資料10枚ほどを事前準備。（記・森田）

【観察した生き物】

◎動物

エビ類 ヨコエビ、イソコツブムシ、長手エビの仲間（ヒラテナガテエビ？）、エビジャコ
カニ類 ヒライソガニ、イソガニ、ワタリガニ（幼）
ヤドカリ類 ユビナガホンヤドカリ
フジツボ類 イワフジツボ
その他甲殻類 フナムシ
魚類 メバル、カサゴ、ヒメハゼ、アゴハゼ、ミミズハゼ、ウロハゼ、チチブ？
イソギンチャク類 タテジマイソギンチャク
貝類 ムラサキイガイ、イボニシ

◎海藻（海草）

ミル、オゴノリ、アナアオサ、アマモ、タンバノリの仲間、アマモ

◎その他（貝殻）

ナミマガシワ、ウチムラサキ、アサリ、サルボウ、マガキ、バカガイ（ピンノ）、アカニシ、イボニシ、ツメタガイ

【観察会の様子】



【左】集合場所で。危険生物＆“コロナ”対策のお話



【右】観察地(海岸)で。採集場所の範囲や集合の合図のお話



【左】採集の様子。家族ごとで活動



【右】手前…ヤドカリの説明。向こう側…その他の生き物の説明

【行事名】 「冬越しをする虫たちの生活」 ●半田市環境課主催

【日 時】 2020年2月8日（土曜日） 9：30～11：20
【場 所】 集合：宮池小学校北側P → 任坊山公園
【天 気】 晴れ
【担 当】 榊原正、牧野
【参加者】 一般 親子で20数名
指導員：浅井一、安達、榊原正、榊原靖、藤井辰、牧野、森下栄、森下保、山田和、

【内 容】

半田ブロックの「冬越しの虫」観察は「朽ち木の中の虫」が中心なので、実施日の二日前に練習用の朽ち木を準備している。

当日は、芝生広場の一角にブルーシートを敷き、その上で朽ち木解体の練習をした後、林内での本番という日程である。

“虫”が出てきたら「寝てるところゴメンね。観察させて下さいね」という気持ちで練習して…と毎回ヤル前に話している。

この活動(朽ち木解体)は子どもたちも大好きで積極的に頑張るので中身の濃い観察会となるが、来年からは「練習→本番」という日程を変えようと思う。園内の散策路で「成体で越冬する虫」を探してから、後半で少し「朽ち木の中の虫」を観察する。やはり、この日程が本来の日程であるような気がする。
(記：榊原正)

【朽ち木の中にいた虫】

- ・幼虫…キマワリ、クワガタムシ、カミキリムシ、など
- ・成虫…アオズムカデ、イッスンムカデ、ジムカデ、ヒゲジロハサミムシ、コガタスズメバチ、ユミアシゴミムシダマシ、コクワガタムシ、ミミズ、など

【観察会の様子】



【左】主催者の挨拶とお話 【右】任坊山公園芝生広場へ移動。朽ち木の解体練習



【左】実際の林内での活動 【右】この様な幼虫に子どもには歓声。クワガタの幼虫

半田ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	2	8	土	受 託		半 田	「冬越しをする虫たちの生活」● 半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榎原正(0569-21- 7000)牧野
2	20	4	19	日	募 協		半 田	「任坊山の春-虫や野草の観 察」	任坊山公園P 9:30	榎原靖(0569-21- 3497)安達
3	20	6	21	日	受 託		半 田	「亀崎海岸の生き物」干潮●半 田市環境課	亀崎海浜緑地 P 9:30	山田和(0569-22- 4660)加藤
4	20	8	2	日	受 託		半 田	「ナイトハイクと灯火に集まる 虫」●半田市環境課	半田運動公園 第4P 19:00	榎原正(0569-21- 7000)山田和
5	20	9	19	土	受 託	協	半 田	「神戸川の生きもの」●半田市 環境課	青山公園P 9:30	榎原靖(0569-21- 3497)石川由
6	20	10	3	土	募 協		半 田	「任坊山の秋-アサギマダラに 会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23- 1101)牧野
7	20	12	6	日	募 協		半 田	「康衛池のカモと阿久比川河口 の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22- 0908)榎原正



【行事名】 「亀崎海岸の生き物」 ●半田市環境課

【日 時】 2020年6月21日(日) 9:30~11:30
【場 所】 亀崎海浜緑地の砂浜海岸
【天 気】 晴れ
【担 当】 山田和、加藤
【参加者】 一般 親子で34名
(指導員: 安達、加藤、榎原正、榎原靖、鈴木、森下栄、森下保、山田和)

【内 容】

今回の観察会は新型コロナウィルス騒ぎの中での実施であった。

6/19以降は緊急事態解除後であり、「感染の第2波等が確認された場合は、再度検討」という条件下であったが、第2波らしきものがなく予定通り実施できたというわけでした。

潮は大潮でカンカン照りではなく、適度に雲のある晴れで絶好の観察会日和でした。

採集した獲物は、いつものように、魚類とそれ以外の種類に分け、それぞれのミニ水族館前で指導員が獲物の解説をしました。

広い海で、普通のタモ網での採集で獲物の種類や量に心配がありましたが、今年もまた、参加のお父さんが頑張ったか、誰が頑張ったか結構な獲物があつてよかったです。
(記; 榎原正)

【観察した生き物】

ボラ(稚魚)、マハゼ、ヨウジウオ、ハゼの仲間、カサゴの仲間、ギンポの仲間、コメツキガニ、モクズガニ、マメコブシガニ、イソエビの仲間、ゴカイ、イガイの仲間、タマキビ、タテジマイソギンチャク、フジツボの仲間、など

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話



【右】採集の様子。地元の有線テレビが取材に来ていた



【左】魚の仲間のミニ水族館での説明



【右】魚以外の生き物の仲間を説明している

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「任坊山の春・虫や野草の観察」

【日 時】 2020年4月19日(日) 9:30~11:30
【場 所】 任坊山公園
【天 気】 晴れ
【担 当】 榊原靖、安達
【参加者】 一般2名(内子ども1名)
(指導員: 榊原正、榎原靖、鈴木、古川、森下栄、森下保、山田和)

【内 容】

新型コロナウィルス感染拡大防止を目的とする緊急事態宣言が出ている状況なので、中止もやむなしと思つて集合場所の任坊山公園駐車場に行ったところ、丁度過密にならない程度の人数が参集していたこと、遠方から一般参加があつたこと、天気もよく野外活動日和だったこと、宮池エリアが新装成したことなどなどの理由で実施することにしました。

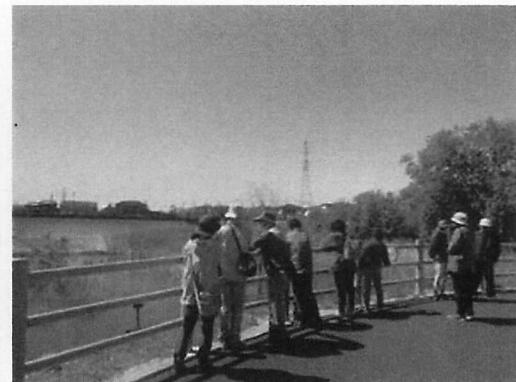
まず、工事が終わって3月28日から供用が始まったばかりの宮池エリアを巡りました。宮池の周囲を巡る、あるいは池の一部を横断する遊歩道が新たに整備されました。水際まで近づけるので間近にコイやフナの泳ぐ姿が見えました。前日かなりの降雨があつたので池の水位がかなり上がっていたようで、その分普段よりも水面が近かつたかもしれません。

水鳥も何種類か見られましたが遠くてよく見えません。次回からは望遠鏡を忘れずに持つてこようと思いました。

その後、毎度おなじみの任坊山展望台を巡るコース。植物たちは変わらずに出迎えてくれましたが、虫たちにはあまり出会えませんでした。虫が少なかつたのでかえつて目に付いたのかも知れません、何年か前ほどではありませんが多数のオオワラジカイガラムシを観察できました。(記: 榊原靖)

【観察した生き物】 [宮池エリア]; コイ、フナ、ハシボソガラス、ギシギシ、セイヨウカラシナ、ノゲシ、アオサギ、カルガモ、ハシビロガモ、ツバメ、アカメガシワ
[任坊山エリア]; ビワ、アカマツ、メジロ(鳴き声)、カラスザンショウ、クロバイ、オオワラジカイガラムシ

【観察会の様子】



【左】担当者の始めの挨拶とお話 【右】宮池内の散策路 ※雨後のため水位が高かった



【左】手前の白っぽい木(クロガネモチ)の日当たりにオオワラジカイガラムシがイッパいてビックリ。

普通は後ろの太い木(コナラ)の日陰部分の割れ目にいることが多く、いつもその部分を探していた。

【行事名】 「神戸川の生きもの」 ●半田市環境課

【日 時】 2020年8月19日(土) 9:30~11:30
【場 所】 神戸川
【天 気】 晴れ
【担 当】 榊原靖、石川由
【参加者】 一般 親子で37名
(指導員: 安達、加藤、門脇重、榊原正、鈴木、田中央、牧野、森下
栄、山田和)

【内 容】

2~3日前から朝晩は過ごしやすい気温になっている。本日は適度な風もあって絶好の観察日和だった。

コロナ禍の時節柄、皆、マスクをしていた。指導員は集合時に全員体温測定をした。皆、適温でOKだった。

観察場所の川は浅く歩き回るには絶好であったが、魚の隠れる場所がなくなっていて子供では魚をとらえるのは無理な状態になっていた。

それでも、川底の石をひっくり返しながら網を入れるとカニや時にはウナギがとれるので子供たちは楽しそうに活動していた。

いつものことながら、指導員が頑張って魚やエビなどをとるので、りっぱなミニ水族館が出来上がり、それを見る子どもたちは、本当に嬉しそうだった。

(記: 榊原正)

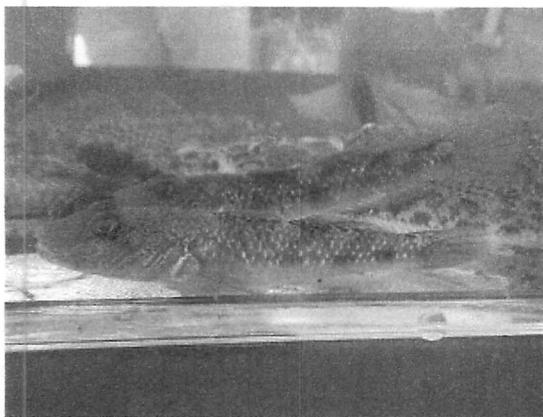
【観察した生き物】

- ・魚類…マハゼ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、カワアナゴ、ウナギ、セイゴ、カダヤシなど
- ・魚類以外…モクズガニ、テナガエビ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、ヒメガムシ、ミシシッピアカミミガメ、ヒルの仲間など

【観察会の様子】



【左】主催者挨拶の後、はしごで川へ降りる 【右】さっそく、親子で活動



【左】ゴクラクハゼもいた 【右】右のタープで魚類の説明。左のタープで魚以外の説明

【行事名】 「ナイトハイクと灯火に集まる虫」 ●半田市環境課

【日 時】 2020年8月2日(日) 19:00~20:30
【場 所】 半田運動公園
【天 気】 晴れ
【担 当】 榊原正、山田和
【参加者】 一般 親子で41名

(指導員: 浅井一、安達、加藤、榊原正、榊原靖、平松裕、牧野、森下栄、森下保、山田和、山田竜)

【内 容】

担当指導員の「虫さんは見るだけで捕らない」というお話は例年通りのことであったが、今回は、「虫は捕らないのでタモ(捕虫網)はここ(集合場所)に置いて行きましょう」ということで出発。このことは、結果的には物凄くよかったです。と言うのは、今まで歩行時にタモ網の柄を横に振りながらの歩き方を途中で何度もしていたが、今回は、その必要がなくナイトハイクが楽しめた。特に、林の中では、かえって、邪魔になりがちだったのでそれも解消できた。

参加者は3班に分かれてそれぞれの班ごとの行動。出発時はそれぞれ方向は違うが、虫がたくさん集まる樹木は一本しかないので、そこに同時刻に到着すると少し後に着いた班は前の班が移動するまで他の観察をしているということになる。そういうこともあるが、毎年、結果オーライで終わっている。

誘蛾灯による灯火に集まつた虫は、今回は、まったく種類も数も少なかった。それでも昆虫好きな子供たちは嬉しそうにキャッキャと虫さんを指さしながら説明する指導員に色々聞いていた。虫の種類や数が少ないので、今夜が満月の晚だったせいであろうということにした。

(記; 榊原正)

【観察した生き物】

[ナイトハイク] コクワガタ、カブトムシ、カナブン、ドウガネブイブイ、キマワリ、蛾の仲間、ムカデ、マムシ、アブラゼミの羽化など
[灯火採集] ドウガネブイブイ、キリギリス、カメムシの仲間(数種類)、ユスリカ(++)など

【観察会の様子】



【左】始めの挨拶とお話。広がって並ぶ



【右】ナイトハイク。樹液に集まる虫の観察



【左】アブラゼミの羽化。子供たちの目の高さにあった



【右】灯火に集まつた虫の観察

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」

【日 時】 2020年12月6日(日) 9:30~11:30
【場 所】 康衛池～阿久比川河口
【天 気】 晴れ
【担 当】 鈴木、榎原正
【参加者】 一般 1名
(指導員: 浅井一光、榎原靖、鈴木汎、森田琢磨、山田和男)

【康衛池の様子】

康衛池の水量がかなり少なくなっていて、一部池の底も見える。河川からの水もなく、しばらく天候も良好で降雨による水もないため。

【観察した生き物】

・康衛池…ハシビロガモ、オオバン、オナガガモ、コサギ、ダイサギ
・阿久比川…セイタカシギ、カイツブリ、カワウ、コガモ、オオバン、カンムリカイツブリ、
ハクセキレイ、カラス、フトヘナタリ、タマキビガイ など

【観察会の様子】



【左】ダイサギ



【右】オオバン



【左】オナガガモ



【右】カンムリカイツブリ



【左】阿久比側河口付近



【右】コガモ

【行事名】 任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな 主催 半田/知多自然観察会

【日 時】 2020年10月03日(土) 09:30~11:30

【場 所】 集合:任坊山公園P

【天 気】 曇り

【担 当】 石川由、牧野

【参加者】 一般0名 (大人0名、子供0名)

(指導員8名:浅井一、石川由、鈴木汎、古川、牧野、森下栄、森田、山田和)

【内 容】

参加者は、一般参加者はおらず、指導員のみ。任坊山と整備された宮池周辺を観察しました。

任坊山では、アサギマダラを探しながら、鳥のさえずりを聴き、キノコや数種類の昆虫を見ながら歩きました。アサギマダラは、今年も森を抜け出たところをひらひら舞っている1頭と出会うことができました。

宮池は、きれいに整備された池周辺の歩道を歩きながら様々な生き物を見つけることができました。中でも、じっと木に止まり続けるカワセミやカイツブリの営巣を見ることができ感動しました。

(記・牧野)

【観察した生き物】

◎昆虫・クモ類

アサギマダラ、ナミアゲハ、ヒカゲチョウ、チョウセンカマキリ、コガタスズメバチ、ハグロハバチ(幼虫)、ハグロケバエ(幼虫)、ノイエバエ、ツクツクボウシ(抜け殻)・ジョロウバチ

◎鳥類

カイツブリ、アオサギ、ダイサギ、カルガモ、カワセミ、ヤマガラ、コサメビタキ、オオタカ、ムクドリ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、キジバト、カワウ

◎爬虫類・両生類

ミシシッピーアカミミガメ、クサガメ、ツチガエル

◎植物

ヒガンバナ(開花)、ガガイモ、ササクサ、アレチヌスピトハギ、イノコヅチ、ヤブラン(開花)、ヨウシュヤマゴボウ(結実)、ダンドボロギク(綿毛)

ナンキンハゼ(紅葉)、ハゼノキ(結実)、コナラ(結実)、トウネズミモチ(結実)、クスノキ(結実)、イヌビワ(結実)、カクレミノ(結実)、ミツバアケビ、ヒヨドリジヨウゴ(結実)、

ハコネウツギ(開花)、アベリア(開花)

◎菌類

イグチの仲間、マンネンタケ(レイシ)、アラゲカララタケ、キクラゲ

【観察会の様子】



【左】アサギマダラ捕獲 !!



【右】アサギマダラと採集名人

【行事名】 里山の春を見つけよう

【日 時】 令和2年4月4日（土）9:30～12:00
【場 所】 東浦自然環境学習の森
【天 気】 晴れ
【担 当】 岩本、山田公
【参加者】 一般3名

（指導員：浅井一、岩本、門脇重、榎原正、竹内秀、田中央、古川、南川、）

【内 容】

ぽかぽか陽気で桜は満開。例年より開花宣言は一週間ほど早かったが、一斉に咲くまでには時間がかかったような気がします。タンポポもアケビも気持ちよさそうに開いて、春も真っ盛り。コナラの新芽がちょっと顔をだし、春が来たよと伝えているようでした。ウグイスが気持ちよさそうにさえずって、ハムシが冬眠から目を覚ましたか木の皮の間からぼろぼろと出現。

コロナウィルスのおかげで里山の恵みを探す会は中止。そのために、今日の会は竹の子探しも行いました。まだ、時期が少し早いのか頭のでいるものはほんの少し。それでも子どもたちは大喜び。

自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行いました。

藤の新芽、コナラの新芽を見る事ができました。常緑樹の新緑、地面にはタンポポやハハコグサ、オニタビラコの黄色、キュウリ草の水色、オオイヌノフグリの青、レンゲソウや、カラスノエンドウの濃いピンク、空の青色などさまざまな自然の色を観察することができました。

ウグイスの声がひびき心が安らぐ気持ちになりました。参加者は、ワラビを手に春の里山をゆっくりと散策し、春を満喫することができました。（記 竹内秀）

【観察した生き物】

- ◎植物：シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、タネツケバナ（実）、ナズナ、キュウリグサ、スマレ、ハハコグサ、オニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギナ（ツクシ）、ヨモギ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、ハナニラ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、アケビ、クズ、コナラ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、ヤマザクラ、ヤブタビラコ
- ◎昆虫：ベニシジミ、ヤマトシジミ、キチョウ、モンシロチョウ、キタテハ、ルリタテハ、ナナホシテントウ、アシナガバチ、
- ◎爬虫・両生類：アマガエル、ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、タニシ、カナヘビ、
- ◎鳥類：オオバン、カツツブリ、ウグイス（声）、スズメ、メジロ、モズ、ヒヨドリ、ムクドリ、ホオジロ、キジバト、ヒバリ、トビ、ハクセキレイ、アオジ、コゲラ、ツグミ、ハシブトガラス、

【観察会の様子】



【左】“コロナ”的話題も含めて担当指導員のお話 【右】ベニシジミを捕まえた

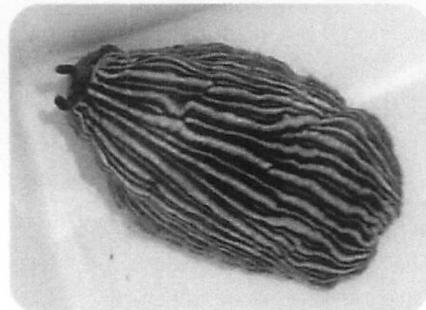


【左】ワラビを探った 【右】大人は草の名前にも興味有り。お互いに聞きあう

【観察会の様子-追加】

東浦ブロック観察会 2020(令2)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保 険	担 当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と 時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	20	2	15	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦自然環境 学習の森P 9:30	岩本(0569-58- 0952)山田公
2	20	4	4	土	募	協	東浦	「里山の春を見つけよう」	東浦自然環境 学習の森P 9:30	岩本(0569-58- 0952)山田公
3	20	4	12	日	受 募		東浦	中止「春の里山の恵みを探そ う」●東浦町環境課	東浦自然環境 学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)桑原
4	20	5	16	土	受 募		東浦	中止「ヒメボタルに会おう」●東 浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34- 6040)岩本
5	20	6	6	土	受 募		東浦	中止「明徳寺川の生き物に会お う」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34- 6040)水野恭
6	20	7	11	土	受 募		東浦	「初夏の里山で生き物を探そう」 ●東浦町環境課	東浦自然環境 学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)桑原
7	20	7	17	金	募	協	東浦	「森の中で虫探し & 灯火に集 まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(080-3648- 4467)水野利
8	20	8	1	土	受 募		東浦	中止「須賀川の生き物に会お う」●東浦町環境課	藤江コミュニティセン ターパー9:30	田中央(0562-34- 6040)水野恭
9	20	9	26	土	募	協	東浦	「身边にあるきのこを見つけよ う」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58- 0952)降幡
10	20	10	18	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境 学習の森P 9:30	水野恭(080-3648- 4467)岩本
11	20	11	21	土	受 託		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東 浦町環境課	於大公園この はな館 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)山田公



【行事名】 身近にあるきのこを見つけよう 主催 知多自然観察会/東浦

【日時】 2020年09月26日(土) 09:30~11:30
【場所】 集合:東浦町 高根の森P

【天気】 晴れ
【担当】 岩本、降幡

【参加者】 一般18名(大人9名、子供9名)、知多medias(1)
(指導員7名:浅井一、岩本、榊原正、竹内秀、降幡、古川、森田)

【内容】

酷暑の8月がやっとすぎたというのに、9月になってもなかなか最高気温が下がらず、やっと彼岸を迎えたこの頃、朝夕が秋らしくなってきた。しかし、日中の日当たりはまだ30度を超えるほどである。前日の雨で林の中もお湿りがあり、期待をもって林の中へ入っていった。コロナの影響で皆さん、マスクをしての観察会となった。

駐車場からあまり離れなくてもキノコがありそうということと、小学生の参加率が高かったことから、今年はあずま屋の方まで行かずに近場でキノコを探した。キノコの採り方:地面の中から慎重に掘り出すこと:を守りながら子供らも一生懸命探した。しばらくすると小さなキノコや、ちょっと大きくて“ザ、キノコ”というもの。色が黄色できれいなキノコ、腰かけのようなものなど、40分ほどの間に見つけることができ、子どもたちのかごもキノコでいっぱいとなった。

図鑑持参のご夫婦もおられ、興味深げに降旗さんの話に耳を傾けていた。子どもらの人気は、色のきれいなもの、大きなもの、食べられるものが、ベスト3だった。
(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎菌類

ベニイグチ、キニガイグチ、ハナガサイグチ?、キクバナイグチ、ヤシャイグチ、ミドリニガイグチ
シロオニタケモドキ、クロコブタケ、テングタケダマシ、コテングタケ、クロハツ、クサハツ、ツルタケ
ウスヒラタケ、テングタケ、ツヤウチワタケ、ツエタケ
コウジタケ、ヤマダリタケモドキ?、アラゲキクラゲ、クジラタケ、コフキサルノコシカケ、ヒイロタケ、マツカサキノコモドキ?

◎植物

ニラ(開花)、カタバミ科(オギザリス・レグネリー(緑の舞) 野生化)

◎昆虫

モリチャバネゴキブリ、クサギカメムシ、カブトムシ(幼虫)

◎その他

カナヘビ、イセノナミマイマイ

【観察会の様子】



【左】キノコは豊作



【右】本日の最大茸 シロオニタケモドキ



【左】キノコによきによき



【右】菌種の同定と記録

【観察会続き】

【行事名】 「初夏の里山で生き物を探そう」 ● 東浦町環境課主催 ※雨により中止

【日 時】 令和元年 7月 11日 (土) 9:30~11:00

【場 所】 集合：東浦自然環境学習の森P

【天 気】 雨

【担 当】 竹内秀、桑原

【参加者】 一般：25名

(指導員：岩本、榎原正、鈴木汎、田中、竹内秀、藤井、古川、南川)

以下は、主催者の中止宣言の後、有志で（一般参加者も有志）活動したモノの報告です。

※ このような場合、当然、一般参加者等は「レクレーション保険」などの保険は対象外です

【内 容】

1週間雨ふりあげくの土曜日。朝から雨が降ったりやんだり。集合時間にも雨がバラばらっとふってきて、町主催の観察会は中止となった。しかし、コロナウィルスで中止続きた観察会がやっと開催できるようになつたことと夏の虫（カブト、クワガタ）を見つけたいという2重の期待が高まり、中止を聞いて帰るのは町職員のみ。ほかの参加者は小雨の中、タモをもって傘をさしたりカッパを着たりしての自由度の高い観察会となつた。

おたまじやくからカエルになったばかりの小さなカエルも見られた。雨の中、コナラの樹液か雨の雫かといった幹のぬれているところを探しながらお父さんと子どもが頑張って木を回ってカブトを一匹きゲット。ナナフシを見つけたお父さんもいて、その珍しさを指導員から聞くと、カブトムシを捕った子がナナフシがぼくもほしいなあと言う視線。でもこれは運ですね。今とれるカブトムシもレアものといわれてちょっと安心。といった、様々な子ども模様？（心境）

ザリガニ池の中でヨシノボリなどをとると、水たまりの中でじっくり観察といった雨の日ならではのほほえましい様子も見られた。雨が小雨になり止んで空が明るくなると、アオスジアゲハやトンボが待つましたとばかりに羽を広げる姿が見られた。

学習の森の社員が2匹増え、草刈り作業をしてくれている。今日は雨の中であったが、いつもはしっかりと働いている。会いたい人はぜひ訪れてほしい。社員は誰かというと「ヤギ」ちゃんと小屋も造つてあつた。

【観察した生き物】

- ・昆虫：アオスジアゲハ、コクワガタ、カナブン、チョウトンボ、コシアキトンボ、ベニシジミ、モンキチョウ、カマキリ（幼）、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、アメンボ、ナナフシ、ミヤマカミキリ、ゾウムシ
- ・両生類：アマガエル、ツチガエル、・鳥類：ウグイス、ホオジロ、ハクセキレイ、メジロ、ツバメ、ヒヨドリ、カワセミ（声）、コゲラ（声）、ハシブトガラス
- ・植物：ガマ、アカメガシワ
- ・その他：カナヘビ、イセノナミマイマイ、マルタニシ、アメリカザリガニ（外来種）

【観察会の様子】



【左】雨は本降りとみなし中止を決定。以後、各自の責任で入場



【右】小さなカエルの観察



【左】池ですくった獲物を道路の水たまりに放流し、観察



【右】同左の様子を近接撮影

【行事名】 「秋の宝物で工作をしよう」 ●東浦町環境課

【日 時】 11月21日（土）9時30分～11時30分
【場 所】 於大公園 このはな館周辺
【天 気】 晴天
【担 当】 竹内秀、山田公
【参加者】 4グループ（14名）
(指導員：岩本、榎原正、鈴木、桑原、竹内秀、田中央、水野恭)

【内 容】

観察会当日は晴天でしたが、少し風が強く、肌寒い陽気でした。

「秋の宝物で工作しよう」は、於大公園を散策し、工作中に使うための材料集めからスタートします。参加者は夢中になって工作用の木の葉や木の実を探していました。人気だった材料は、色鮮やかな落ち葉や、どんぐりです。子どもたちは指導員のお話を聴きながら、楽しく散策していました。

材料がそろったら、いよいよこののはな館で工作開始です。自分たちで集めた材料に加え、指導員が用意した、大きな松ぼっくりやクリスマスリースの元などを使って思い思いの作品を工作していました。ホットボンド（グルーガン）もあつという間に使いこなし、個性あふれるかわいい作品を完成させていました。

【観察できた植物や生き物】

(植物) コナラのどんぐり、クヌギのどんぐり、メタコイア、クルミ、シイの実
(生き物) ミシシッピアカミミガメ

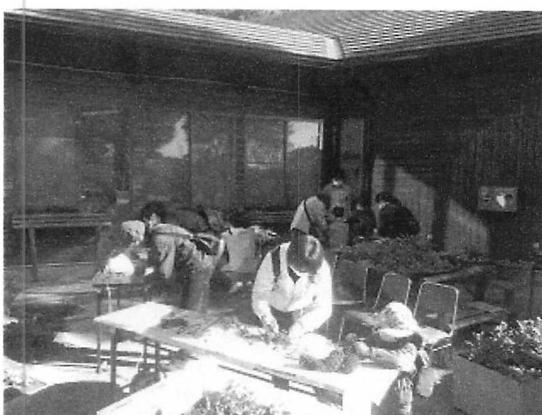
【観察会の様子】



【左】このはな館内で始めの挨拶とお話



【右】公園内で材料（宝物）集め



【左】このはな館の庭（外）で工作
【観察会の様子-追加】



【右】毎年実施しているが初めてみる作品

【行事名】 里山の秋を見つけよう 主催 知多自然観察会/東浦

【日 時】 2020年10月18日(日) 09:30～11:30
【場 所】 集合:東浦自然環境学習の森PP
【天 気】 晴れ
【担 当】 水野恭、岩本
【参加者】 一般16名（大人7名、子供9名）
(指導員名: 岩本、門脇、田中央、藤井辰、水野恭)

【内 容】

昨日は雨で、とても寒かった。今日はまだ寒気が残っていて、風は強くはなかったが肌寒かった。草が刈り取られ、きれいに管理されていた。生き物の種類は少なめだった。子供たちはイナゴやコオロギ、チョウ、テントウムシなどを手で捕まえたり、たもで捕まえたりして楽しんだ。アケビやヤマノイモのむかごを味わって喜ぶ子もいれば、恐る恐る口に入れる子、躊躇する子といろいろであった。
秋の紅葉にはまだまだだが、秋の花が咲いて、秋の実がなって、ドングリがたくさんあって秋を楽しむことができた。
人懐こい、餌くれモードの2ひきのヤギにクズの葉をあげるのも楽しかった。
ひつつきむし”を庭に持ち込むと来年芽が出てくるかも・・・
(記・岩本)

【観察した生き物】

◎樹木つるの実：
ゴヨウアケビ（ちょうど食べごろ）、ヤマノイモのむかご、アキグミ（わずかに色付く）、シャシャンボ（わずかに色付く）、アオツヅラフジ、ノブドウ、カラスウリ、コナラ（ドングリ）、クリ、センダン、ウメモドキ、コムラサキシキブ、クズ（さや）
◎草の実：
イヌタデ、アメリカセンダングサ、アレチヌスピトハギ、イノコズチ
◎草の花：
ツリガネニンジン、ミゾソバ、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、キクイモ、ススキ、
◎昆虫・蜘蛛類
イナゴ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、オンブバッタ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、キチョウ、ウラギンシジミ、ホタルガ、アキアカネ？、ナナホシテントウ、スヌメバチ、セイヨウミツバチ
ジョロウグモ、
◎その他
両生類・爬虫類：ヌマガエル、カナヘビ
鳥類 : ハクセキレイ、メジロ、

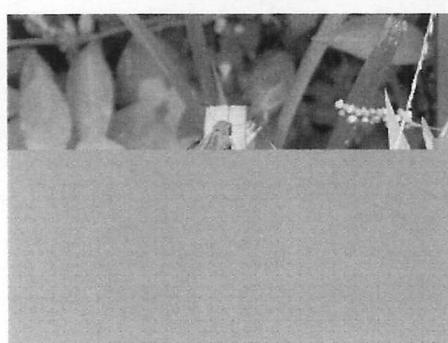
【観察会の様子】



【左】何が捕れたかな



【右】ヤギさんにクズの葉あげる



【左】イチモンジセセリ



【右】秋の実りと花を楽しみながら

【行事名】 地層岩石調べ化石採集 ●南知多町環境課主催

【日 時】 2020年1月18日(土) 9:30~12:00
【場 所】 農協みさき支店 P⇒近くの海岸の崖
【天 気】 晴れ
【担 当】 田中達、河原
【参加者】 一般123名(大人57名 子ども66名)、化石専門講師3名、町職員2名
指導員:大矢晃、大矢美、榎原正、田中(達)、中村、森下栄、森下保、山田和、
【内 容】

【内 容】 当日の朝方まで降っていた雨も上がり、晴天の中、地層岩石調べ化石採集が行われました。今回の観察会には、愛知県内及び三重県から123名の方が参加されました。

集合場所の農協みさき支店から今回の会場までは徒歩で移動し、採集地の崖の前で、この地域の地層の成立ちや化石の出やすい石の特徴、落石の危険性の説明のち、安全な場所に岩石を運んでから思い思いに岩石を割っていました。この辺の地層からは深海性の生物の化石が採取できると聞き、参加者は割った石の中から化石を見つけると、講師の先生方に何の化石なのかを熱心に聞いていました。二枚貝や巻貝、ウニの仲間の化石を見つけた参加者も見られました。

化石採取の後には、恒例となっている日本の鉱石がもらえるじゃんけん大会が講師の計らいにより行われ、参加者全員が楽しみました。

なお、今回の化石採集場所については、普段は採集することができない場所ですので、ご注意ください。(記:中村)

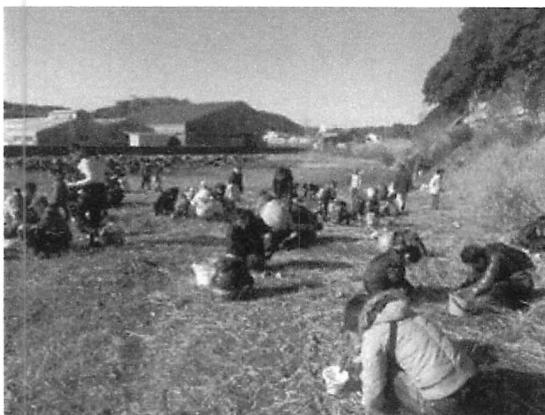
【観察会の様子】



【左】挨拶&日程のお話 (集合場所にて)
ツ” (採集場所にて)



【右】諸注意&採集の”コ



【左】石を割る音がアチコチから

【右】化石らしきモノがあれば、すぐに、講師
のところで確認



[トップページへ](#)



No.	年	月	日	隕	種	標	母	「子一子」	●印…主權者	集合場所	相当指算員	(開合齿壳)
39	20	5	23	土	麥	南	中止「子之子之子」●	南知多町隕	美浜町隕	田中達(090-1626-3231)中村	P 9:30	30
40	20	5	23	土	麥	南	中止「山之器見」●	美浜町隕	水田尊(0569-82-3151)水田尊	P 21:30		
46	20	6	6	土	麥	南	中止「山海川生之物隕」●	山海之水丸	田中達(090-1626-3231)中村	P 9:30		
48	20	6	7	日	麥	南	中止「土器の生之物」●	美浜町奥田農	水田尊(0569-82-3151)中村	P 9:30		
51	20	6	20	土	麥	南	中止「竹子の事因連御食見」	南知多町隕	大矢晃(052-841-6048)大矢晃	P 15:00		
54	20	6	21	日	麥	南	「海贝の生之物」●	美浜町隕	水田尊(0569-82-3151)水田尊	P 9:30		
72	20	8	8	土	麥	南	中止「竹木の器光食見」	南知多町隕	大矢晃(052-841-6048)大矢晃	P 18:30		
74	20	9	5	土	麥	南	「布土川の生之物隕」●	美浜町布土公	青藤(090-4213-2898)青藤	P 9:30		

【行事名】 海辺の生き物 ● 美浜町環境保全課

【日 時】 2020年06月21日（日） 09：30～11.30
【場 所】 美浜町富具崎港南側の磯場

【天 気】 晴れ

【担 当】 永田（孝）、中村

【参加者】 一般：33名 美浜町環境課職員：2名
指導員：永田（孝）、中村、降幡、門脇（重）、森田、浅井（一）、岩橋

【内 容】

美浜町としては、新型コロナウイルス非常事態宣言明け第一弾の観察会となりました。県外への移動も解禁されて初めての週末ということもあって、富具崎港の駐車場は満杯の状況でした。他の団体も観察会を行っていて、本当に多くの人が入り乱れて、広い範囲に広がっている状況となって、最後に集合してもらう時に大変苦労しました。観察会は新しい生活様式に従って、マスク着用で行い、最後の分かち合いでは、一ヵ所に人が集中することを避けるために、各家族がバケツに入れている物を、お互い見させてもらう形で行いました。

例年に比べると種類、量ともに生物が少なかったように感じます。

【観察した生き物】

◎魚の仲間

ナベカ、アゴハゼ、キヌカジカ、クジメ、ミミズハゼ

◎ウニ・ヒトデ・ナマコの仲間

ムラサキウニ、クモヒトデ

◎エビ・カニの仲間

イソガニ、ヒライソガニ、イシガニ、イワガニ、タカノケフサイソガニ、カメノテ、クロフジツボ、イワフジツボ

◎貝やイカ・タコの仲間

マガキ、ナミマガシワ、スガイ、イボニシ、タマキビ、マツバガイ、ヨメガカサガイ、キクノハナガイ、ウノアシ、カラマツガイ、ヒザラガイ、ツメタガイ、ウチムラサキ、クチベニガイ、メダカラ、イソアワモチ、アメフラシ、貝の卵

◎クラゲやイソギンチャクの仲間…ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、タテジマイソギンチャク

◎カイメンの仲間…ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン、ナミイソカイメン

◎ホヤの仲間…イタボヤの仲間

◎海藻の仲間…アナアオサ、オゴノリ、イシゲ

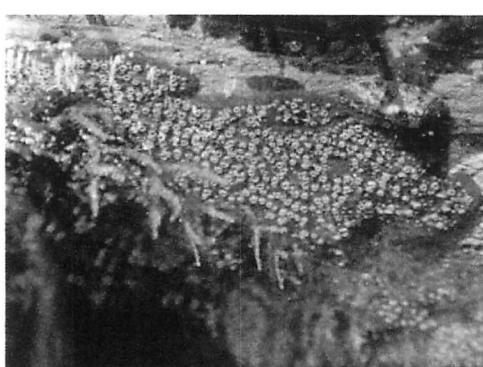
【観察会の様子】



【左】親子で協力して生き物を探します



【右】バケツに入った生き物を観察しました



【左】イタボヤのなかま



【右】ウミフクロウの卵

【行事名】 「冬鳥と旅鳥・カワウの子育て」

【日 時】 2020年2月23日(日) 9:30~12:00

【場 所】 鵜の池～菅田池

【天 気】 晴れ

【担 当】 神野、榎原靖

【参加者】 一般10名（内子ども2名）

指導員：榎原靖、神野

【内 容】

北寄りの強風が吹きつける寒い日になりました。

美浜町総合運動公園の駐車場に集合、受付・挨拶のあと、鵜の池に向かって出発です。

鵜の池（東寸田池を含む）では、カワウの営巣、マガモの群れ、ミコアイサ（愛称？パンダガモ）、ハシビロガモの群飛などが見られました。

もうひとつの目的地、菅田池までは少々距離があるので一旦運動公園まで戻って車で移動。菅田池周辺の駐車スペースが狭くて大変でした。菅田池では巣作りするカワウとの間の距離が短いので間近で営巣の様子を見ることができました。ヌートリアも姿を現してくれたようです（遅れて到着した私は見てませんが）。 （記；榎原靖）

【観察した生き物】

鵜の池（東寸田池を含む）；カワウ、マガモ、ミコアイサ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ

菅田池；カワウ、ホシハジロ、アオサギ、ヌートリア

【観察会の様子】



【左】はじめの挨拶とお話



【右】鵜の池 小さくて見えないが水面には多数のカモ類



【上の1枚】菅田池の水際林 カワウの排泄物で真っ白

受託・協力・お手伝い

このページは、学校、地方公共団体、その他各種団体から自然観察会等の依頼を受けた行事の記録を掲載しています。

自然観察会等を希望される方は「問合せ先」に連絡してください。

1. 加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」③/全4回 主催:東海市 花と緑の推進課 (2020.11.21)

2. 加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」②/全4回 主催:東海市 花と緑の推進課 (2020.10.17)



【行事名】 布土川の生き物観察

● 美浜町環境課

【日 時】 2020年9月5日（土） 9：30～11：00

【場 所】 布土川（河口より約800m上流、平田橋周辺）

【天 気】 晴れ（気温約35℃）

【担 当】 齊藤 保彦、榎原 靖

【参加者】 一般：26名（内、小学生以下13名） 美浜町役場環境課職員 2名

指導員：田中（達）、永田（寛）、古川、田中（央）、齊藤、榎原靖、牧野

【内 容】

コロナ禍、残暑厳しい中ではあったものの、晴天の下で予定通り観察会が開催できたことは何よりだった。

一般参加者は26名、マスク着用で制約のある中、子ども達も興味深々で川に入るなど、賑やかに観察会を行うことができ有意義だった。

確認された生物種は少な目ではあったが、魚類では昨年に引き続きゴクラクハゼ、ウナギ（複数個体）を確認することができた。

【観察された生き物】

◎ 魚類 スミウキゴリ、ゴ克拉クハゼ、ヌマムツ、フナ、ヨシノボリ、ウナギ、カダヤシ、ブルーギル

◎ 甲殻類 エビ類：スジエビ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ／カニ類：モクズガニ

◎ 昆虫類 ハグロトンボ、シオカラトンボ（幼虫）、オオカマキリ、ナミアメンボ、コオイムシ、ハナムグリ

◎ 両生類・は虫類 両生類：アカミミガメ

（記録：齊藤 保彦）

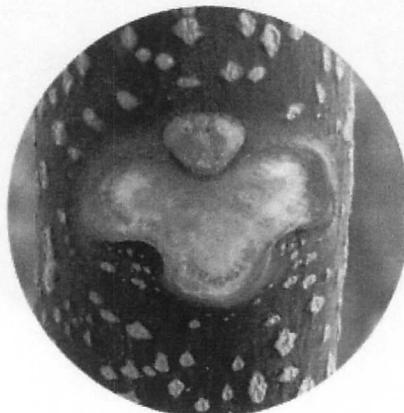
【観察会の様子】



【左】親子で協力して生き物を捕獲



【右】つかまえた生き物の説明場所



【行事名】 ふるさとの自然に親しもう ③/全4回 主催 東海市 花と緑の推進課

【日 時】 2020年11月21日(日) 09:00~11:30

【場 所】 集合:加木屋緑地・成長の森

【天 気】 晴れ

【担 当】 浅井一、吉川洋

【参加者】 一般10名(大人4名、子供6名)、STAFF 10余名、知多medias取材班
(指導員3名:浅井一、森田、吉川洋)

【内 容】

第1回6月は雨、第2回10月も雨、第3会の当日は昨日までの暖かさが去り、北西の強風が吹くイベントになりました。準備したテントは風で飛ばされそうになり早々に撤去されました。9:15受付、9:30 イベント(開会式・どんぐりのお話)、9:45 森の散策、10:30 植栽会、11:00 未来カードの記入、11:30 終了・施設撤去。知多自然観察会は協力参加という立場で「森の散策」ガイドを担当しました。「森の散策」は右回り、左回りにコースに班分けして密集を避けました。

途上、アオツヅラフジの実を潰してカタツムリとかアンモナイトのようだとか、虫のようだとか話題になりました。つるはリースにしたいと言ったので作ってあげました。木の枝に擬態したアマガエルと土に潜っていたのに掘り出されてしまったトノサマガエルを観ました。花とみどりの推進課の人が林に入ってシラカシのドングリ、道沿いのウバメガシとそのドングリも拾うことができました。ムラサキシキブの紫の実、ガマズミの赤い実等結実した色とりどりの果実も観察できました。たくさん生えていた水路沿いのアベマキの小苗たち、アカメがシワの黄葉した葉で作っていたお面、ヤツデの葉、触らないように話しましたが、ハゼの紅葉した葉、学生さんが気づいたハゼの実。クリのイガは、わざわざ触れに行きました。学校などで体験したことがベースになっているようですが、女の子二人の興味の行き着くまで歩きました。ドングリを集めたいと言ったので捨てる場所を話して任せました。なお、下見は前日20日実施済。

(記・森田、吉川洋)

【観察した生き物】

◎植物

アベマキ、コナラ、クリ、シラカシ、ウバメガシ、クスノキ、スギ(結実)、フジバカマ、セイタカアワダチソウ、クズ、カラスウリ、ノブドウ、アオツヅラフジ、ヘクソカズラ、ヒヨドリジョウゴ(赤い実)、ノイバラ(赤い実)、クサギ、カクレミノ、アカメガシワ、ガマ、イグサ、メリケンカルカヤ、ヒサカキ、チャノキ、アキグミ(結実)、ナワシログミ(開花)、アオキ、イヌツゲ、ニシキギ、ヤツデ、ワジュロ、オオダカナ(大高菜)、ムラサキシキブ(紫の実)、ガマズミ(赤い実)、アキノノゲシ、スズカアザミ?、コスマリ?

◎動物

ノシメトンボ、ツチイナゴ、クモの仲間、アガエル、トノサマガエル

◎その他(茸)

ヒメカタショウロ

【観察会の様子】



【左】開会・どんぐりのお話



【右】フジバカマの植栽

【行事名】 ふるさとの自然に親しもう ②/全4回 主催 東海市 花と緑の推進課

【日 時】 2020年10月17日(土) 09:00~11:30

【場 所】 集合:加木屋緑地・成長の森

【天 気】 雨

【担 当】 浅井、吉川

【参加者】 一般10名(大人5名、子供5名)、STAFF 10余名、知多medias取材班
(指導員7名:浅井一、今西、門脇重、田中央、村瀬、森田、吉川)

【内 容】

昨夕からの雨が当日も終日続く中での開催になりました。行事は知多メディアSTAFFの運営で殆ど進行しました。講座は東海市市長・鈴木淳雄氏出席の下、ふるさと再生アンバサダー(大使・川崎郁美さん)委嘱式に始まり、ビオトープネットワーク中部会長・長谷川明子氏と学生STAFFによる「アサギマダラの形態と生態」、植栽予定の植物と「秋の七草」のお話、SDGsのお話と歌、花の種まきと植樹、準備したアサギマダラへのマーキングとリリース、タイムカプセル(未来カード)へのメッセージ記入等で終えました。知多自然観察会の役割はアサギマダラの事前捕獲(1頭)と周辺での生きもの解説でしたが、やや手持無沙汰。(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物

フジバカマ(開花)、コウホネ、ガマ(開花)、ミゾソバ(開花)、アキノウナギツカミ、セイタカアワダチソウ(開花)、ワレモコウ(開花)、カラスウリ(結実)、カナムグラ、ハンノキ(結実)、クスノキ(結実)

◎昆虫

アサギマダラ、クサキリ

◎両生類

アマガエル

【観察会の様子】



【左】アンバサダー委嘱式 (東海市・鈴木市長、大使・川崎さん)



【右】長谷川氏と学生STAFFによるアサギマダラの形態と生態 解説



【左】アサギマダラ ♂



【右】マーキング

海辺の散歩 西ノ口海岸（常滑市）

ハイガイ、バクヤギク など

皆さん この時節、如何お過ごしですか。

仕事もなく人づき合いも少ない私にとって“3密禁止”は大した負担では有りませんが、マスクが苦手なので好きな量販店への訪問は極力控えているのが、少し、苦痛です。

今日(2020.4.15)は、昨日と違つて風もなく暖かいので、標題の海岸へ行きました。

目的は、大きめな“ハイガイ”的貝殻を拾つて、大きなハイガイを作る(?)ためです。

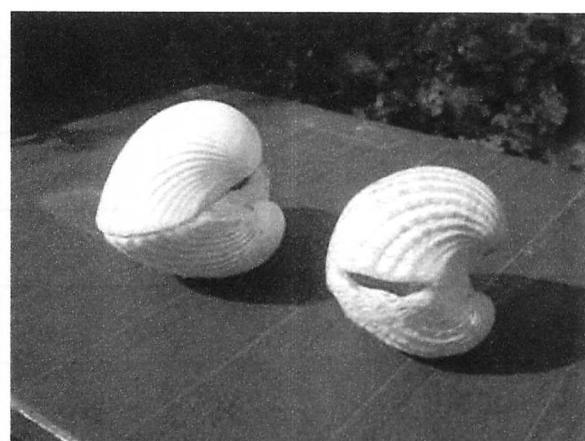
当然ながら、それ以外のものにも出会つて、楽しんで来ましたので、それら含めて紹介します。

2020.4.15 撮影 アップ

写真クリック→ビッグサイズ

<殻を拾つてハイガイを作る>

2枚くつついでいる（生きてた状態）で陸に打ち上げられることはないので、左右の殻をたくさん拾つて、合わせてみて、まあまあの“個体”を作ること。（ちなみに、ぴったり合つたことは、今まで、一度もない。それどころか、“まあまあ”なものも滅多にできないのが現実）



【左】拾つた貝殻。上段はハイガイではない。左から→アカガイ、サルボウガイ、サルボウガイ
殻を左と右に分けて、大きさ形が同じようなモノを探して合わせてみる。これを何度も繰り返す

【右】まあまあのが一組できた。右側がハイガイ。左側はサルボウガイ…家にあったモノと合わせた

<バクヤギク（莫邪菊）>

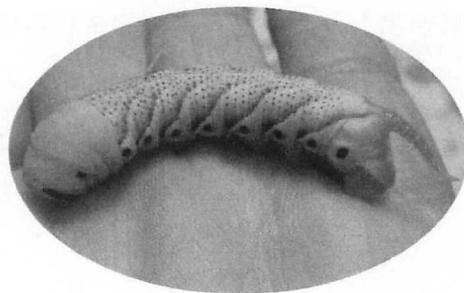
ある国の海岸では強烈な侵略植物として徹底的に駆除される植物であろうが、この西ノ口海岸では、まだ、被害は出ていない(?)。

しかし、隣の蒲池海岸のハマゴウ群落、ハマボウフウ群落、ハマヒルガオ群落、ましてや、スナビキソウ群落のところへ侵入していったら、こんなノンキなことは言つてはいられない。(今まで、どうして侵入出来なかつたかは、若干、不思議である)

発表の場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

No	テ　ー　マ	(ページ)	提　供　者	アップ日
1	ハイガイ&バクヤギク-西ノ口海岸	(75)	榎原正躬	(2020. 4. 15)
2	クロヒラタアブが羽化した	(79)	藤井辰子	(2020. 5. 4)
3	超新型コロナウィルスの製造	(83)	榎原正躬	(2020. 5. 5)
4	アカヤステ	(85)	榎原正躬	(2020. 5. 7)
5	アカハネナガウンカ	(86)	藤井辰子	(2020. 8. 21)
6	日長川および阿久比川のウミニナの仲間	(87)	榎原正躬	(2020. 9. 2)
7	阿久比川河口のウミニナ類の棲み分け	(89)	榎原正躬	(2020. 9. 4)
8	シラカバ白樺の目玉	(90)	吉川洋行	(2020. 10. 18)
9	シラカバの目玉探し	(94)	榎原正躬	(2020. 11. 1)
10	冬眠間近のウシガエル	(96)	平松裕規	(2020. 11. 18)
11	スナジクズタケ	(97)	永田 孝	(2020. 11. 18)
12	雪 虫	(100)	藤井辰子	(2020. 11. 25)
13	里芋の種芋-親芋-子芋	(101)	榎原正躬	(2020. 12. 3)
14	自然観察会の一場面木版画	(104)	藤井辰子	(2020. 12. 14)
15	生物多様性活動のお手伝い	(107)	榎原正躬	(2020. 12. 15)





【左】 雄花（雄株）



【右】 雌花（雌株）



【上の1枚】 小さな女の子が造ったバクヤギク飾りの砂山





<カモ>

池のカモは、ホント、憎いぐらい逃げ足が速いが、今日のこのカモは、当然、逃げるには逃げるが、ゆっくり進めば、だいぶ近づかないと逃げない。そのため、傷で曇った私のカメラのレンズでもここまで撮れた。（これ以上、シャープは不可）



【左】ヒドリガモが漂流ゴミをつついでいた
毛繕い

【右】キンクロハジロの夫婦が波打ち際で

<コウボウシバ>

コウボウシバの♂（雄）花は、いつ見ても、ホント、何となくみすぼらしい。雄株の方が圧倒的に多いので、そのみすぼらしさが目立っている。注意してよく見ていたら、雌株もあった。今は目立たないが、そのうち、雌雄の姿の優劣が、ますます、はっきりしてくる。

↑
<4/8 アップ>

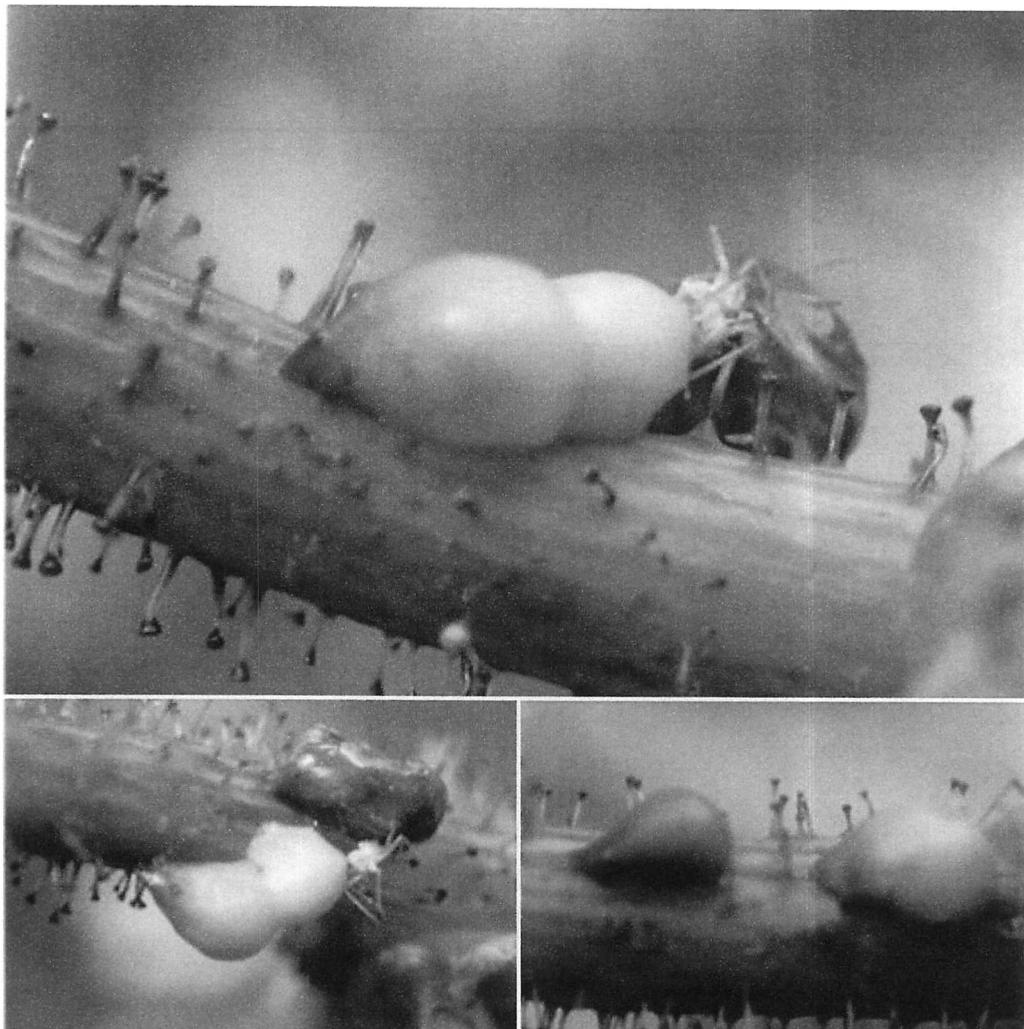


藤井辰子

4月8日 7:08

...

ハレノノゲシに始めてみた生き物



吉川洋行 ヒラタアブの仲間の幼虫とサナギでしょうね。
アブラムシ、大好きですから。

いいね！ 3週間前



藤井辰子 ありがとうございました

いいね！ 3週間前

【参照】

<4/21 アップ>

クロヒラタアブが羽化した

このページは、会員の藤井辰子氏が本人のフェースブックにアップしたものとのコピーです。

会員の皆様にも紹介したいのでご覧下さい。

(※私の勝手な選択。登場人物からの許可も取ってない。今後も同様です)

<5/3 アップ>

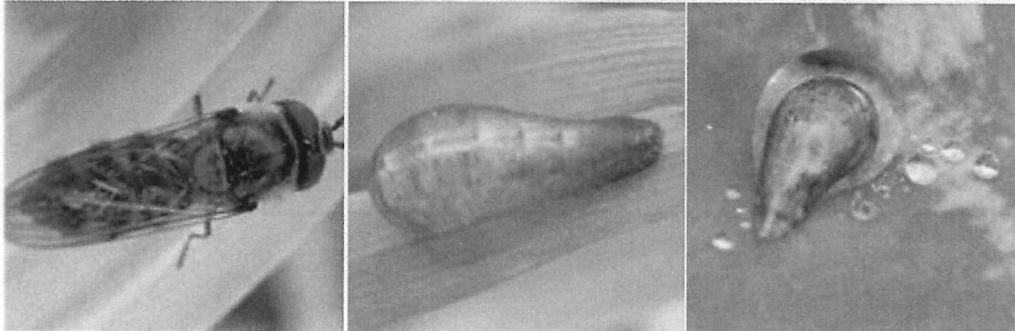


藤井辰子

16時間前

...

2匹 羽化しました 蛹を持ち帰って2週間 どんな昆虫になるかとおもったら
これでした





吉川洋行 この突起は、私たちが茎の毛と言っている(専門用語ではトライコームというそうです)もので、ひょっとしたらアブラムシなどの忌避物質が出てるのかもしれませんね。

最後の生き物はたぶんヒラタアブのサナギ?のように思います。ということは、アブラムシがいたのかもしれませんね。

ちなみに植物自体は、花や葉の様子からアイノゲシ(リレノノゲシ×オニノゲシ)か、オニノゲシのように思えます。

いいね！ · 1週間前 · 編集済み

1 2

藤井辰子 ありがとうございました



いいね！ · 1週間前

永田 孝 腺毛といって、液を出していることは事実でしょうが、含まれている成分については、あまり研究されていないようですね

いいね！ · 1週間前

1 2

吉川洋行 キンミズヒキのなかまは、この毛の向きなども種の分類の決め手になるようなので、なかなか難しいものですね。ツツジの仲間も、花の柄に毛があるかないか、葉の葉脈沿いに毛があるかないか、種類の決め手になる大切なもののようです。

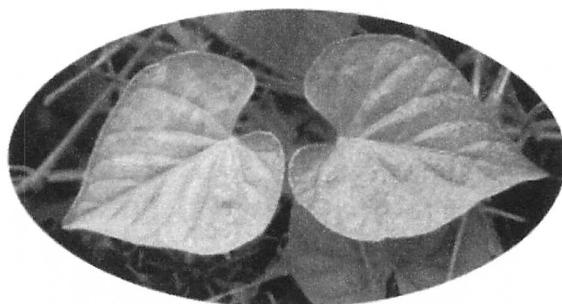
モチツツジのように粘るものもありますしね。

モチツツジに似た、キシツツジ(四国にあるツツジ)も花の周りは粘りますね。まさに腺毛なんです。

いいね！ · 1週間前 · 編集済み

1 1

藤井辰子 ありがとうございました

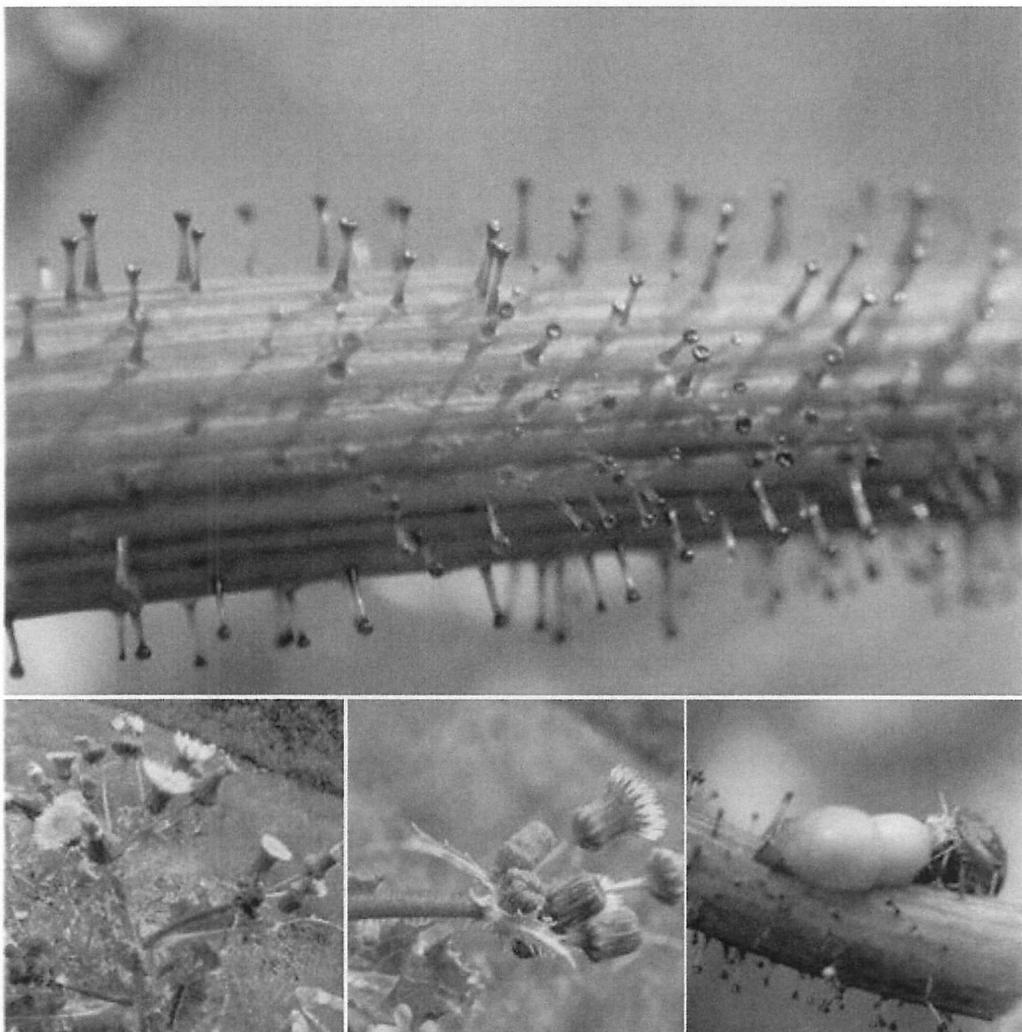




藤井辰子
4月21日 11:41

...

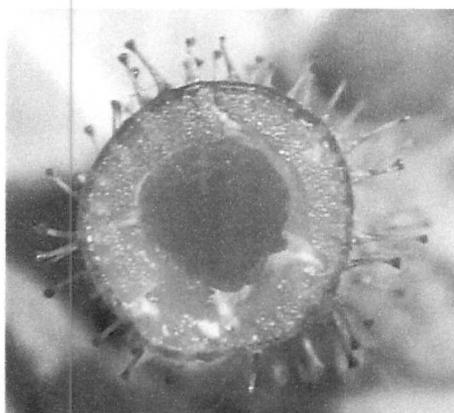
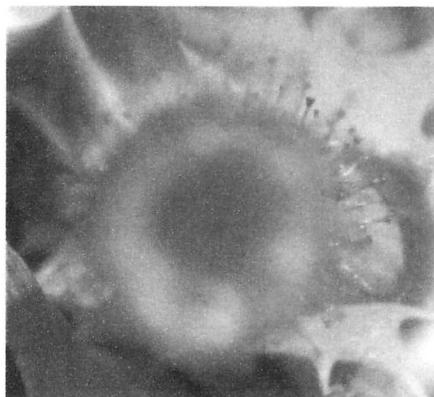
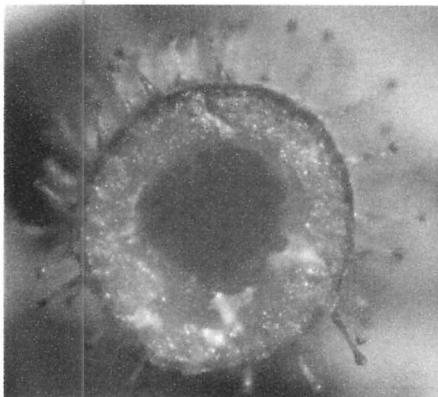
ノゲシ 別名ハレノノゲシの茎になんだかわからないもの 今日確かめに元
あつた所へ行くともう 割られてありませんでしたが近くにありました さて
なんでしょうか 教えてください





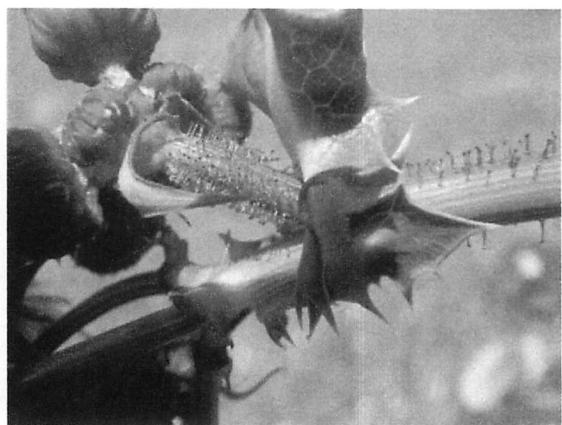
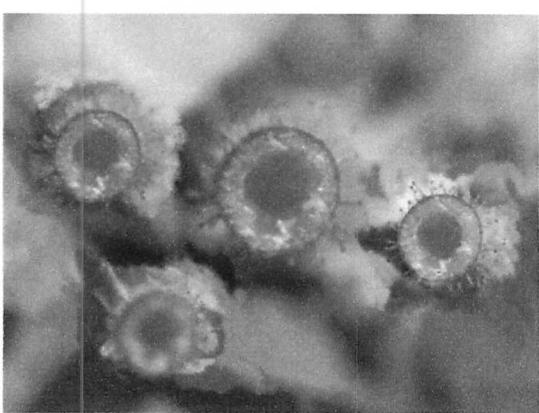
見ての通り、コロナは頭頂部付近の茎には密生するが、下部は激減する→無毛（用済みで剥がれた？）

<製造されたコロナウイルス…↓>



【上・左の3枚】すべて同じ切り口-同一個体-のもの。
(結構な手間?だったので実験は1回でやめた)

※ 剪定バサミで切り、出てきた乳液を葉っぱで拭き取つ
ていたら、どんどん、ヒドい状態になってしまった



【左】コロナウイルスの電子顕微鏡映像

(※上の3枚の写真をくっつけたもの)

【右】“つぼみ”の下の若い茎…

コロナが密生するこの位置で製造出来ればよかったです
が、コロナを痛めずに処理する適切な道具もなく、製作を簡単に諦めた。

超新型コロナウイルス製造しました 笑納の程を…)

(まったくの“お遊び”ですがご

2020.5.5 アップ 使用写真：2020.4.25 撮影（半田市内 郊外）

会員の皆様 こんばんは(^^)/

新型コロナウイルス感染を防ぐための緊急事態宣言中、如何お過ごしでしょうか。

さて、

昨夜(5/4の夜) 会員の藤井辰子氏のフェースブック…↓

<http://prosv7.tok2.com/~chitakan/renraku2/200504fujii-tatsu/index.html>

を紹介したのは、実は、本日(5/5) のこのページを紹介したいがためでした。 と言うのは、

上記フェースブックのオニノゲシの“茎から出ている突起物”的写真を見たとき、これを輪切りにして、正面から撮つたら“コロナウイルス”じゃん…と思って、半田市内の郊外に行き、オニノゲシでヤッてみたので、それを紹介したいのです。

ちなみに、“突起物”とは、

会員永田氏→腺毛、同吉川氏→トライコーム、当然どちらも正しい。会員私(榎原)
→“コロナ”と勝手に呼ぶ

なお、

市街地のハルノノゲシでも頭頂部付近には“コロナ”を見ることができる。

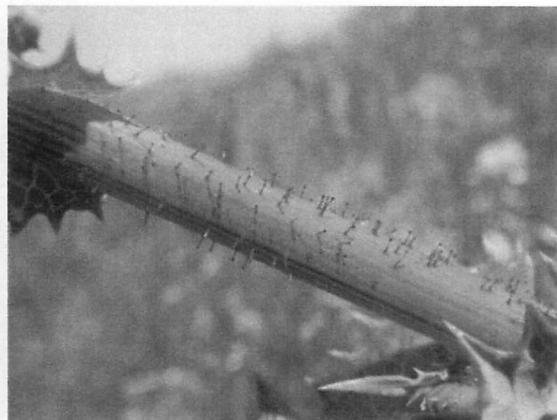
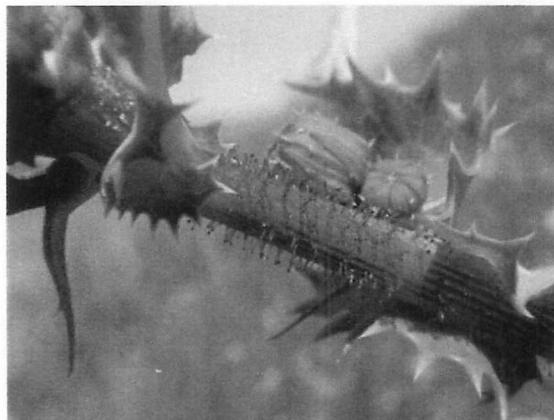
写真をクリック→ビッグサイズ



【左】実験用“オニノゲシ”発見



【右】位置A, B, Cの茎の写真…↓



【左】Aの写真
【中】Bの写真
【右】Cの写真

アカハネナガウンカ 写真：藤井辰子撮影 2020.7~8月
カメムシ目・ハネナガウンカ科 体長：4mmほど 食草：イネ科の
雑草など

以下に掲載のアカハネナガウンカの写真は全て会員の藤井辰子さんのフェース
ブック(FB)からのモノです。

藤井さんのFBには私の見たことない昆虫がイッパイ出てきますが、これもその内
の一つです。

この独特な顔を皆さんに見ていただこうと思って紹介します。
もっとも、

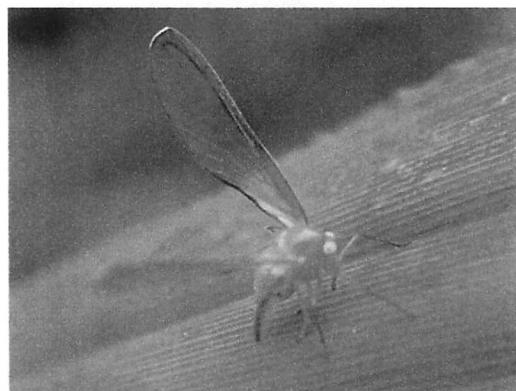
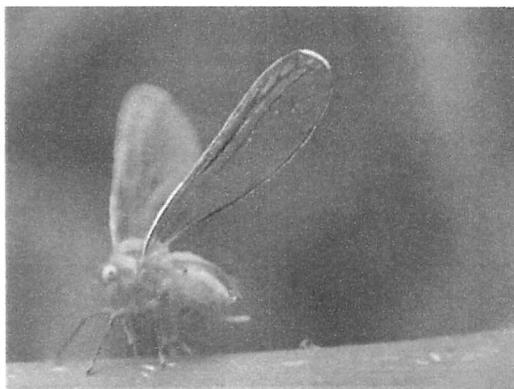
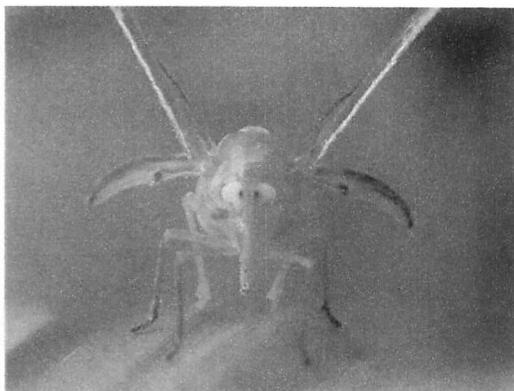
藤井さんのFBを日頃見てる会員には“見たよ”ってことになりますが、日頃見て
る人は2割未満と推測しての紹介です。

できれば、

体色も橙色で羽も大きく見つけやすいかも知れないので「実物探し」をするのも
楽しいかも…。 ※熱中症には注意して…(^_^;)

※なお、この子は、近づいても、逃げたり落ちたりしないようです。

写真をクリック→ピッグサイズ



アカヤスデ

2020.5.7 アップ 写真：2020.4.19 撮影

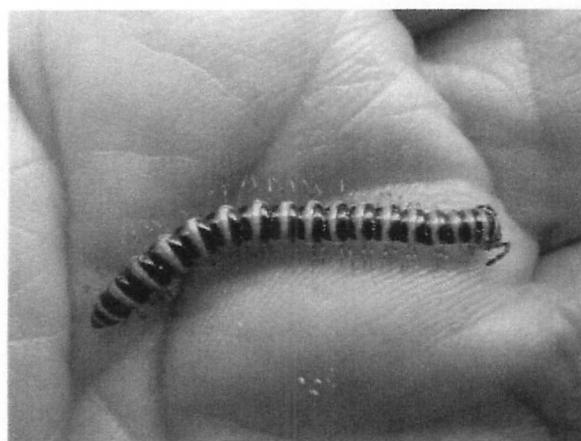
初めて見る虫（私が…）だったので、皆さんにも紹介します。

過日（2020.4.19）、午後夕刻前、自宅前の道路（簡易アスファルト舗装）で孫が遊んでいたので、私が腰をおろして見ていたら、下記写真の虫が道路を歩いているのに気づいた。手持ちの薄い図鑑では似たもののがなく、ネットでチェックしたら、どうも、アカヤスデであるようだ。

ネットによると、石や植木鉢の下によくいるような記述もあったので、4/19以降、時々、自宅の石や鉢の下を見たが、相変わらず、ダンゴムシやナメクジぐらいしかいない。今のところ、結局、歩いていた写真の一匹しか見ていない。

どこから来たのか不思議である。

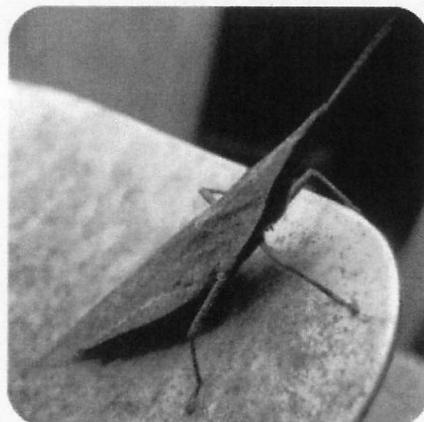
写真をクリック→ビッグサイズ

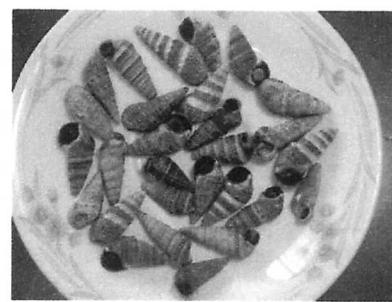


【左】手のひらに載せて撮った

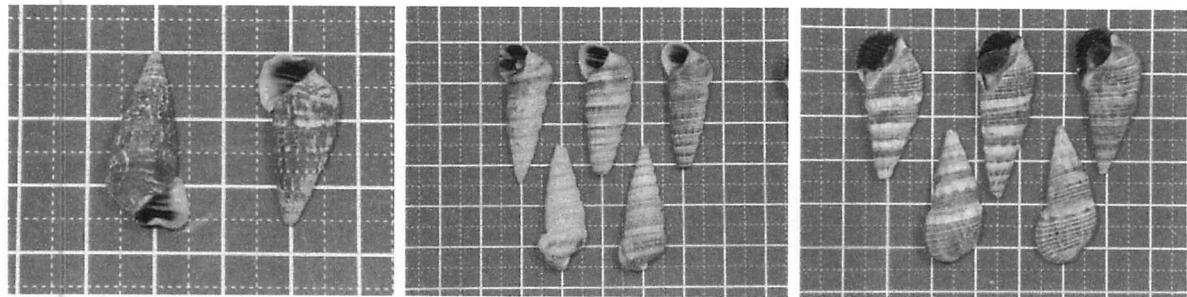
【右】板に載せて撮った（[左]と同一の個体）

<挿絵>





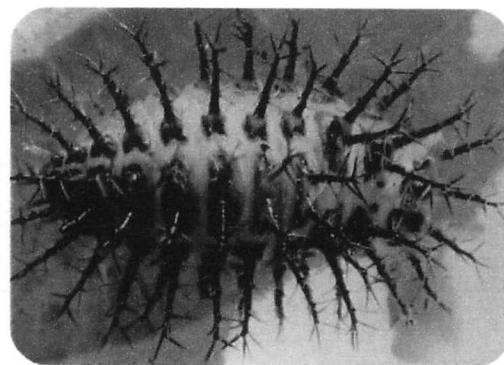
【上の1枚】ここで採集したモノ…全部 ※これらを種類別にして撮ったモノ…↓



【左】ヘナタリ

【中】フトヘナタリ

【右】ウミニナ



日長川および阿久比川のウミニナの仲間

2020.9.2 アップ

コロナ禍の候(?) 会員の皆様 如何お過ごしでしょうか。

さて、9月1日、あることがキッカケで日長川河口でウミニナの仲間を採集しました。採集後、仲間とその場で種類をチェックしましたが、すべて、フトヘナタリということになりました。

帰宅後、もう一種類ぐらいあるのではないかと再チェック。が、やはり、すべて、フトヘナタリということに落ち着く。

そこで気になったのは、阿久比川もフトヘナタリだけ?…つと思って、本日(9/2)、河口に行って採集してきました。結果は、後段に示す通り、フトヘナタリ以外に、ヘナタリ、ウミニナがいました。

以上ですが、ウミニナ、ヘナタリの細かな区別は正直言って私には難しい。

詳しい方はお気づきのことがあれば、直接、ご連絡ください。(→榎原正躬)

続編(9/4アップ) 阿久比川河口のウミニナ類の棲み分け→[二二](#)

写真クリック→ビッグサイズ

2020.9.1 採集 日長川河口付近 (知多市)



【左】採集場所



【中・右】ウミニナの仲間



【左】指先のところに巻貝がくっついている



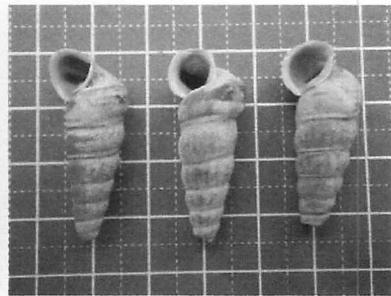
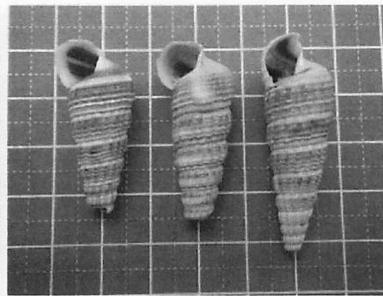
【中】同左の巻貝



【右】別の場所にもいた



【左・中・右】帰宅後にチェック。採集した巻貝は、すべて フトヘナタリ



※すべて別々の個体

2020.9.2 採集 阿久比川河口付近 (半田市)



【左】採集場所



【中・右】ウミニナの仲間。埋まってるモノがよく目についた



シラカバ（白樺）の“目玉”

2020.10.18 アップ

会員の皆様 こんにちは(^_-)/ 会員の榎原正躬です。
コロナ禍の候(?) 如何お過ごしでしょうか。

さて、
10数名の会員がFB(フェースブック)に参加し、特に、4~5名の方が精力的にアップしてみえます。それらを時々みでは、「よく頑張ってるな…」と思ってます。その中で、私の感覚で、皆さんへ是非紹介したいモノをこれまで幾つか紹介してきました。

今回もその一つです。

以下に、●吉川洋行氏が1ヶ月前の9/19にアップしたFB。●次にそれに対する私のコメント。●その後に日本のシラカバの樹皮写真。●最下段に私が“あっけにとられた”写真を掲載しました。

言いたいことの結論は、今後、シラカバ林に行く機会があったら、写真のような“目玉”があるかどうか探してみたら如何でしょう…。つと言うところです。私は探しに行くつもりです…(^_-;)

※ 探しに行ってきました(^_-)/ 結果 → <http://prosv7.tok2.com/~chitakan/renraku2/201101shirakaba-medama/index.html>
(2020.11.1 アップ)

<吉川氏のFBへの投稿 9/19>



Shobha Swamy ▶ BOTANY-Professors and Students
9月19日

Eyes of trees ❤️ Betula spp.
[翻訳を見る](#)

いいね! 9

コメント2件

いいね!

コメント

シェアする



吉川洋行 これはシラカバの仲間だと思われます。
投稿者の方は大学教授さんだと思います。

いいね! 返信する 3週間前



吉川洋行 枝が落ちた跡か、枝を払った跡か?どちらでしょう。

いいね! 返信する 3週間前



コメントする...

Enterキーで投稿します。

コメントする...

Enterキーで投稿します。

阿久比川河口のウミニナ類の棲み分け

2020.9.4 アップ

一昨日(9/2)アップのページ(阿久比川のウミニナ類=<http://www.chitakan.com/renraku2/200902uminina/index.html>)で私自身が不思議に思ったことは、適当に拾い集めたものであるが、ヘナタリが、たった、2個しかなかったことで、実際はどうなつかと思って9/3に同じ場所へ行ってみた。

結果は、確かに、ヘナタリはフトヘナタリやウミニナよりも随分少なかった。と言うより、これらは、棲み分けていた(下の掲載写真参照)。

・ヘナタリは堤防から離れたところでサンダルでは行きにくい場所にいる (サンダルで行く場合はカキ殻の塊の上を足場とする)

・堤防の真下(根元)はフトヘナタリがいるだけ

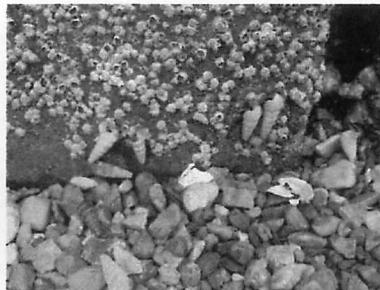
早い話、ヘナタリは棲息(行動)場所が限られていて、こちらがその気にならないと採集できない状況であった。

写真クリック→ピッグサイズ

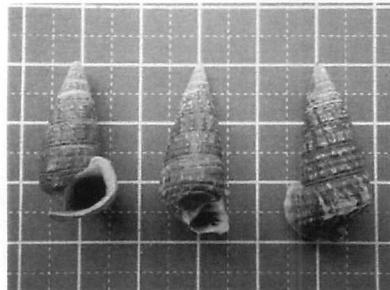
2020.9.3 採集 阿久比川河口付近(半田市)



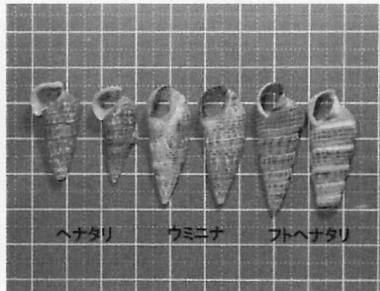
【左】採集場所 & 棲み分けの表示



【中・右】堤防の真下(根元) 及び堤防に這い登っているのはフトヘナタリのみ



【左・中・右】すべてヘナタリ。写真のように口の部分が見る角度によって大きく切れ込んでいるのが特徴



ヘナタリ ウミニナ フトヘナタリ



ヘナタリ ウミニナ フトヘナタリ



【左】ヘナタリの切れ込み 【中】この位置で裏返したモノが右の写真 【右】殻の内側。同じ位置のモノは同一個体

<最後の写真=殻の内側について-補足>

煮たもモノの中身を取り出そうとして引っ張たり吸い出したりしたが、全くダメだった。写真はその原因を調べるために切り開いたもの。

結論は、引っ張たり吸い出したりでは絶対に取り出せない…と確信。

と言うのは、

殻頂(とがった先っぽ)まで、しっかりと、ぎっしり、身が詰まっているのを見て、無理と確信。
※ヘナタリとウミニナは幾つかうまく出来た…つと思っているが果たして?





以上の写真から、国内のシラカバでも人間の“目玉”模様ができるようである。最初の写真は撮影者自身が“目玉”と意識して撮っている。
シラカバがこのような性質を持っていたとは驚き。どこかのシラカバ林に行って、是非、きれいな“目玉”を撮ってきたいと思っている。

<あっけにとられた投稿写真>



この写真は、吉川氏がシェアした今回のシラカバの目玉と同ページにあったモノ。撮影のアングルによると思うがこのような鳥そっくりな花があるなんて…。ホント、あっけにとられた。
もつとも、このようなツリブネソウのような花（英名は同FB上に掲載）の大群落の中に、この“鳥草”が混ざることがあるのか疑問であるが、同ページの性格上、合成写真ではないと推測。
自然の創り出すモノは、形にせよ色にせよ“何でも有り”と言うことを再確認させられた1枚でした。

※ 右下の写真の拡大…↓



<私のコメント>

1. 吉川氏のコメント通り（シラカバの枝が落ちた跡）と思うが、日本でのシラカバでこのような模様を見たことがなく、余りにもよく出来すぎているのでイラスト（作画）と言うことも有り得る。
 2. そこで、投稿元（大学教授）のFBをみればこの木の種名が判るかと思って確かめた。
 3. すると、この投稿へのコメントが多数あり、最初のコメントに「These are lenticels in bark of Betula」とあり、これに対して教授が「yes thank u」と返信している。他のコメントにも種名は出てこず、イラストと疑うものもなかった。
 4. で、国内のシラカバの樹皮は？…と言うことでネット検索。シラカバは人気があるのか多数のアップがあったので、数十年来行ったことがないシラカバ林が堪能できた…(^_^)/
 5. その中から、樹皮に”目玉模様”があるなと思える写真だけを以下に紹介します。（※ 意外と少ない）
-

<日本のシラカバの樹皮-ネット上より-> ※ 正直言って、日本のシラカバかどうか判りません。ネット上のことですので…。

シラカバの“目玉”探し

2020.11.01 アップ ※写真:2020.10.24(土)撮影
シラカバの目玉の写真 → <http://www.chitakan.com/renraku2/201018shirakaba/index.html>

上記の「シラカバの目玉の写真」を見て、先日(2020.10.24)、実際はどうなのかシラカバ林に行ってきた。
調査地はネットで色々調べた結果、「開田高原-日和田高原」とした。
コースは、国道19号線北上、JR木曽福島近くで左折して国道361号線進めば調査地の二つの高原を通過し、そのまま進めば国道41号線に出て、41号線を南下して戻る。
調査時間は 8:30~11:30 ぐらい。観察樹木は数百本以上。
調査結果は ホンモノみたいに見える(クリアな) 目玉は無かった。
で、結論(推測)は、東北地方のシラカバ林に行っても結果は同じ。即ち、日本国内ではクリアな目玉は発見できない。
下記掲載の写真は、“それなり”に“目玉”に見える or 見えるかな…と思われたモノ。

写真クリック → ビッグサイズ



【上の3枚】開田高原入り口付近の“シラカバ林”お出迎え



【上の3枚】日和田高原ロッジ付近の“シラカバ林=シラカバ街道”的出迎え

以下、“それなり”に“目玉”に見える or 見えるかな…と思われたモノ





冬眠間近のウシガエル

2020.11.25 アップ (榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは(^_-)/

会員の平松氏が冬眠間近のウシガエルをFB(フェースブック)にアップしました。(2020.11.18 アップ)

この時期(冬越しに備えて腹いっぱい)のカエル写真は珍しいので皆様に紹介します。

※ 以下は平松氏のFBのコピーです。 写真クリック → ビッグサイズ



平松 裕規
11月18日 12:27

冬眠に備えて!
まだいたら、計量してみたい。

50

コメント5件 シェア4件

いいね!

コメントする

シェア

石原洋一
これは何?
ヒキガエル? 1

いいね! 返信する 1週間前

平松 裕規
ウシガエルです 1

いいね! 返信する 1週間前

石原洋一
平松 裕規
そうですか!
ありがとうございました 1

いいね! 返信する 1週間前

水野 利彦
横綱級の体格ですね。 1

いいね! 返信する 1週間前

平松 裕規
小鉢を思い出します♪ (古)
1

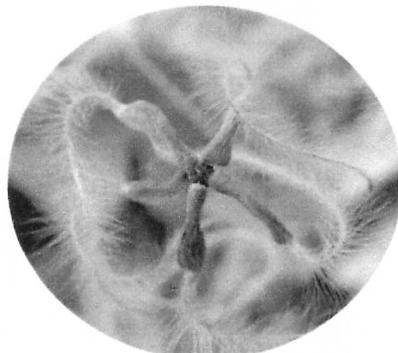
いいね! 返信する 1週間前

Yamamoto Fumihiko
自撮り?
じゃないよね♪
コスプレにしては
超リアル♥

いいね! 返信する 1週間前

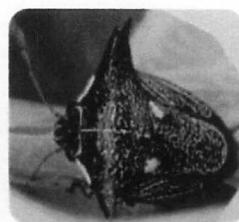
北井純子
う~ちょっと怖いかも.....
いいね! 返信する 1週間前

コメントする...
Enterキーで投稿します。





日和田高原ロッジセンターは、すでに、冬季の閉館。観光客らしき人影に接することなく、調査を終えた。[右]の写真は車の前のシラカバを見上げて撮ったモノ。



いいね! コメントする シェア



森田 琢磨

以前、一度だけ蒲池海岸の砂浜で見つけたことがあります。

1

いいね! · 返信する · 1週間前



石原洋一

砂浜に生えるキノコが有るなんて知りませんでした！

1

いいね! · 返信する · 1週間前



高橋 栄

すごい！！

塩に強いんだ！ 1

いいね! · 返信する · 1週間前



杉森純子

ビーチパラソルみたいだよね。

砂浜に生えるキノコって初めて見ましたよ。

キノコの胞子って砂浜っていうより森林の湿った腐葉土みたいなどころで生きてキノコを生やすようなイメージだったけど違うんだ～って驚いちゃいました。

3

いいね! · 返信する · 1週間前



吉川洋行

以前、イスラエルの砂漠に生えるハナヤスリの仲間の姿にも驚かされました。海辺の砂浜を好むキノコ、おもしろいですね。漂着物頼りなのかな？

2

いいね! · 返信する · 1週間前



吉川洋行

知多半島は今は松林がまずないからそこに生える美味しいキノコにもなかなか出会えなくなってるのが残念ですけどね。

1

いいね! · 返信する · 1週間前



濱島光世



1

いいね! · 返信する · 1週間前



石原洋一

この菌の菌糸は何かから栄養を得ているんでしょうか？

中に木片でも埋まっているのでしょうか？

1

いいね! · 返信する · 1週間前



永田 孝
石原洋一さん

掘ってみたけどありませんでした
どうしてるんでしょうね

2

いいね! · 返信する · 1週間前



石原洋一
永田 孝さん

不思議ですね!? 1

スナジクズタケ

2020.11.30 アップ (榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは (*^_^*)

会員の永田孝氏が "スナジクズタケ" をご自分のFB(フェースブック)にアップしました。(2020.11.18 アップ)

正直言って、私は、海岸の砂地に生えるキノコ、見たこと無かったので、皆様にも紹介します。

海岸近くに住み、毎日、海岸をウォーキングしている人と比べたら、比較になりませんが、会員の中では私は海岸の地面をゆっくり&しっかりと見て歩くことが多い方だと自認しています。

それが永田氏によると「幾らでも生えてる」と言うことなので、次回、キノコも "目的の一つ" に加えて歩き、後日、結果を報告します。

※ 以下は永田孝氏のFBからのコピーです。



永田 孝さんは南知多町内海にいます。

11月18日 6:32 · 愛知県 知多郡 · ●

...

スナジクズタケ

砂浜にキノコがによきによき...帰ってから調べてこの種に同定

しかし調べてみて知ったのですが、晩秋から冬に砂浜に生えるキノコ
って色々あるんですね...また一つ観察テーマが増えました



雪 虫

2020.11.29 アップ (榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは (^_-)/
会員の藤井辰子氏が“雪虫”をご自分のFB(フェースブック)にアップしました。
(2020.11.25 アップ)

この時期、一度は新聞に登場する虫ですが、知多自然観察会の観察会では観察されたことがないのか、一度も掲載されたことがないので、知多半島にはいないと思ってました（私だけかも）。

とてもビックリしたので皆様に紹介します。

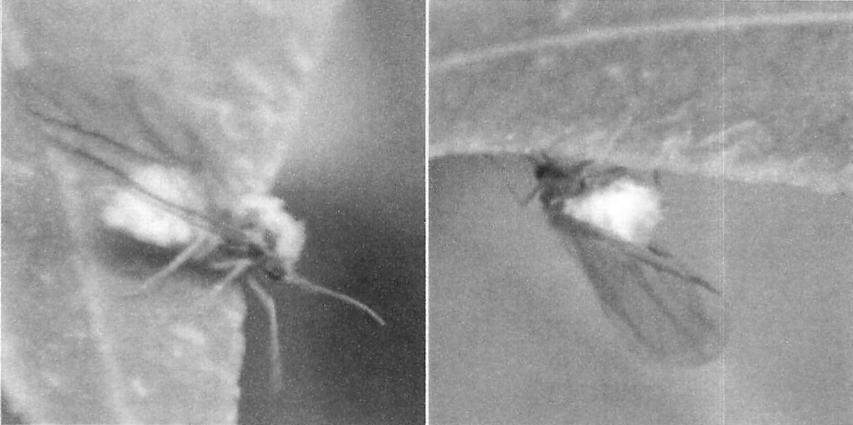
※ 以下は藤井辰子氏のFBからのコピーです。

※ なお、雪虫の種名は、普通は「トドノネオオワタムシ」という昆虫とのこと。

※ また、私の生活習慣ではこれからも出会うこともないであろうと確信してる。

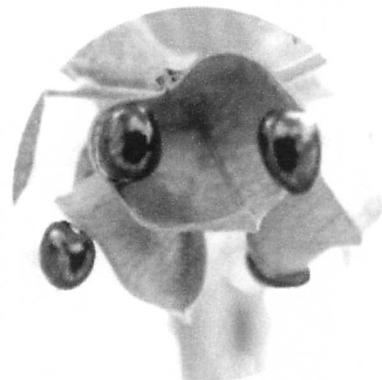
藤井辰子
11月25日 18:35 · ● ...

昼過ぎ いつものコースを歩いていると
雪虫が一匹跳んでいました
京都の寺で何匹かとんでいたのを見たことがありました
が きょうは
とんでいった先までそっと目で追うと葉に止まっ
たのでとることができました ラッキー



いいね! 29 コメント1件

いいね! シェア

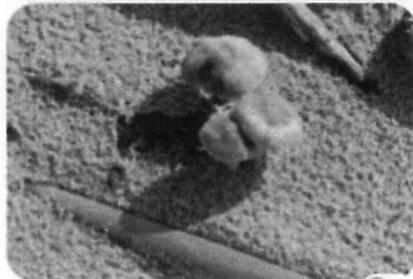


いいね！ · 返信する · 1週間前



鈴木 吉春

永田さん 西の浜の流木に生えていたものですが、同じ種類ですか？



1

いいね！ · 返信する · 1週間前



鈴木 吉春

...



1

いいね！ · 返信する · 1週間前



永田 孝

鈴木 吉春 さん

同じじっぽいですね

いいね！ · 返信する · 1週間前



返信する...

😊 📸 GIF 🎨

Enterキーで投稿します。



コメントする...

😊 📸 GIF 🎨

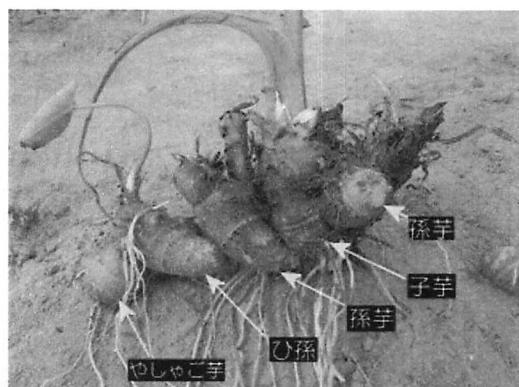
Enterキーで投稿します。



【左】→下から眺めた図。“親芋”は見えない状態
を上から見る



【右】株を割って、親芋



【左】株を更に割って、種芋と親芋の関係を見る → 確かに、種芋の上に親芋がある(この種芋は昨年の親芋を使用)

【右】株を割って “やしやご芋”まである部分を取り出した。(やさしくヤッたが親芋と離れてしまった)

【 H 農場】



【左】H農場(?) の “里芋” 自生地の現場 (湿地帯) 【右】最も葉茎の太い一株を
掘り上げた



【左】掘った穴には、すぐ、水が溜まるので、ここで、相当な土を洗い流す…
→

【右】→株が軽くなったら、“芋洗い場”へ運び、更に、ここで丁寧に土を洗い落とすと…↓

里芋の親子関係 (種芋-親芋-子芋-孫芋-…)

2020.12.03 アップ (榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは (ω)/

コロナ禍の昨今、如何お過ごしでしょうか。

思えば、自然観察と言うのは他人と接しづに出来ることなので、この時期にあっては、伸び々々&活き々々と出来るってことで、私は精力的に楽しんでいます。

さて、

今回、知人の沢山の百姓談義の一つから、里芋の”親芋・子芋”に興味持ちまして、ちょっと、”追究”しました。

<私の”里芋”の認識>

- ・里芋=子芋と、つい、この前まで思っていた。
- ・親芋、子芋、孫芋…があるとは知らなかった。
- ・種芋の上に親芋が出来る…とは知らなかった。

それで、観察(事実確認)のため、”知多自然観察会々員”的經營する農場である、”S 農場”及び”H 農場”にお邪魔しました。

【農場の特徴】

・S 農場 … ベテランのプロ百姓に優とも劣らない百姓技術満点の農場主(一般企業退職者)の經營。水はけ良好畑。ここでの里芋は”栽培種”と呼ぶ。

・H 農場 … 水はけ状況の異なる農地を持ち、幼少の頃から百姓に接していた農場主(現役会社員)の經營。湿地畑。ここでの里芋は”自生種”と呼ぶ。

【結論(感想)】

- ・『手をかけた分だけイイものが出来、それが嬉しい』と農耕作実践中の方が、よく、言うが、それが実感できた。
- ・ただし、手をかけなくても出来る”自生種”は、観察地ぐらいの場所の広さがあれば、これまた十分良しと言える。

以下、出来ましたら、時間かけて、じっくり、ご覧ください。種芋の上に親芋が出来る典型写真も下段に掲載しました。

※ 写真をクリック→ビッグサイズ [写真撮影日(農場訪問日) : S 農場…
2020.11.23 H 農場…2020.12.1 & 12.2]

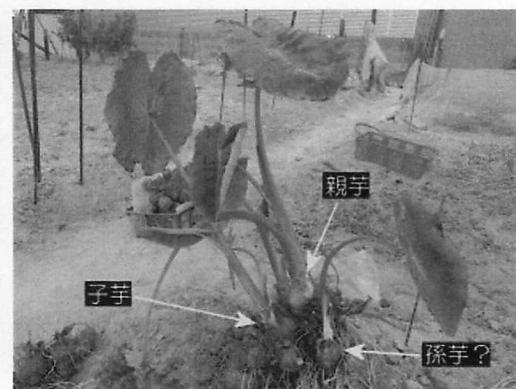
【S 農場】



【左】S農場の里芋の畠(うね)を払って…↓



【右】一株掘り取ってくれていた…この土



藤井辰子画伯の木版画 (自然観察会の一場面)

2020.12.14 アップ

(榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは (^_ ^)/
藤井辰子画伯の作品を紹介します。

会員の藤井辰子氏が知多自然観察会の活動中の一場面を木版画でFB
(フェースブック) にアップしました。 (2020.12.6 アップ)

画伯の膨大な作品数のほんの一部ですが、本会の活動場面はレアなので、是非、

最下段の画像をクリックしてビッグサイズでご覧下さい。

※ 以下は藤井辰子氏のFBのコピーです。



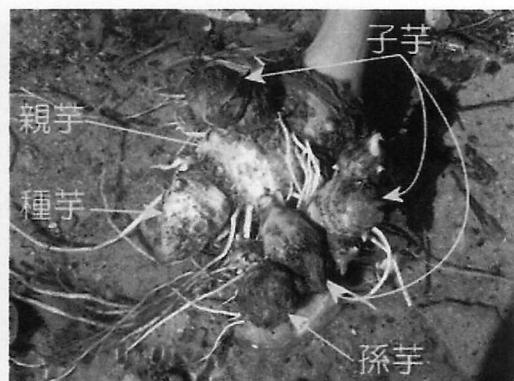
藤井辰子

12月6日

...

自然観察会はいろんな事を教えてもらい目から鱗 とても楽しい会 しかし今
年は新型コロナ 残念です





【左】→この一株は“種芋-親芋”が5ヶ、密集、密接の集合体であった。(※親芋-子芋の関係は無かった)

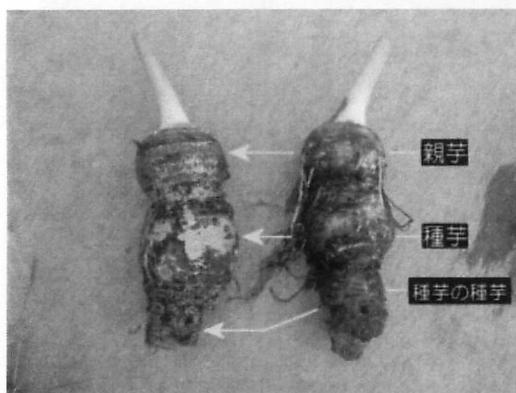
【右】[左]の5株の内の1株。この株だけ“孫芋”が確認できた。種芋は、まだ、全体に固かつた。

【参考】 ※ H 農場にて



【左】湿地ではなく、清水が集まって出来る水路（小川）に繁殖する里芋。なお、手前の葉は純白な花“カラー”（湿地性）の群落の一部。

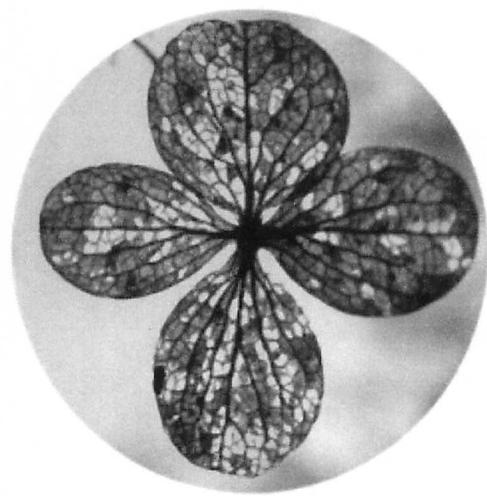
【右】[左]の場所から農業主が掘り起こした里芋を発見。大きめの子芋は食用のため摘み取られていた。しかし、その中で興味あるモノを発見…↓



【左】これが興味あるモノ。即ち、典型的な「親芋は種芋の上に出来る」の図。“種芋の種芋”は、さすがに、半分以上腐っていて全体の姿は無い。

この自生種の親芋には子芋の影も無い。野生種はこのような状態であろうと推測。

【右】子芋や孫芋の付き方や大きさにしても、自生種と栽培種との差は歴然。



いいね！

シェアする



柴野健悦 木版画のような輪郭の太いタッチですが何という手法(画法)ですか。
多色刷り?
後ろ姿、味がありますね。“ときめき”の賜、ありがとうございました。

いいね！ · 1週間前



藤井辰子 木版画で手彩色です

いいね！ · 1週間前

2



濱島光世



いいね！ · 5日前

以下の画像クリック → ビッグサイズ
 ※ モデルは会員のいずれかの人ですが 誰だか判りますか？

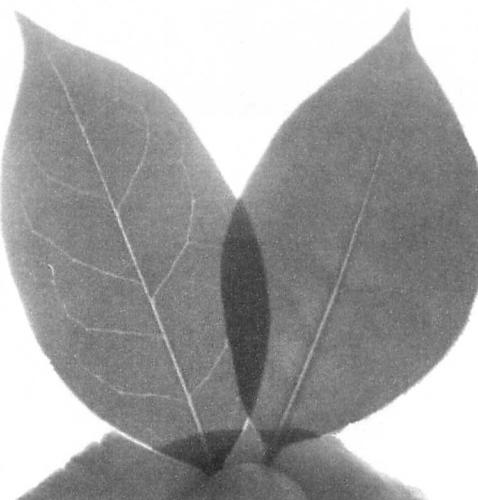


令和2(2020)年度 知多自然観察会役員一覧表

役名	氏名	住所
顧問	降幡 光宏	常滑市
代表	榎原 靖	半田市
副代表	南川 陸夫	知多市
"	榎原 正躬	半田市
庶務	吉川 勉	知多市
会計	森田 琢磨	常滑市
会計監査	山田 公子	東浦町
"	牧野 靖子	半田市
阿久比ブロック世話役	平松 裕規	阿久比町
大府 "	村瀬 由理	大府市
武豊 "	畠 烈	武豊町
知多 "	南川 陸夫	知多市
東海 "	浅井 一光	名古屋市
常滑 "	森田 琢磨	常滑市
半田 "	山田 和男	半田市
東浦 "	竹内 秀代	東浦町
美南※1 "	中村 秀樹	美浜町

※1…美浜・南知多ブロック

以上 2020年2月16日(総会開催日)現在



生物多様性活動のお手伝い

2020.12.15 アップ (榎原正躬)

会員の皆様 こんにちは (^o^)/

過日(2020.11.11) 中日新聞朝刊に「知多自然観察会」の文字がありました。
ずっと以前は新聞でこの文字を時々見ましたが昨今はマレなので皆さんに紹介します。

つきましては、

今後、このように、新聞に知多自然観察会の文字を見ましたら、その関連部分を切り取って保存し、その旨を私にご連絡いただけたと嬉しいです。

それをどこかで受け取り、このようにアップしたいと思ってます。

【2020.11.11 中日新聞朝刊】

在来種の川魚に関する知識を持つ、生物多様性を学んでもらうと、豊田自動織機長草工場が大府市大東小学校に水槽を貸し出し、九日の朝礼で同社社員が全校児童に紹介した。

貸与されたのは幅百二十センチの大型水槽で、同社社員、知多自然観察会員、同市環境課職員たちが市内の鞍流瀬川や知多半島の近隣市町で採取したニホンウナギやカマツカなど在来種八種、計約二十四が泳いでいる。校内の環境コーナーに設置し、説明パネルと一緒に展示している。

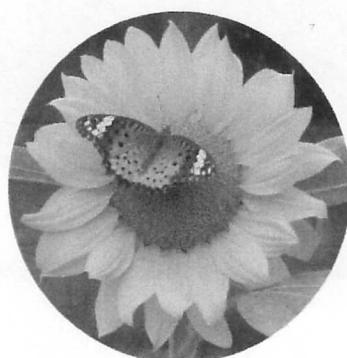
新しく登場した水槽の中を観察する児童たち=大府市大東小で(同市提供)

生物多様性 水槽で学んで

豊田自動織機 大府・大東小に貸し出し

きるようになつて。魚たちをかわいがつてあげてください

さい」と呼び掛けた。
水槽は来年三月末まで貸し出される。コーナーには児童の質問に同社社員が回答する。(栗山真寛)



編集後記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させて頂きます。

さて、今回も編集面では特別大きな変化はありません。近年は年報作成にあたって会員へ年報に掲載するための記事やイラストなどを募集していません。従って年報の内容は編集にあたって…に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページ上の「発表の場」のページはできるだけ投稿どおりに掲載します。なお、「発表の場」のページに投稿したいが“やり方”が分からぬという方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。（ただし、投稿者のレイアウト通りには掲載できるとは限りません）

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはOKです。内容及び構成については今後とも要検討です。

<追記>

今回はコロナ禍での編集でありましたのでそれに関する一言。

飲み会はもとより喫茶店でのお喋りの誘いも無く、遠出も出来ず、その点では編集に打ち込めたと言ったところでどうしようか…(^_^;) (年報担当：榊原正躬)



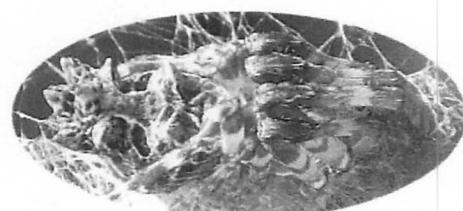
知多自然観察会
代表 榊原 靖
ysakaki@cac-net.ne.jp

会員専用ページの内容 … ↓

※ トップページからリンクあり

<http://chitakan.com/kaiin/493731.html>

1. 知多自然観察会 会則
2. 知多自然観察会 役員一覧
3. 「会員用事業計画」及び「年報」
※ 年報は 60MB 程度ありダウンロードに時間がかかります。
4. 「総会報告」(総会議事録)
5. 「役員会報告」(役員会議事録)
6. 観察会の運営について
7. 観察会の保険と安全について…2015年2月総会で配付
※観察会(ブロック主催)中に病院へ行くような
ケガが発生した場合(2015年10月5日の具体例)
8. 保険対象(県協議会へ保険料を納入)行事とは
…年間予定表で[協]と記入のある観察会
9. 観察会カレンダー
• エクセル, カラー, A4判 • pdf, カラー, A4判
10. 県民センター観察会の実施案の例(2013年度の実施案)
 - 川…130914 県民セ観察会-明徳寺川-実施案-最終版
 - 海…130921 県民セ観察会-野間海岸-実施案-最終版
 - 公園…131005 県民セ観察会-任坊山公園-実施案-最終版
11. みどりの少年団交歓会-実施案
 - 2013年10月19日実施の「みどりの少年団交歓会」-実施案-最終版
 - 上記[10.] [11.]の最終版が出来るまでの過程(日程)
12. 観察会の報告(記録) 様式
13. 年報の改定案…新しいページ割り当て
※2008.2.17 提案
※過去の話(掲載しなくても構わない話)
14. 環境省 水性生物調査結果-集計用紙
エクセル(xls)ファイル PDFファイル





藤井辰子

2020年12月26日 6:53 ·

カメムシの幼虫から成虫に
脱皮するときは赤い

